

図で見る東北の運輸

2020



東北運輸局

● 目 次 ●

総括編

1. 主要経済・運輸指標	1
2. 人 口	
(1) 人口の推移	2
(2) 年齢3区分別構成比の推移	2
(3) 年齢別・性別人口構成比の推移	3
(4) 都市・郡部の人口	3
(5) 20万人以上の都市	4
3. 所 得	
(1) 県民所得の推移	5
(2) 1人当たりの県民所得の推移	5
(3) 各県別1人当たりの県民所得	5
4. 産業基盤	
(1) 産業別人口の推移	6
(2) 産業別総生産額の推移	6
(3) 県別総生産額産業別構成	6
5. 自動車整備・保有状況	
(1) 自動車保有台数の推移	7
(2) 各県別自動車保有状況	7
(3) 認証・指定工場数の推移	8
6. 船舶の登録状況	
(1) 船舶隻数の推移	9
(2) 船舶トン数の推移	9
7. 船 員	
(1) 船員数の推移	9
(2) 船種別船員数の推移	9
8. 交通事故	
(1) 交通事故の推移	10
(2) 事業用自動車業態別重大事故発生状況	10

旅客編

1. 旅客輸送量	
(1) 旅客輸送機関別分担率	11
(2) 輸送機関別旅客輸送人員の推移	11
2. 旅客流動	
(1) 東北域内の旅客流動	12
(2) 東北と全国との旅客流動	13

3. 鉄道網	
鉄道路線網及び主な鉄道整備プロジェクト	14
4. 鉄道旅客輸送	
(1) 鉄道旅客輸送人員の推移	15
(2) 新幹線(東北線)の輸送人員の推移	15
(3) 仙台市営地下鉄の輸送人員の推移	15
(4) 民鉄旅客輸送人員の推移	16
(5) 鉄道駅のバリアフリー化施設整備状況	16
5. 索 道	
(1) 索道営業基数の推移	17
(2) 索道輸送人員の推移	17
(3) 索道営業基数の分布	17
6. 乗合バス	
乗合バス輸送人員の推移	18
7. 貸切バス	
貸切バス輸送人員の推移	19
8. 高速バス	
(1) 高速バス輸送人員－東北管内発着便	20
(2) 高速バス輸送人員の推移－各県内発着	21
(3) 高速バス輸送人員の推移－東北管内発着	22
(4) 高速バス輸送人員－東北から管外への連絡便	23
(5) 高速バス輸送人員の推移－首都圏、その他地域	24
9. ハイヤー・タクシー	
(1) ハイヤー・タクシー事業者数の推移	25
(2) ハイヤー・タクシー車両数の推移	25
(3) ハイヤー・タクシー輸送人員の推移	25
10. レンタカー	
レンタカー車両数の推移	26
11. 旅客船	
旅客船輸送人員の推移	27
12. フェリー	
フェリー航路	28
13. 航空路線網	
航空路線網	29

14. 航空旅客

- (1) 空港別乗降客数の推移…………… 30
- (2) 全国の国際・国内線乗降客数の推移…………… 31
- (3) 国内線路線別旅客数順位…………… 31

15. 空港アクセス

- 空港アクセスの概況…………… 32、33

貨物編

1. 全国の貨物輸送量

- (1) 輸送機関別貨物輸送量の推移…………… 34
- (2) 貨物輸送機関別分担率…………… 34

2. 貨物流動

- (1) 地域間における貨物流動状況…………… 35
- (2) 東北と全国との貨物流動状況…………… 36

3. 品目別輸送量

- 東北発着品目別輸送量の推移…………… 37

4. 貨物自動車輸送

- (1) 一般貨物自動車運送事業者数・車両数の推移… 38
- (2) 一般貨物自動車運送事業者の現況…………… 39
- (3) 貨物自動車輸送量の推移…………… 40
- (4) 営業用自動車と自家用自動車の割合…………… 40
- (5) 貨物自動車主要品目別輸送比率の推移…………… 40
- (6) 営業用自動車と自家用自動車の輸送量の推移… 41
- (7) 貨物軽自動車運送事業者数・車両数の推移… 42

5. 鉄道輸送

- (1) 貨物鉄道事業の現況…………… 43
- (2) 鉄道貨物輸送トン数の推移…………… 44
- (3) 鉄道貨物輸送トンキロの推移…………… 45

6. 海上貨物

- (1) 主要港の貨物取扱量…………… 46
- (2) 品目別海上貨物取扱量…………… 47
- (3) 港別港湾運送取扱貨物量の推移…………… 47

7. 航空貨物

- (1) 国内航空貨物輸送実績の推移…………… 48
- (2) 国内航空貨物の空港別取扱量…………… 48
- (3) 国際航空貨物輸送実績の推移…………… 49

8. 倉庫

- 倉庫所管面(容)積の推移及び全国シェア…………… 50

観光編

1. 観光地域

- (1) 観光地域づくり法人(DMO)の現況…………… 51
- (2) 主な観光地入込客数…………… 52
- (3) 主なお祭り入込客数…………… 53
- (4) 主なスキー場入込客数…………… 54
- (5) 「JNTO認定外国人観光案内所」一覧…………… 55
- (6) 県別消費税免税店数の推移…………… 56

2. 宿泊者数

- (1) 日本人・外国人の宿泊者数の推移…………… 57
- (2) 海外市場別外国人宿泊者数の推移…………… 57
- (3) 外国人宿泊者数の季節変動…………… 58
- (4) 県別外国人宿泊者数の推移…………… 58

3. 宿泊施設

- (1) 登録ホテル数の推移…………… 59
- (2) 登録旅館数の推移…………… 59
- (3) 住宅宿泊事業者届出状況…………… 60

4. 旅行業

- (1) 旅行業の現況…………… 61
- (2) 旅行業者(第一種旅行業者)の推移…………… 61

5. その他国際交流

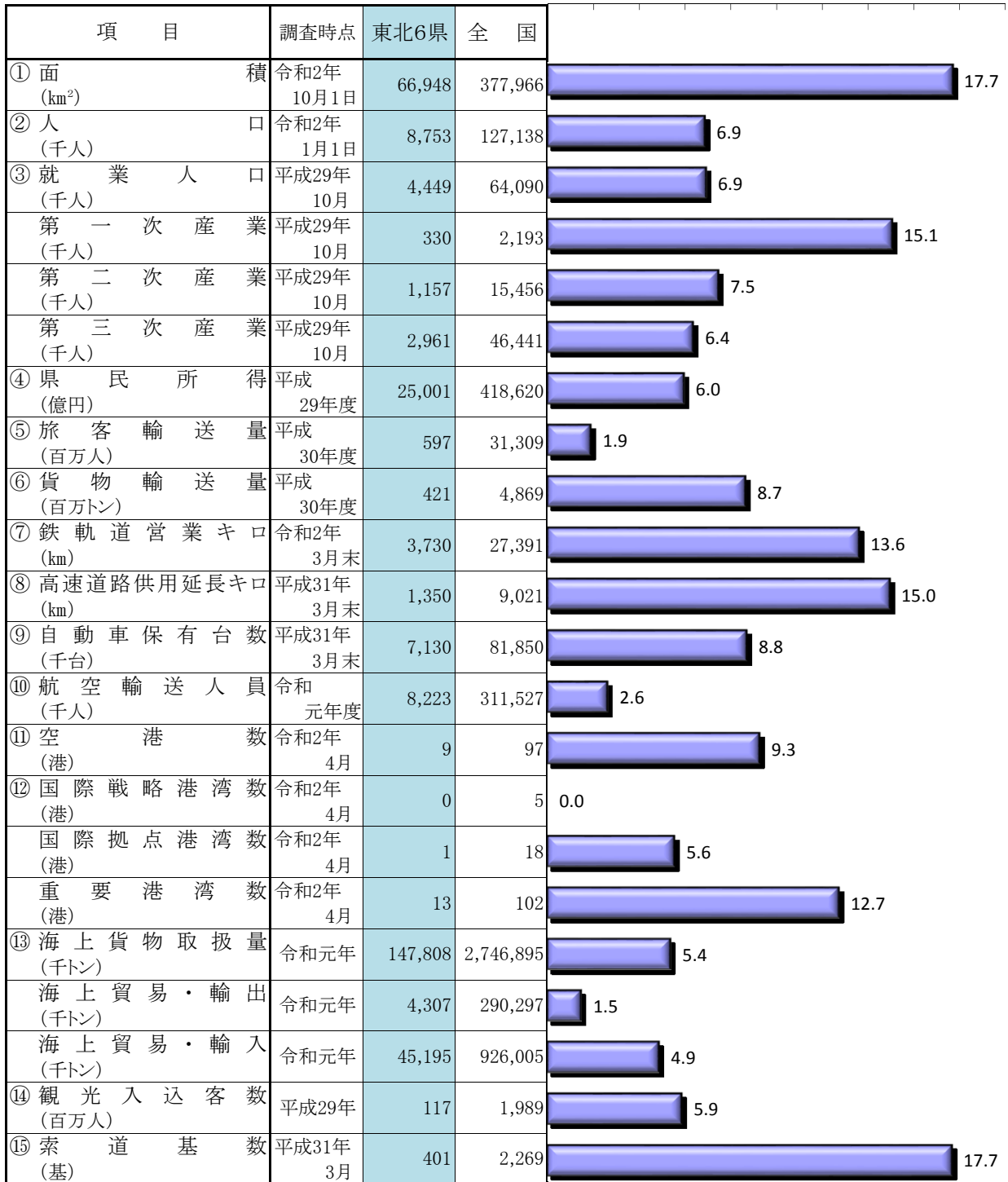
- (1) 都市別国際会議開催件数の推移…………… 62
- (2) パスポート取得率の推移…………… 63

総括編

主要経済・運輸指標

主要経済・運輸指標

対全国比(%)
0 2 4 6 8 10 12 14 16 18 20



資料:①国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」(境界未定地域分は含まない)

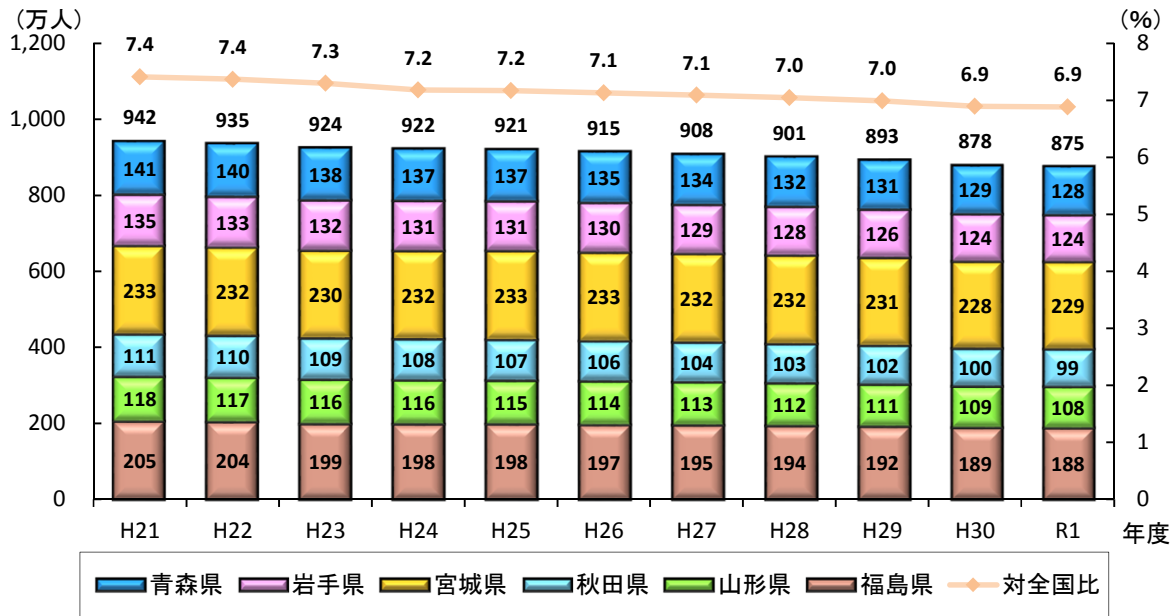
②総務省:住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数 ③総務省「平成29年就業構造基本調査」

④内閣府「県民経済計算」 ⑤国土交通省「旅客地域流動調査」 ⑥国土交通省「貨物地域流動調査」

⑦⑨⑮東北運輸局 ⑧国土交通省「道路統計年報」 ⑩⑪国土交通省「空港管理状況調査」

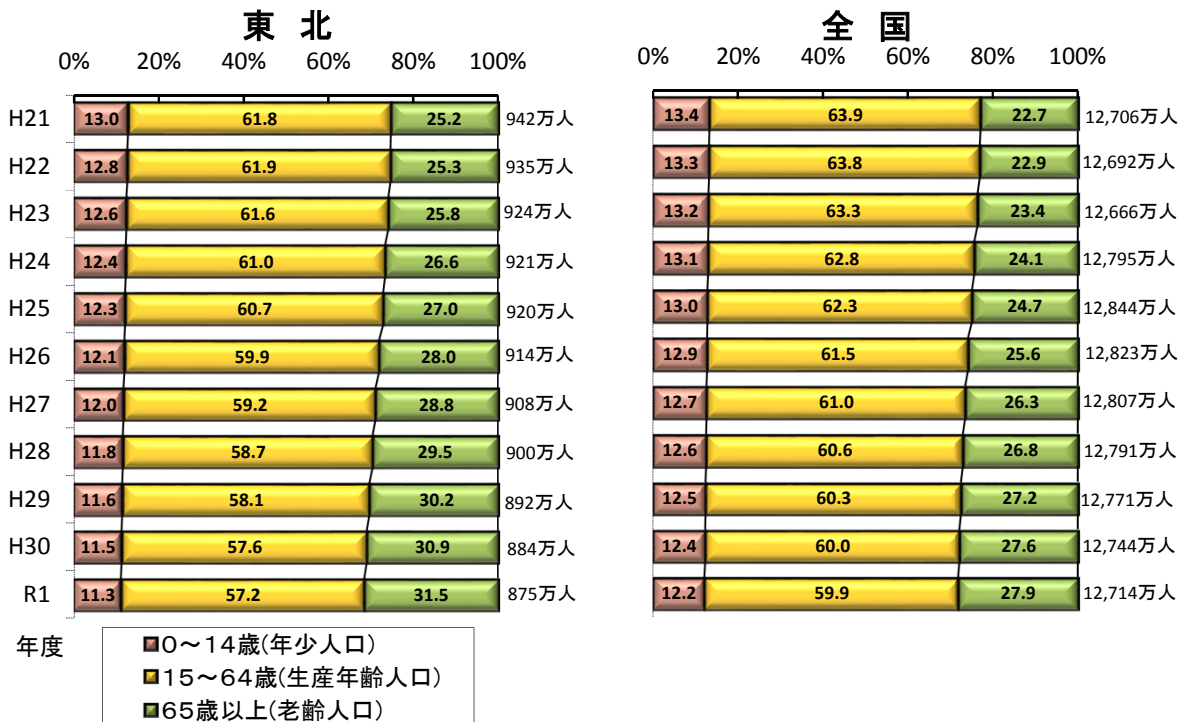
⑫⑬国土交通省「港湾統計」 ⑭観光庁「観光入込客統計」

(1)人口の推移



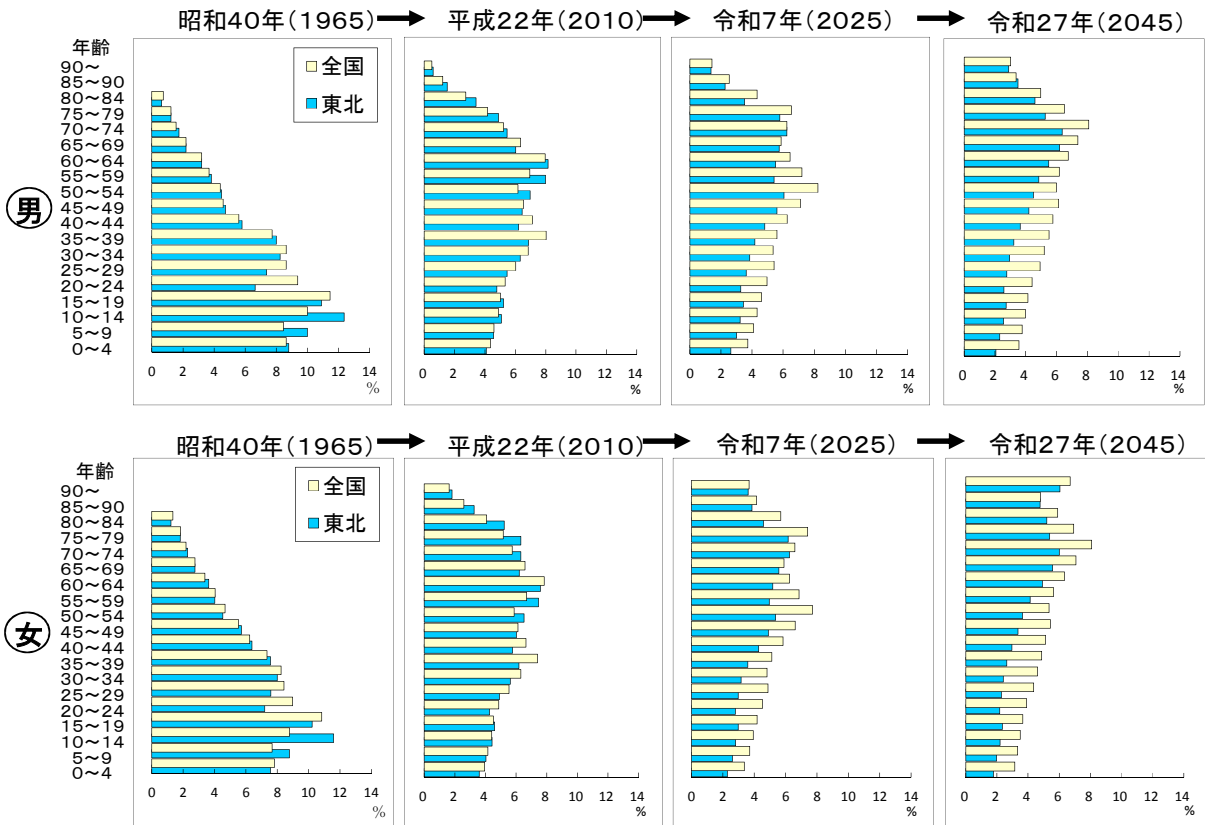
資料:国勢調査 平成18年度以降は、住民基本台帳人口要覧。平成25年度以降は、総務省HP「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数(各年1月1日現在)」。
 なお、平成22年度の岩手県及び福島県の人口については、東日本大震災の影響により、住民基本台帳人口に一部の市町村人口等が反映されていないことから、以下のデータを活用。
 岩手県:岩手県毎月人口推計(HP)※平成23年10月1日現在 福島県:福島県の推計人口(HP)※平成23年10月1日現在

(2)年齢3区分別構成比の推移



資料:平成18年度以降は、住民基本台帳人口要覧。平成25年度以降は、総務省HP「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数(各年1月1日現在)」。
 なお、平成22年度の岩手県及び福島県の人口については、東日本大震災の影響により、住民基本台帳人口に一部の市町村人口等が反映されていないことから、以下のデータを活用。
 岩手県:岩手県毎月人口推計(HP)※平成23年10月1日現在 福島県:福島県の推計人口(HP)※平成23年10月1日現在
 ※岩手県、福島県のデータにおいて一部不明の数値があるため、東北の人口合計は上記(1)の数値と合致していない。
 また、年齢階級別の外国人住民数が非公表となる市区町村や年齢不詳者があるため、一部構成比の推移に反映されていない。

(3) 年齢別・性別人口構成比の推移

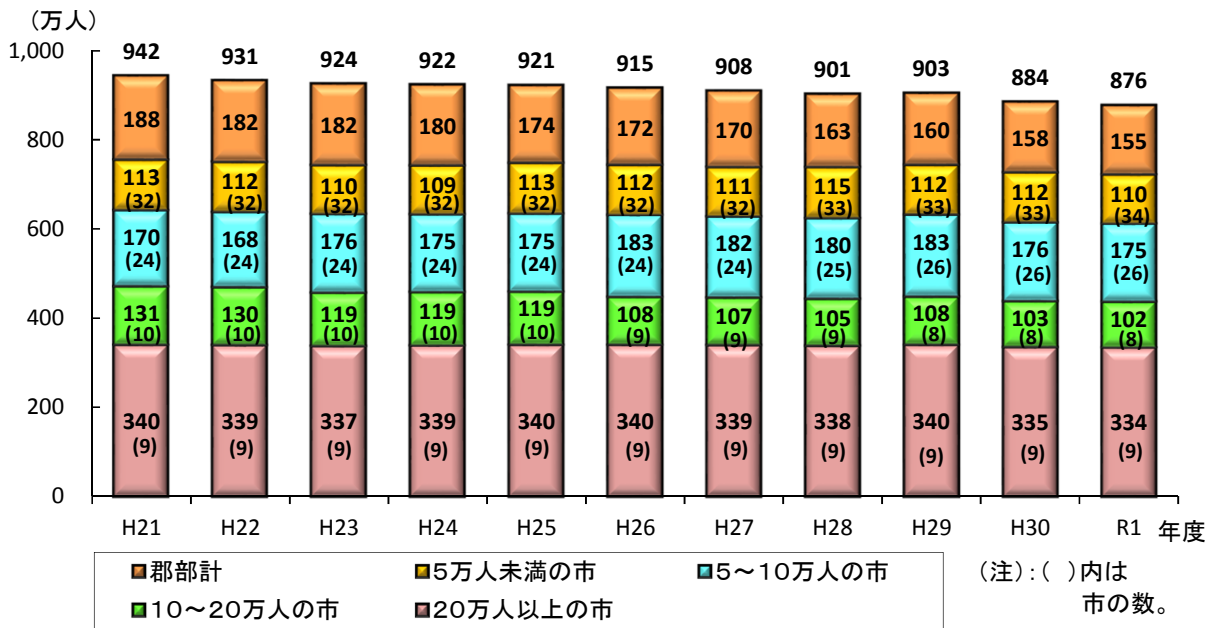


資料: 国勢調査

(注) 平成22年推計人口は、「都道府県別将来推計人口」(平成25年3月推計)より

(注) 令和7・27年推計人口は、「都道府県別将来推計人口」(平成30年3月推計)より

(4) 都市・郡部の人口

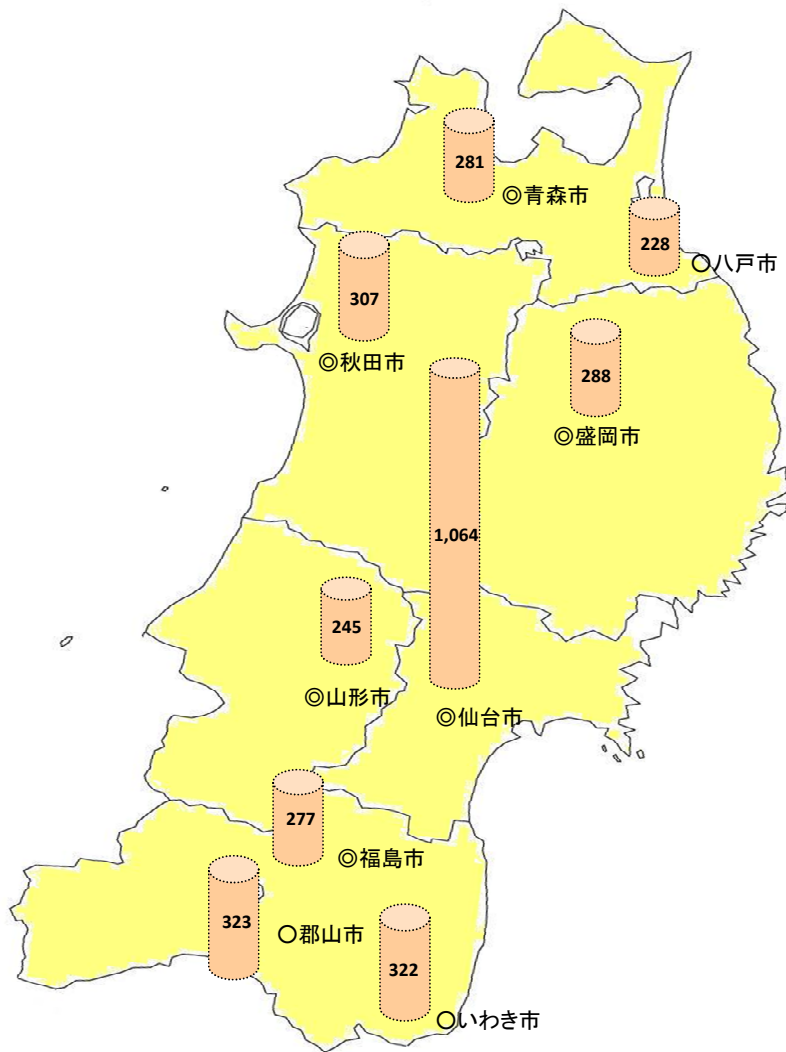


資料: 国勢調査。平成18年度以降は、住民基本台帳人口要覧。平成25年度以降は、総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数(各年1月1日現在)」。

なお、平成22年度の岩手県及び福島県の人口については、東日本大震災の影響により、住民基本台帳人口に一部の市町村人口等が反映されていないことから、以下のデータを活用。

岩手県: 岩手県毎月人口推計(HP)※平成23年10月1日現在 福島県: 福島県の推計人口(HP)※平成23年10月1日現在

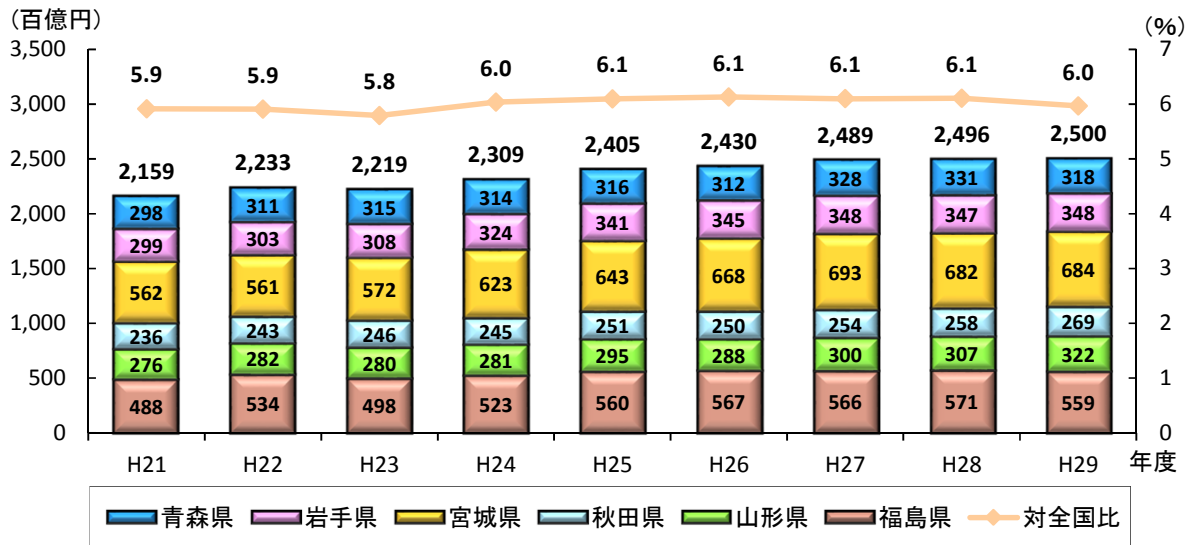
(5) 20万人以上の都市(令和2年1月1日現在)



(単位:千人)

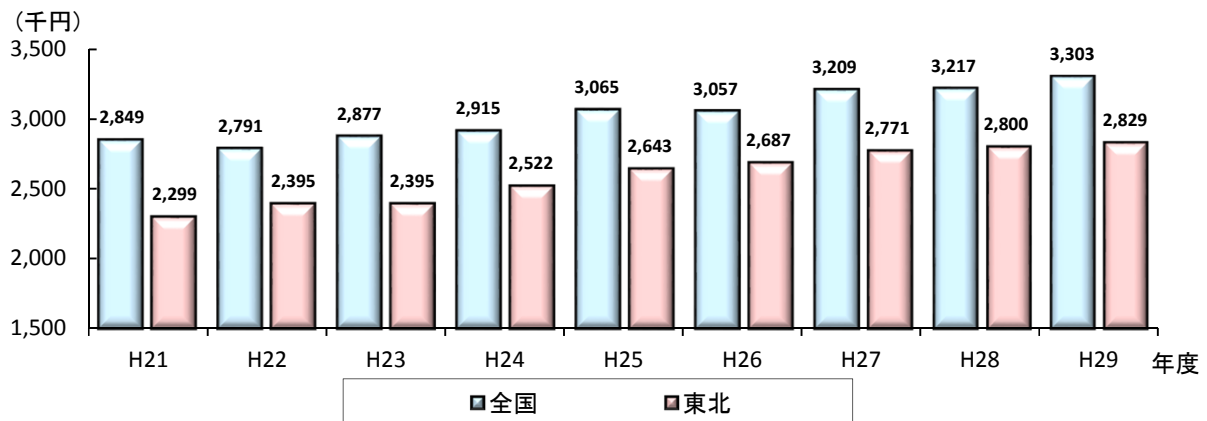
資料:総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数(令和2年1月1日現在)」

(1) 県民所得の推移



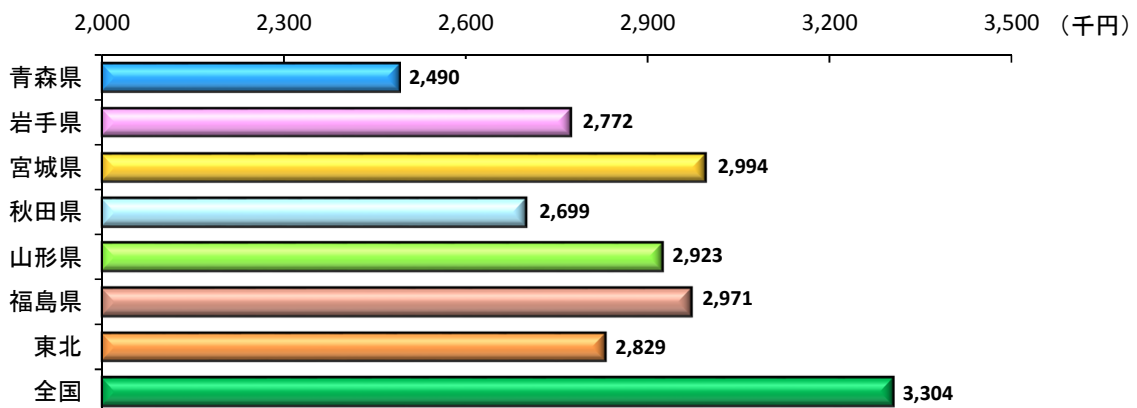
資料:内閣府「県民経済計算」

(2) 1人当たりの県民所得の推移



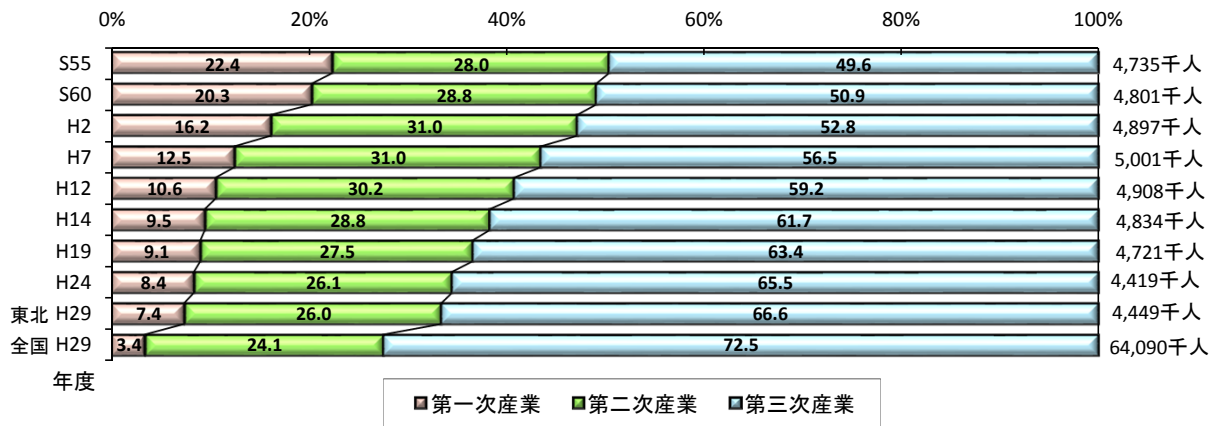
資料:内閣府「県民経済計算」

(3) 各県別1人当たりの県民所得(平成29年度)



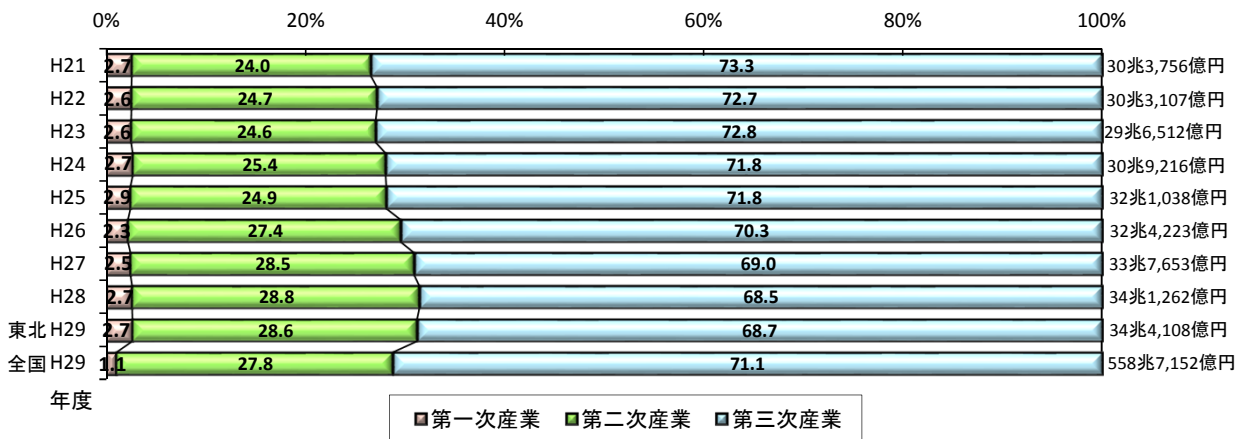
資料:内閣府「県民経済計算」

(1) 産業別人口の推移



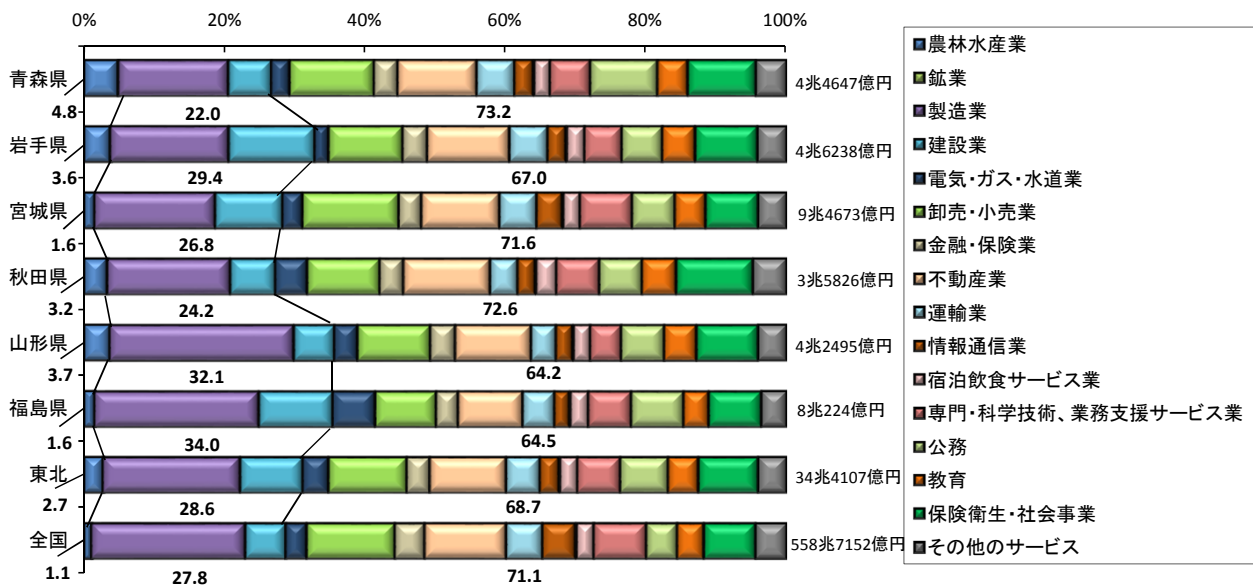
資料: 総務省「平成29年就業構造基本調査」

(2) 産業別総生産額の推移



資料: 内閣府「県民経済計算」

(3) 県別総生産額産業別構成比(平成29年度)



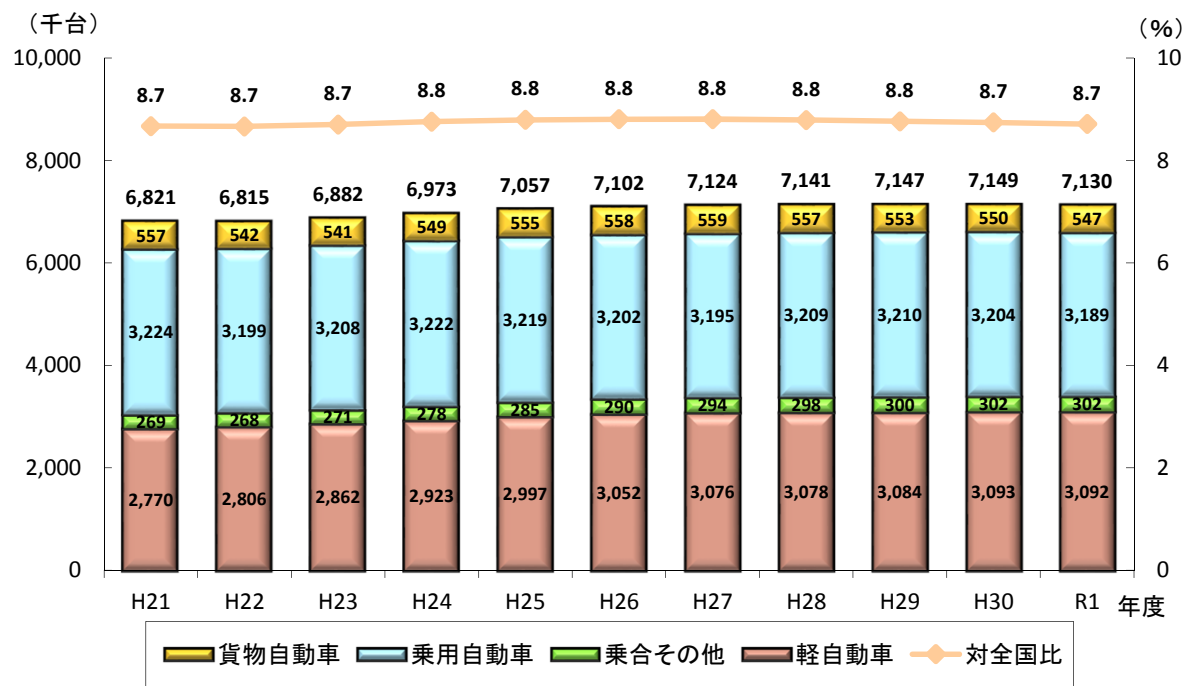
資料: 内閣府「県民経済計算」

(注) 1. 各産業構成は帰属利子など調整前のものである。

2. グラフに記載されている数字は、第一次(農林水産業)、第二次(鉱業～建設業)、第三次産業(電気・ガス・水道業～その他のサービス)の割合。

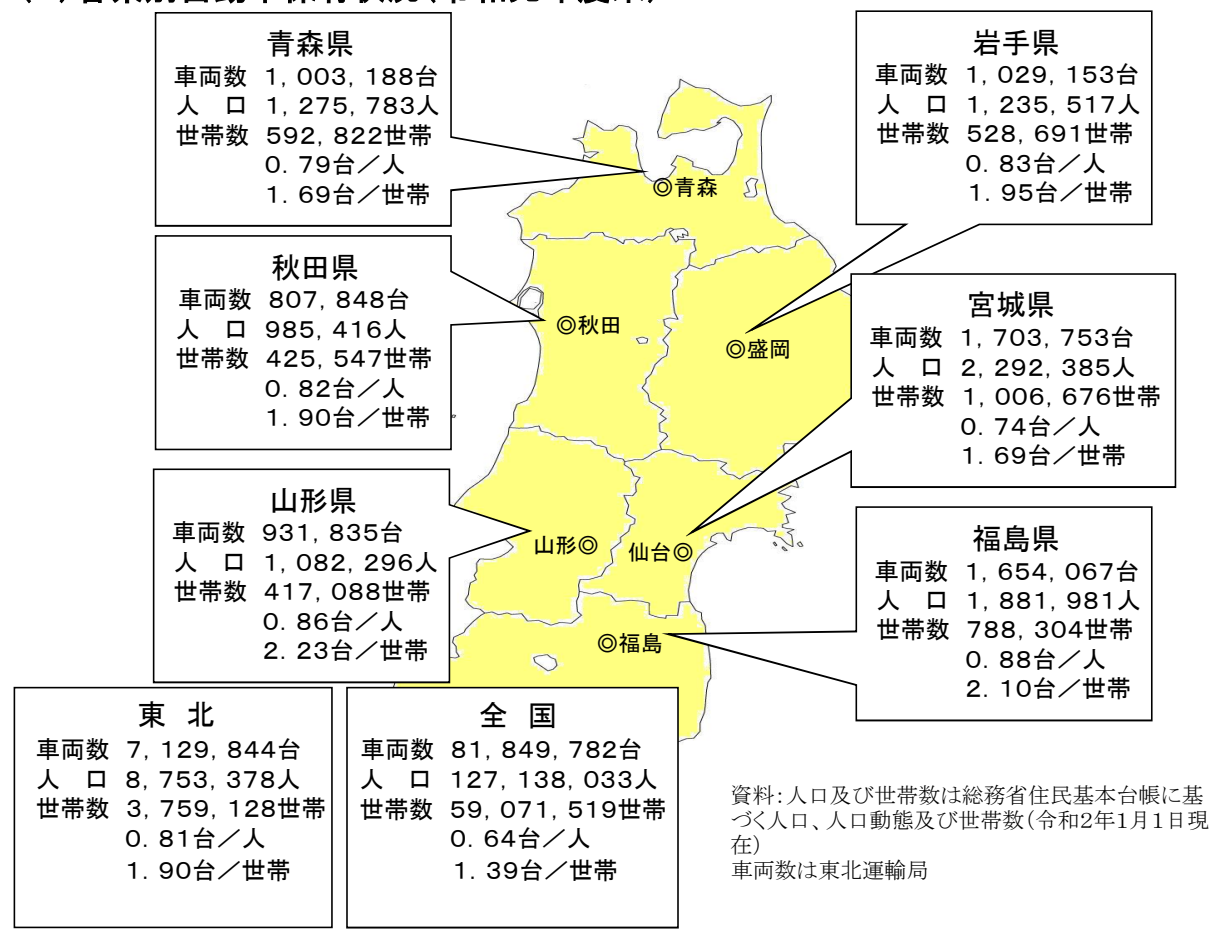
自動車整備・保有状況

(1) 自動車保有台数の推移



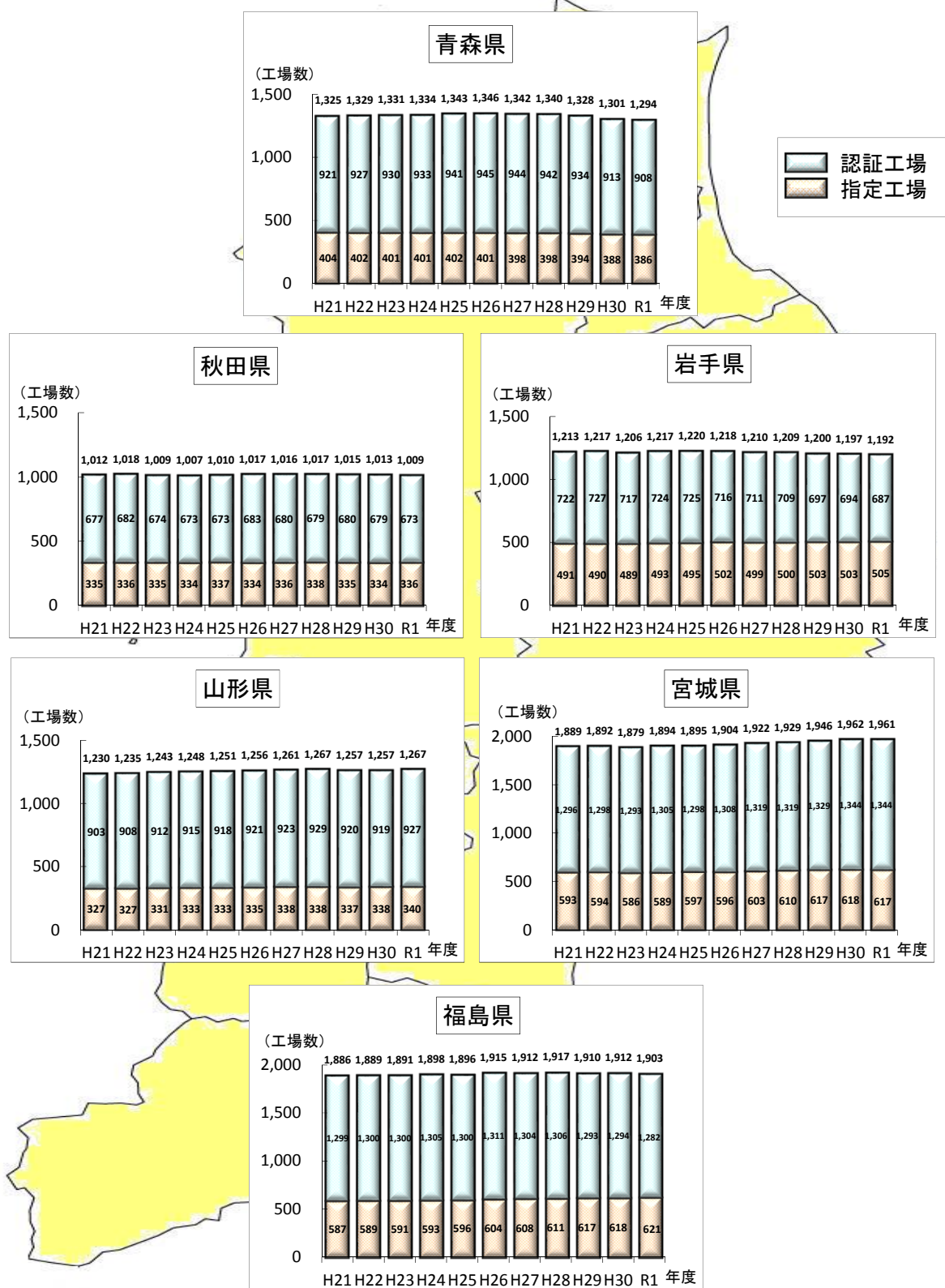
資料: 東北運輸局
(注)各年度末現在

(2) 各県別自動車保有状況(令和元年度末)



(3) 認証・指定工場数の推移

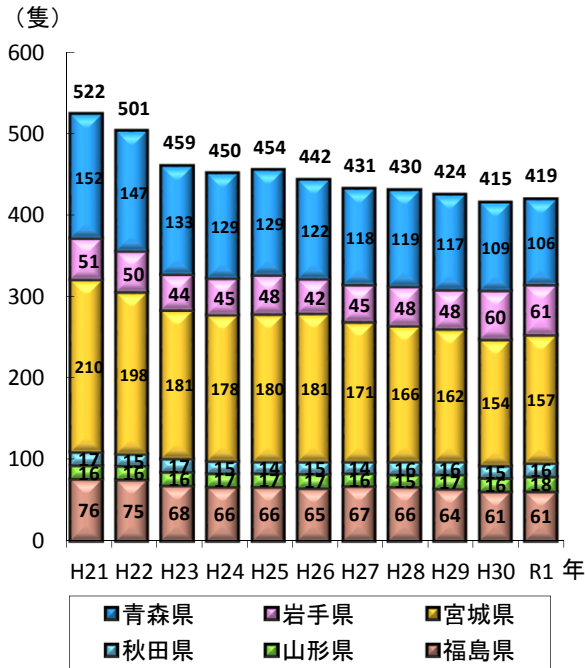
自動車整備・保有状況



資料: 東北運輸局
(注)各年度末現在

船舶の登録状況

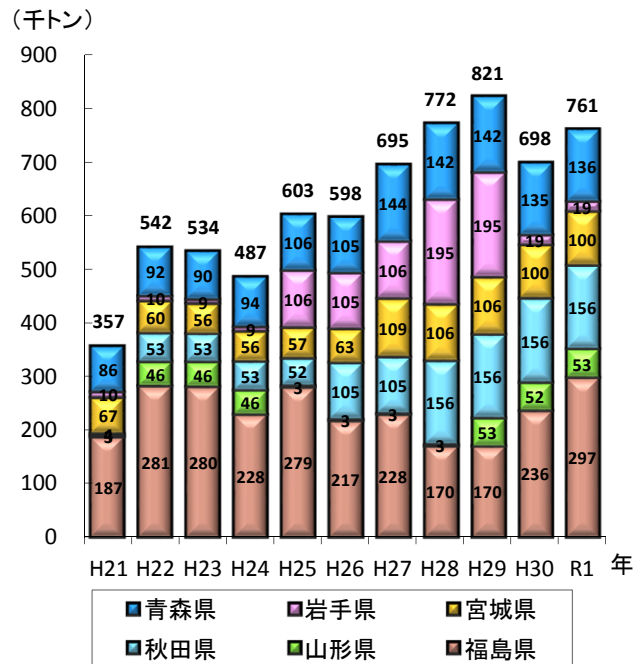
(1) 船舶隻数の推移



資料: 東北運輸局

(注) 1. 総トン数20トン以上の船舶である。
2. 各年12月末現在

(2) 船舶トン数の推移

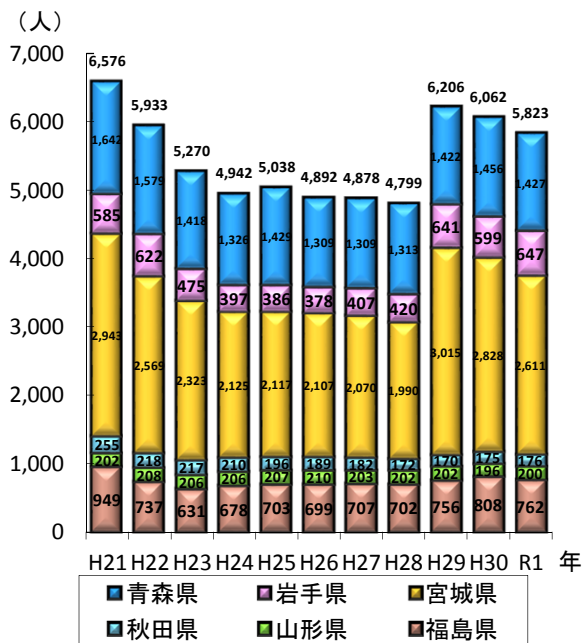


資料: 東北運輸局

(注) 1. 総トン数20トン以上の船舶である。
2. 各年12月末現在

船員

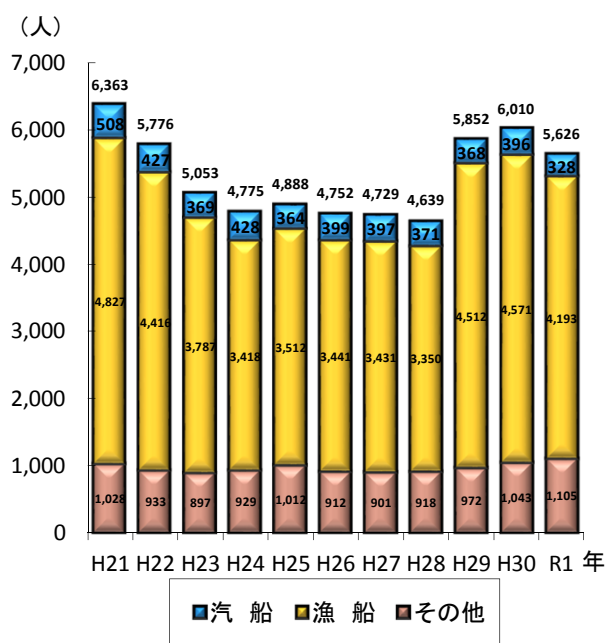
(1) 船員数の推移



資料: 東北運輸局

(注) 各年10月1日現在

(2) 船種別船員数の推移

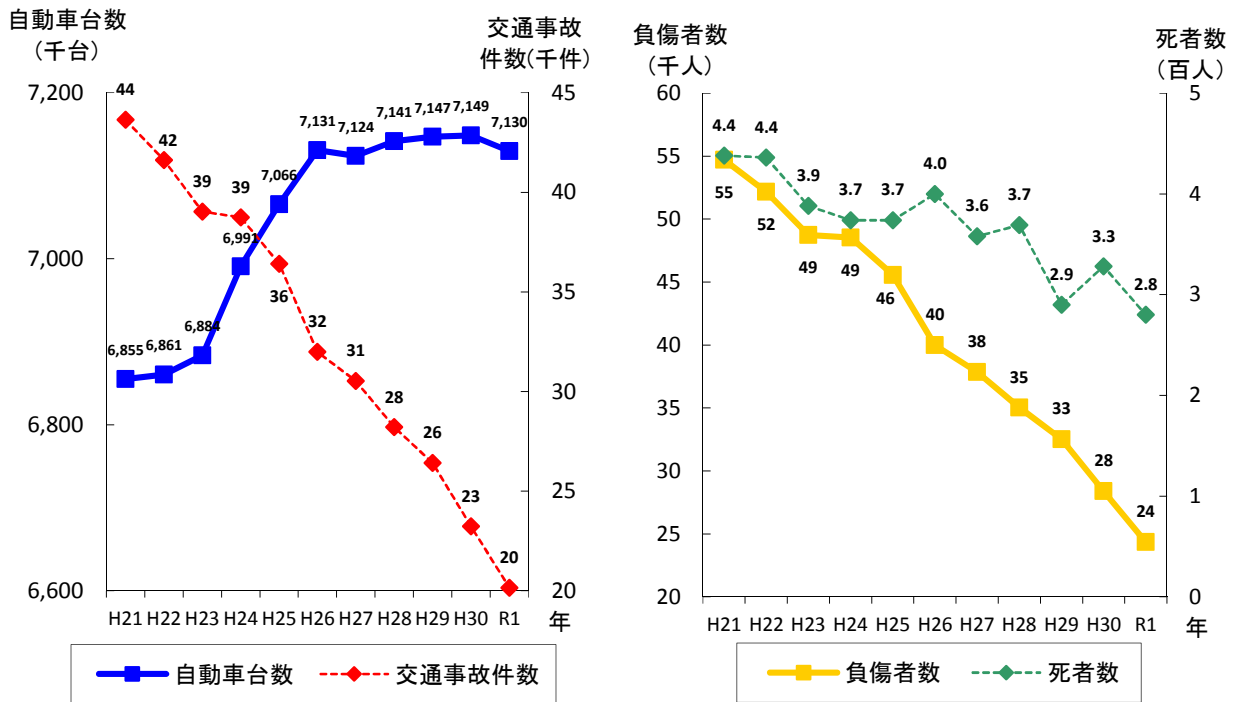


資料: 東北運輸局

(注) 1. 予備船員を含んでいないため(1)とは合致しない。
2. 各年10月1日現在

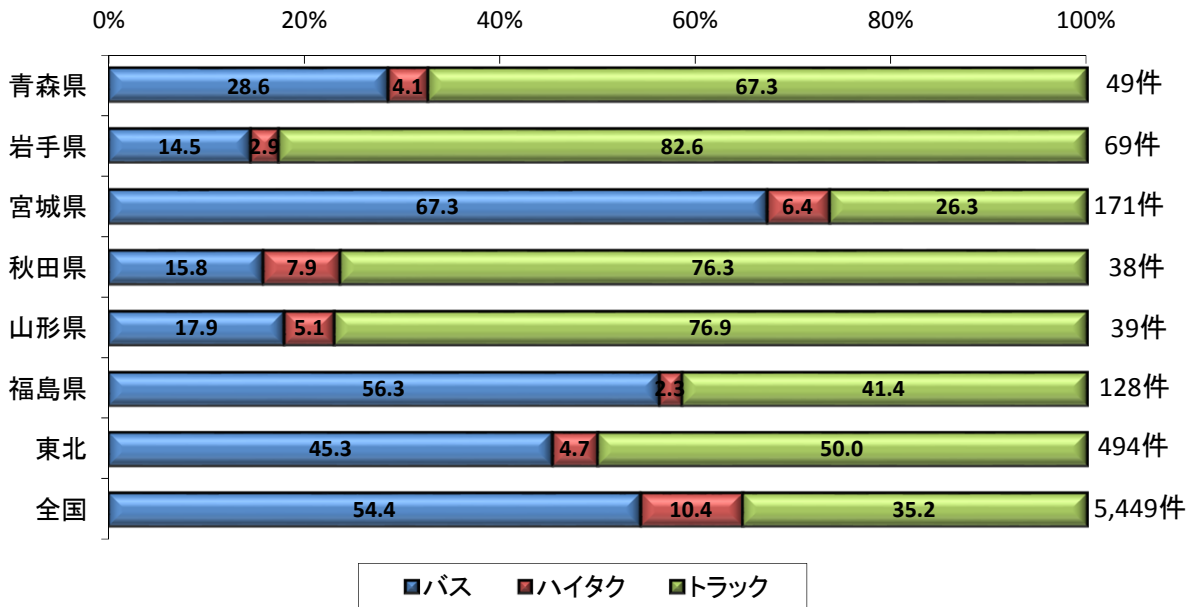
交通事故

(1) 交通事故の推移



資料: 警察庁「交通死亡事故の発生状況及び道路交通法違反取締り状況等について」
自動車台数は東北運輸局

(2) 事業用自動車業態別重大事故発生状況(平成30年)



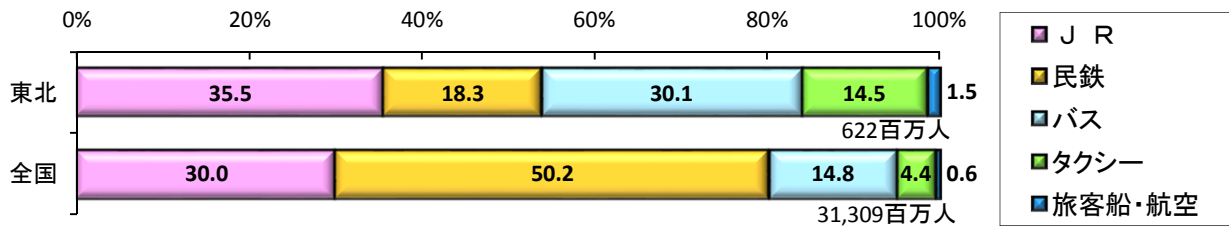
資料: 国土交通省「自動車運送事業用自動車事故統計年報」(令和2年1月)

旅客編

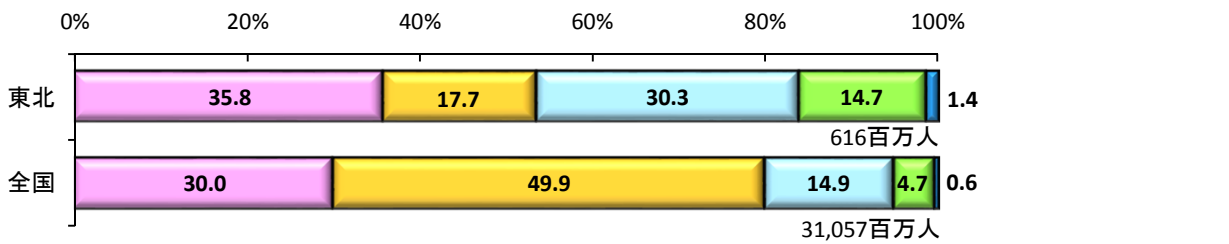
旅客輸送量

(1) 旅客輸送機関別分担率

平成30年度



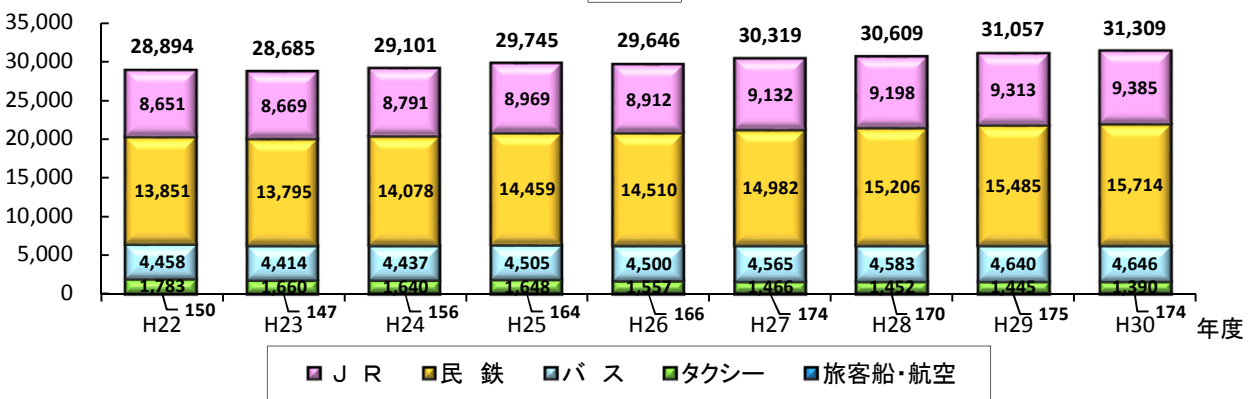
平成29年度



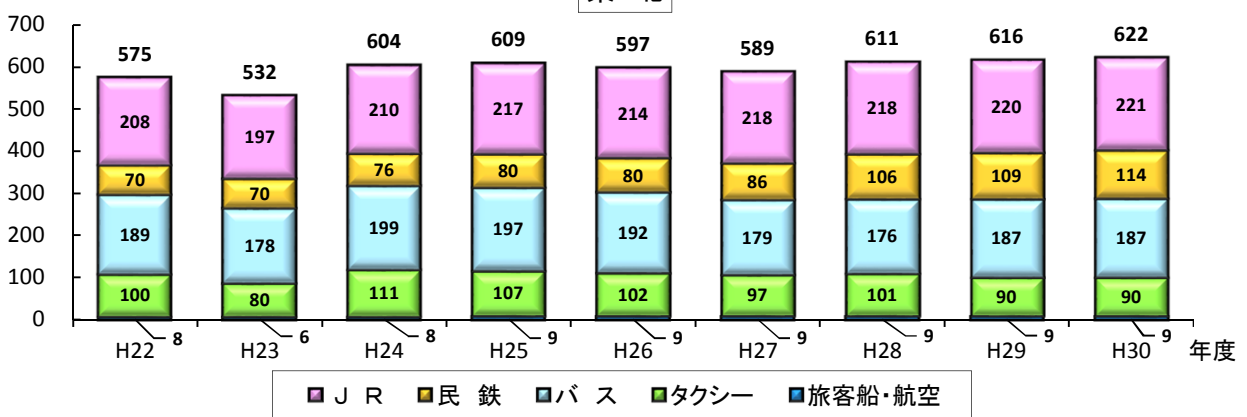
資料: 旅客地域流動調査

(2) 輸送機関別旅客輸送人員の推移

(百万人)



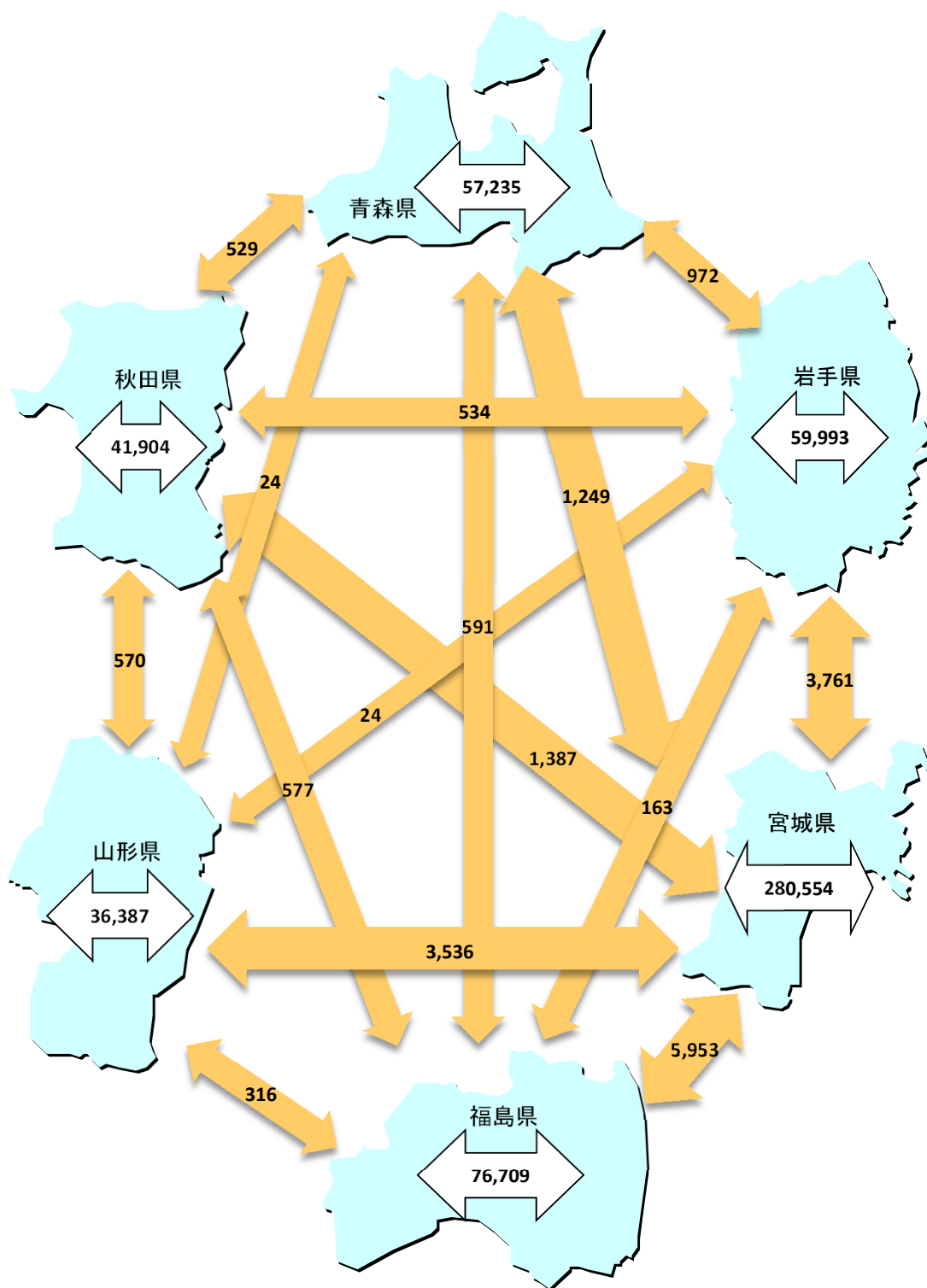
(百万人)



資料: 旅客地域流動調査

(1) 東北域内の旅客流動(平成30年度)(単位:千人)

旅客流動

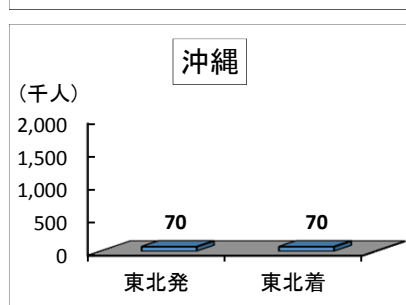
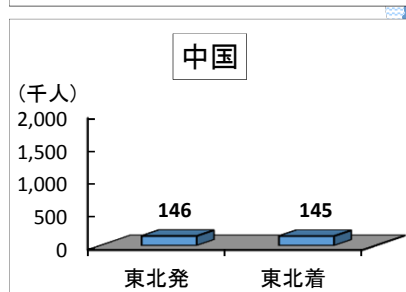
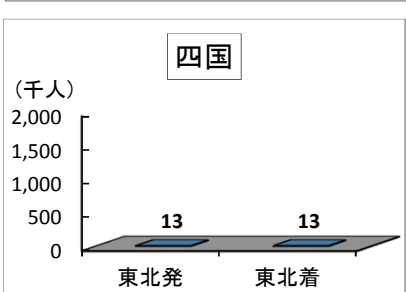
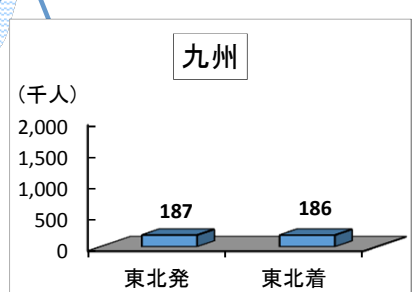
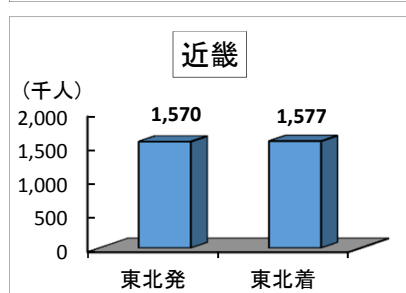
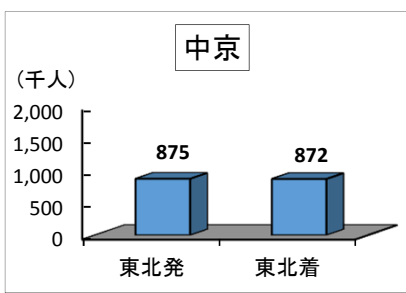
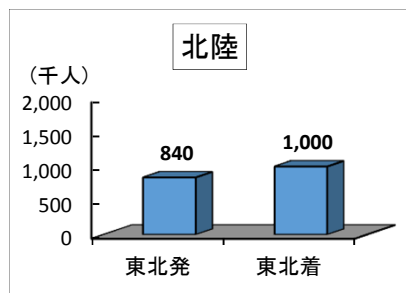
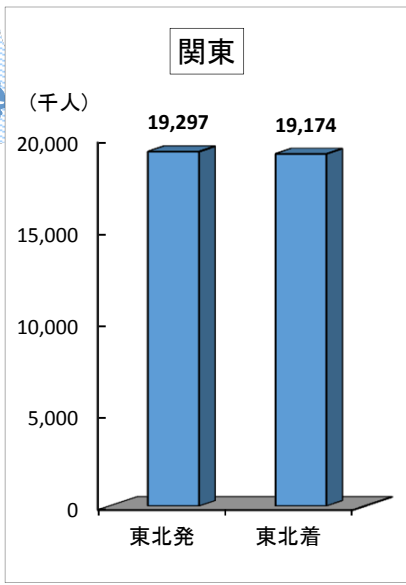
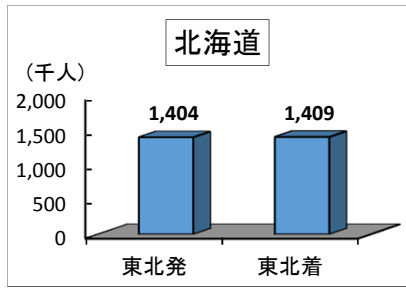
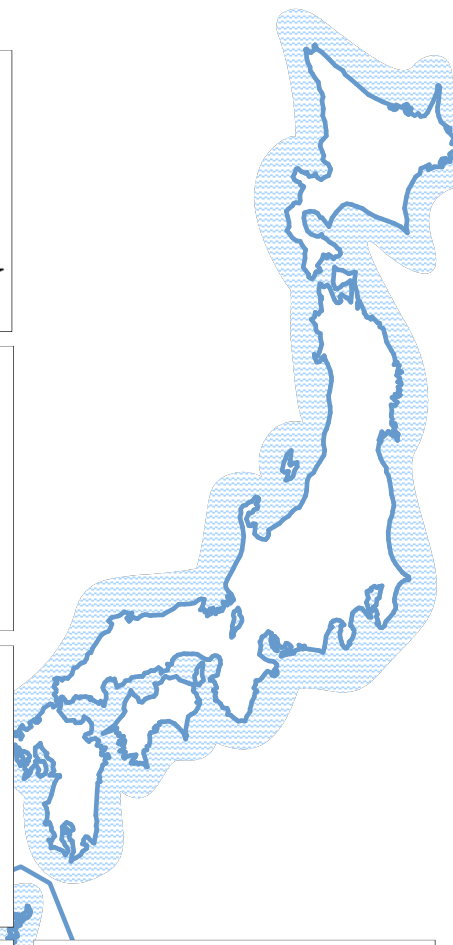


資料: 旅客地域流動調査

(注)本調査の一部は標本調査であり、本来は全国における総輸送量を把握するための精度を確保する設計となっております。そのため上記のような当該データを用いて地域を細分化して求めた各発着輸送量の精度は低くなっており、利用の際は注釈を付けるなどご配慮の程お願いいたします。

(2) 東北と全国との旅客流動(平成30年度)

旅客流動



(注)北海道、四国、九州、沖縄以外の地域区分は次のとおり。
 東北：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
 関東：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
 北陸：新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県
 中京：岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
 近畿：滋賀県、京都府、奈良県、和歌山県、大阪府、兵庫県
 中国：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県

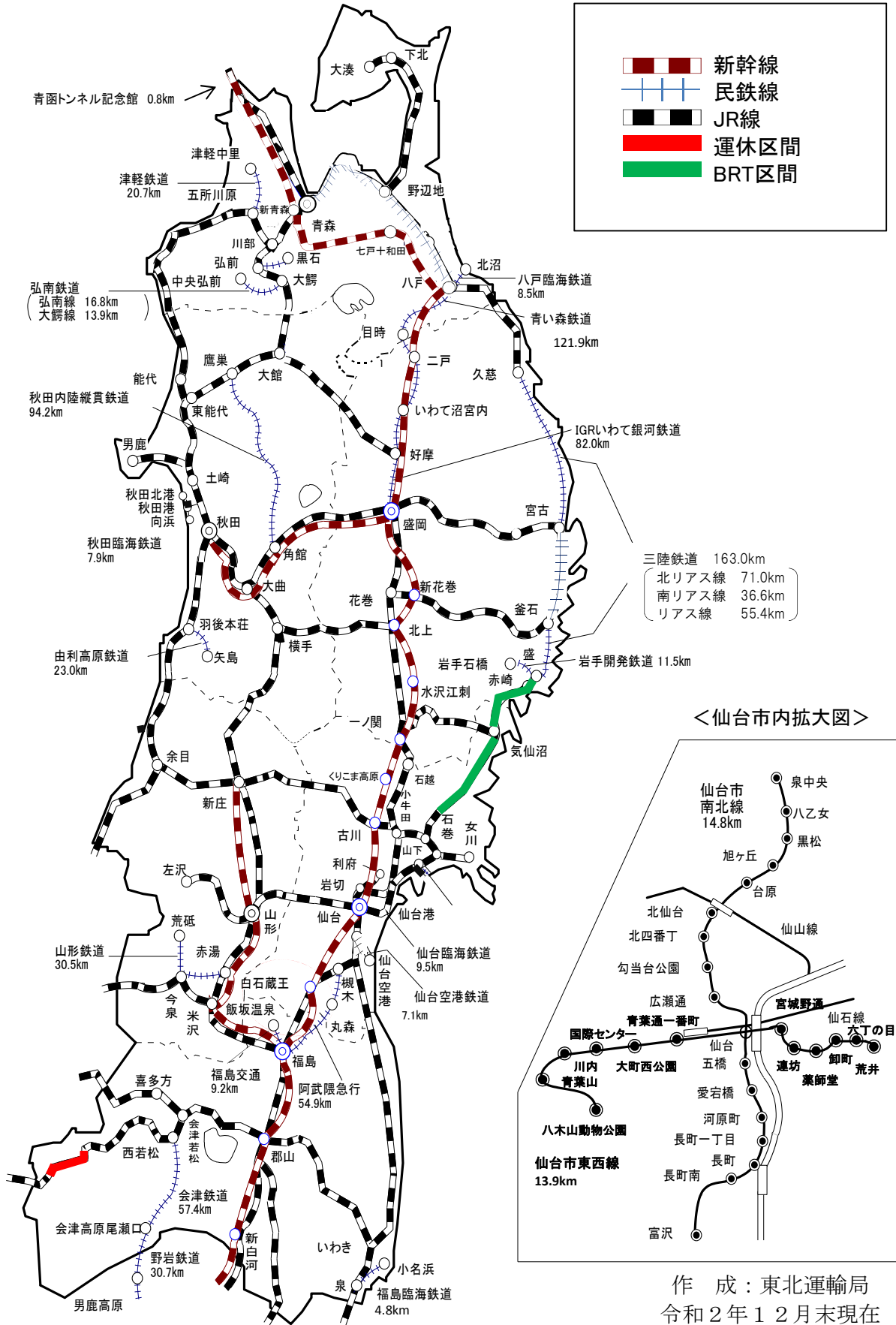
資料：旅客地域流動調査

鉄道網

鉄道路線網及び主な鉄道整備プロジェクト

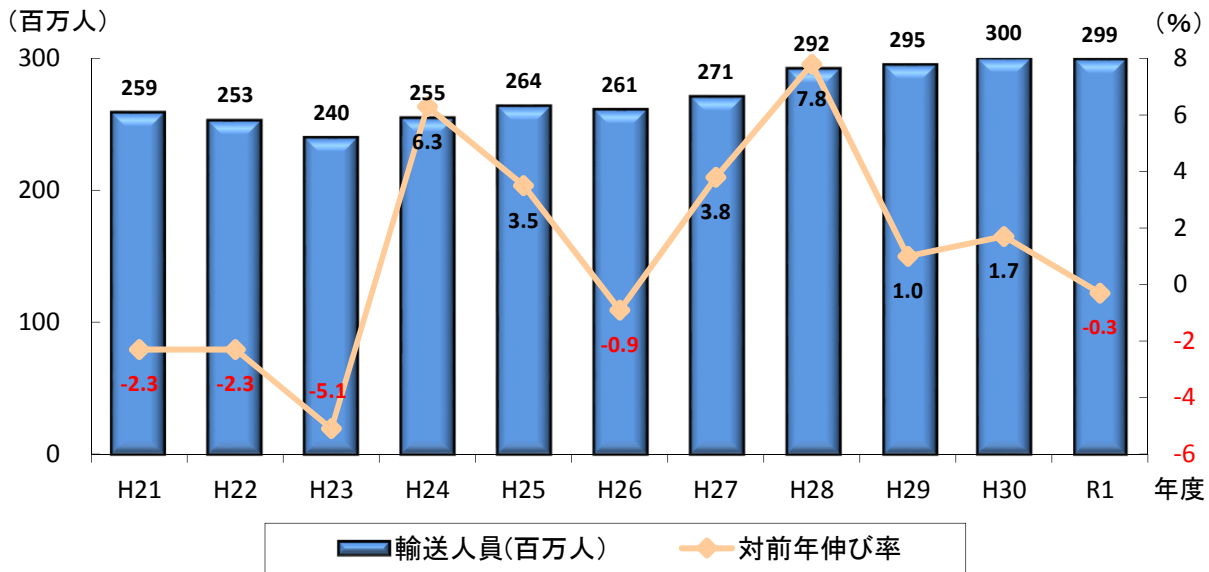
凡 例

- 新幹線
- 民鉄線
- JR線
- 運休区間
- BRT区間



鉄道旅客輸送

(1) 鉄道旅客輸送人員の推移

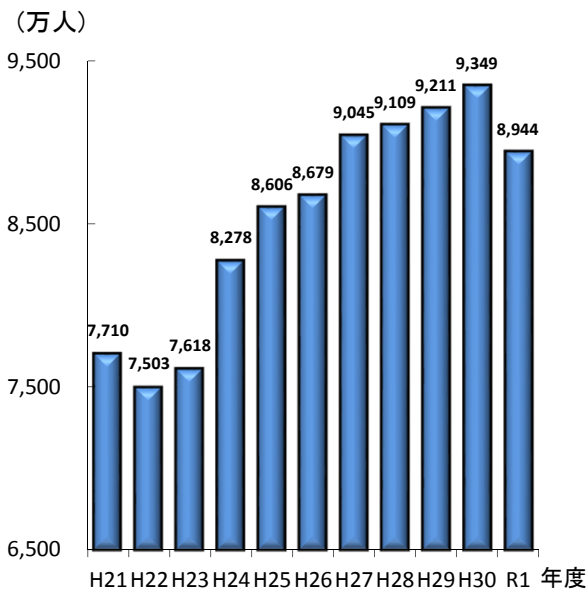


資料: 鉄道輸送統計年報

(注)1. 数値はJR、民鉄、仙台市営地下鉄の合計

2. 平成22年12月東北新幹線(八戸～新青森)開業のため、青い森鉄道(株)において八戸～青森間延伸。

(2) 新幹線(東北線)の輸送人員の推移



資料: 鉄道輸送統計年報

(注)東北新幹線(大宮～盛岡)昭和57年6月開業。

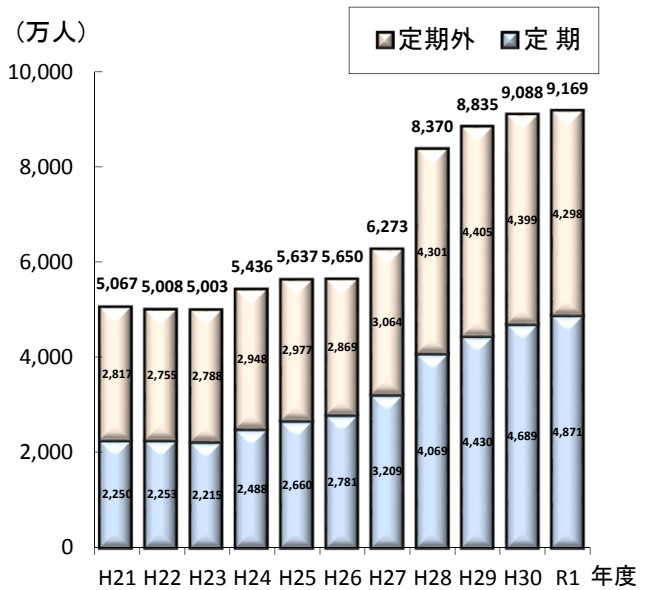
〃 (上野～大宮)昭和60年3月開業。

〃 (東京～上野)平成3年3月開業。

〃 (盛岡～八戸)平成14年12月開業。

〃 (八戸～新青森)平成22年12月開業。

(3) 仙台市営地下鉄の輸送人員の推移



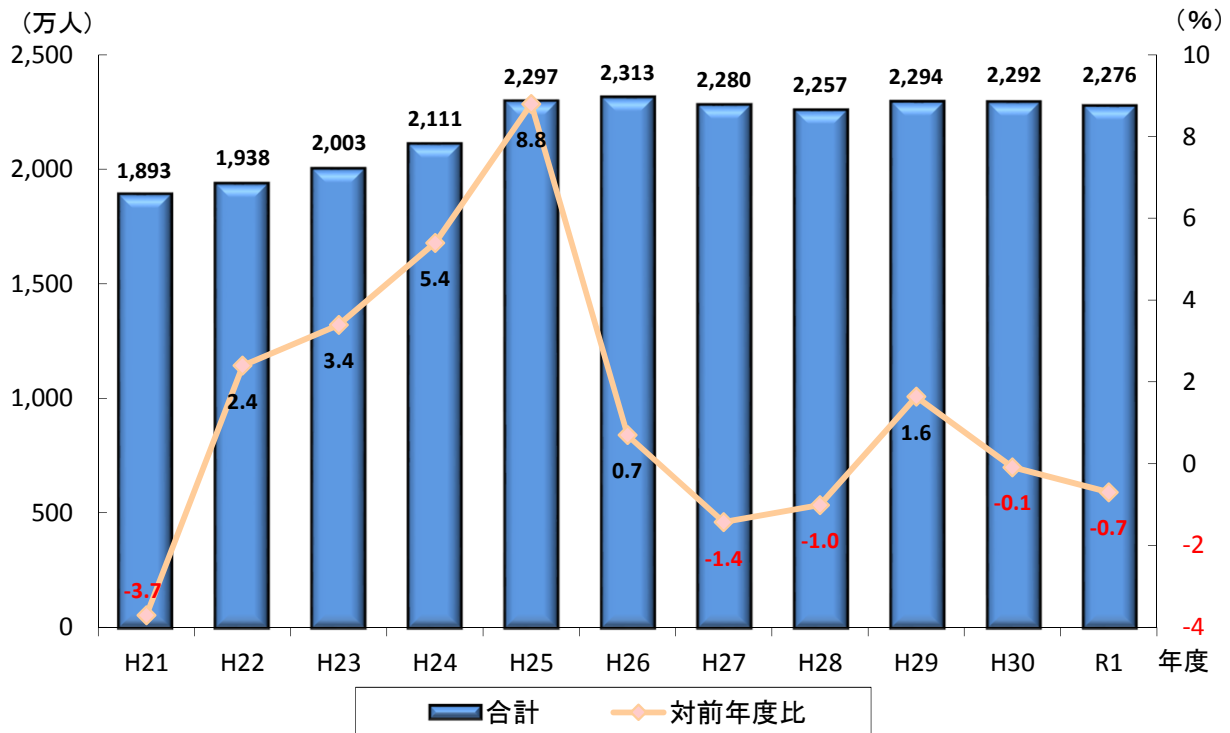
資料: 東北運輸局

(注)昭和62年7月南北線開業。

平成27年12月東西線開業。

輸送人員は、敬老・ふれあい乗車証等無料乗車人員を除いた数値。

(4) 民鉄旅客輸送人員の推移



資料: 東北運輸局

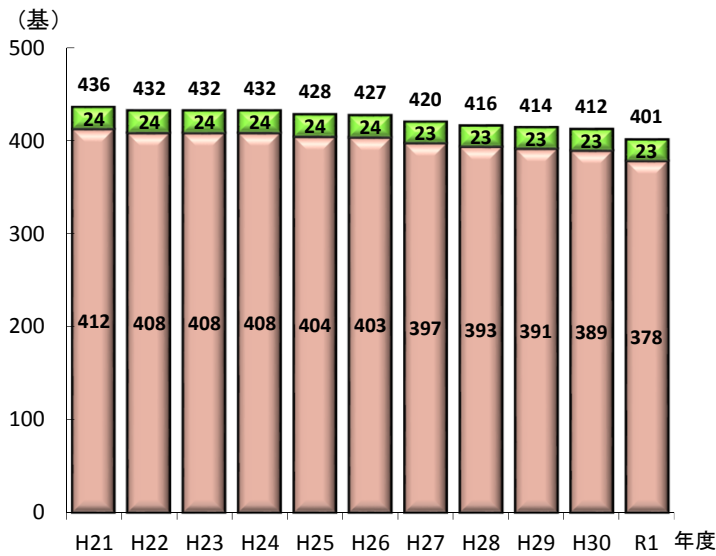
(5) 鉄道駅のバリアフリー化施設整備状況

東北運輸局管内 (令和元年度末現在)

	J R(駅数: 699)	公営(駅数: 29)	民鉄(駅数: 243)	合計
段差を解消している駅	186	29	72	287
エレベーターを設置している駅	90	29	15	134
エスカレーターを設置している駅	39	29	5	73
スロープを設置している駅	131	29	75	235
視覚障害者誘導用ブロックを敷設している駅	494	29	140	663
点字による案内設備を設置している駅	37	29	18	84
点字券売機を設置している駅	587	29	30	646
障害者対応型券売機を設置している駅	207	29	14	250
障害者対応型改札口を設置している駅	318	29	29	376
運行情報提供設備を設置している駅	362	29	137	528
転落防止設備を設置している駅	503	29	77	609
車いす利用者対応型トイレを設置している駅	101	29	44	174

資料: 東北運輸局

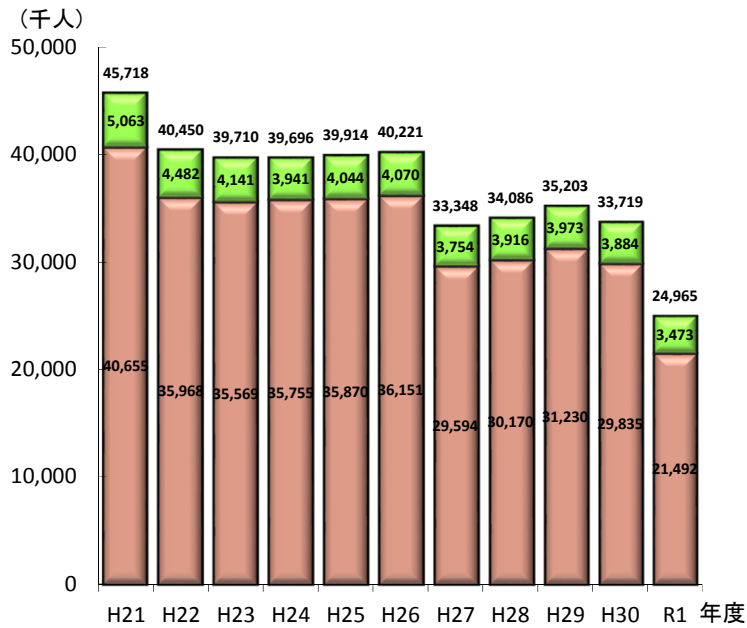
(1) 索道営業基数の推移



資料: 東北運輸局

(注)1. 平成9年5月に法令改正があり、特殊索道は甲種、乙種、丙種の区別がなくなった。
2. 各年度末現在

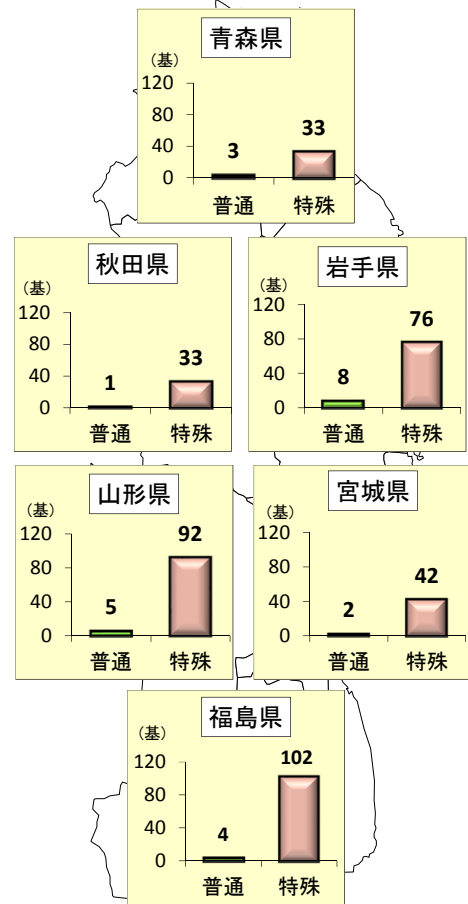
(2) 索道輸送人員の推移



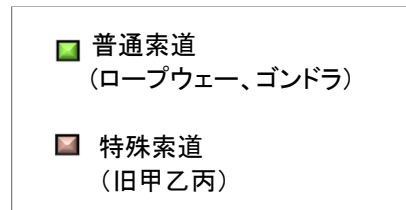
資料: 東北運輸局

(注)各年度末現在

(3) 索道営業基数の分布 (令和元年度末現在)



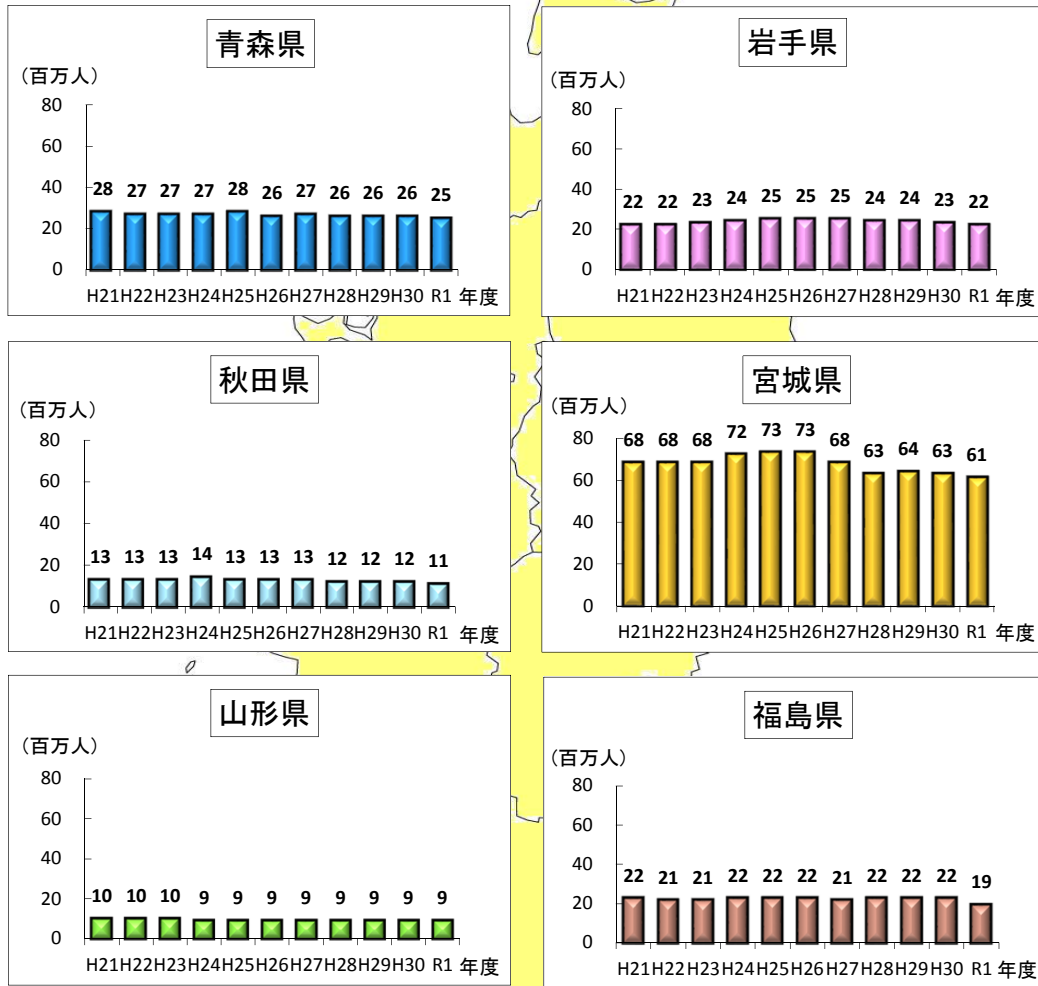
資料: 東北運輸局



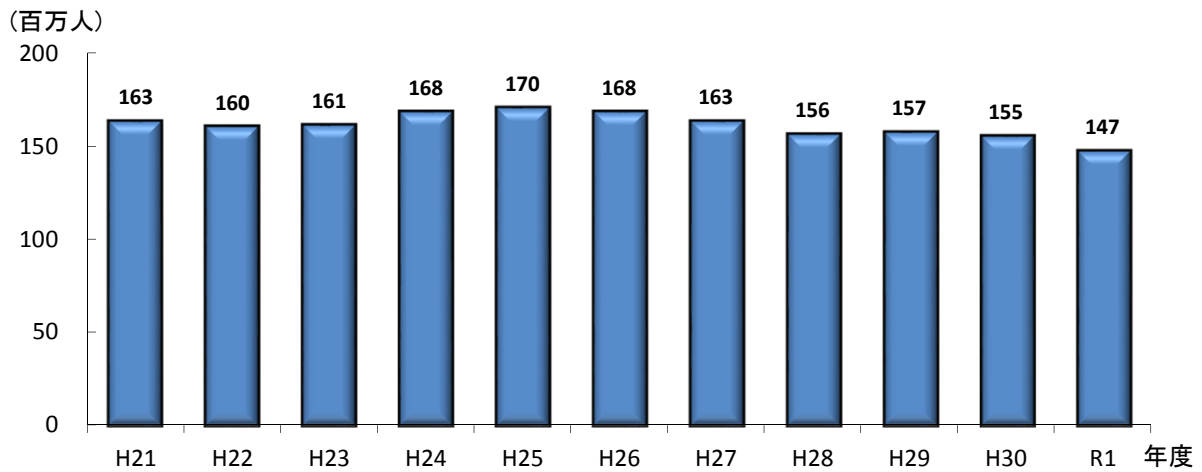
乗合バス輸送人員の推移

乗合バス

①各県別



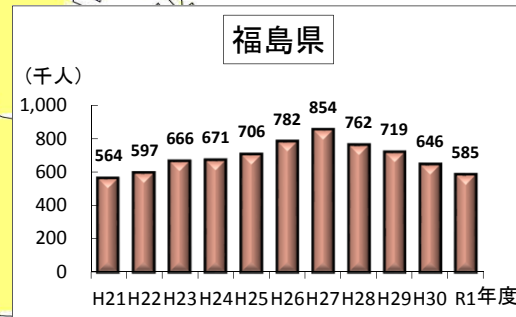
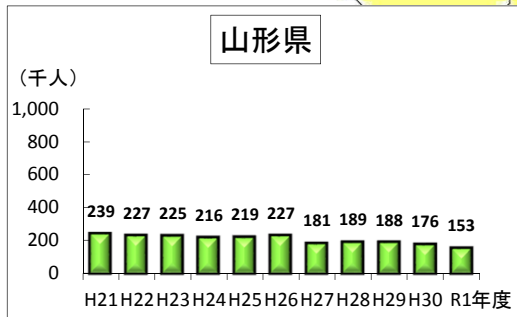
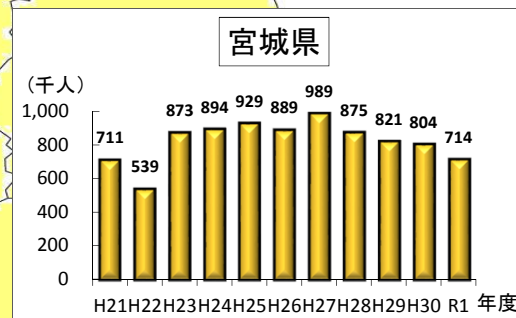
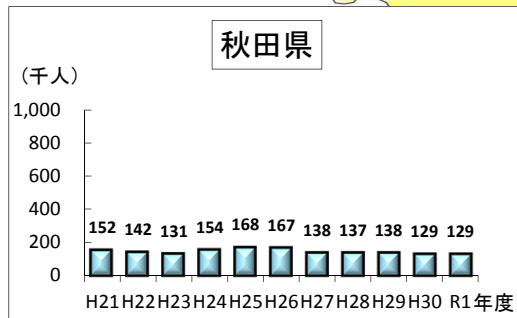
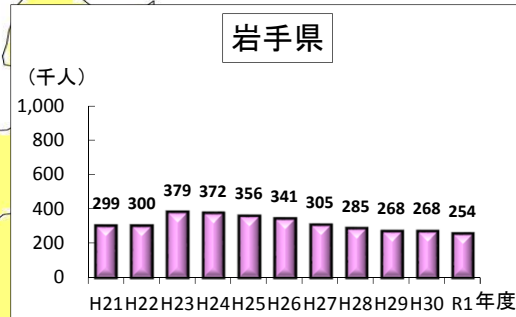
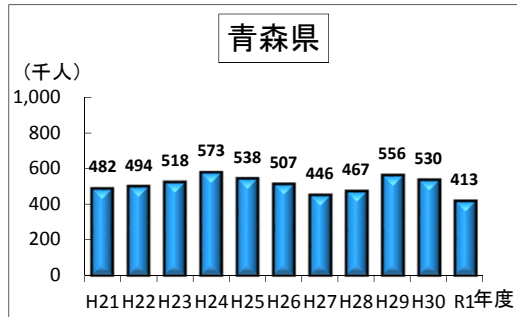
②東北6県



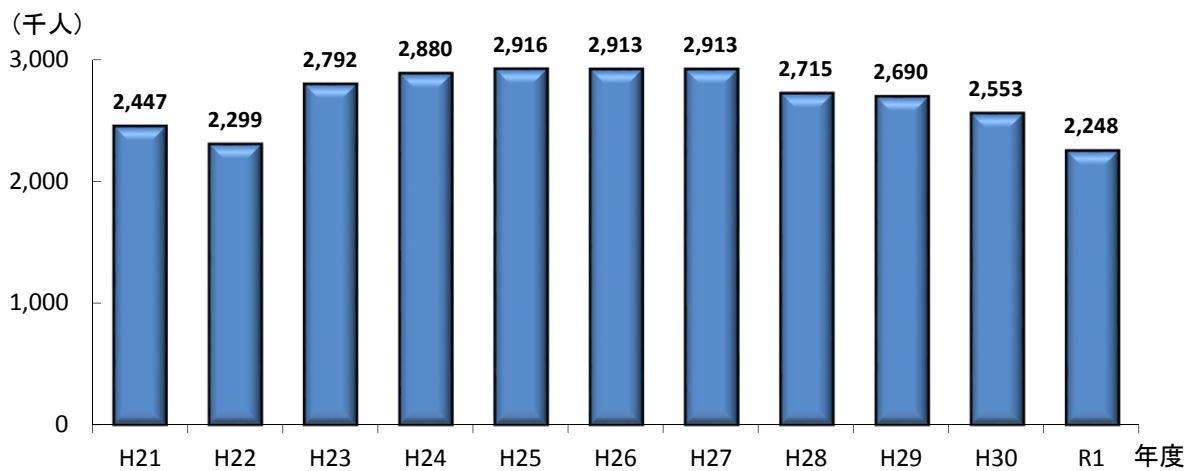
資料: 東北運輸局

貸切バス輸送人員の推移

①各県別

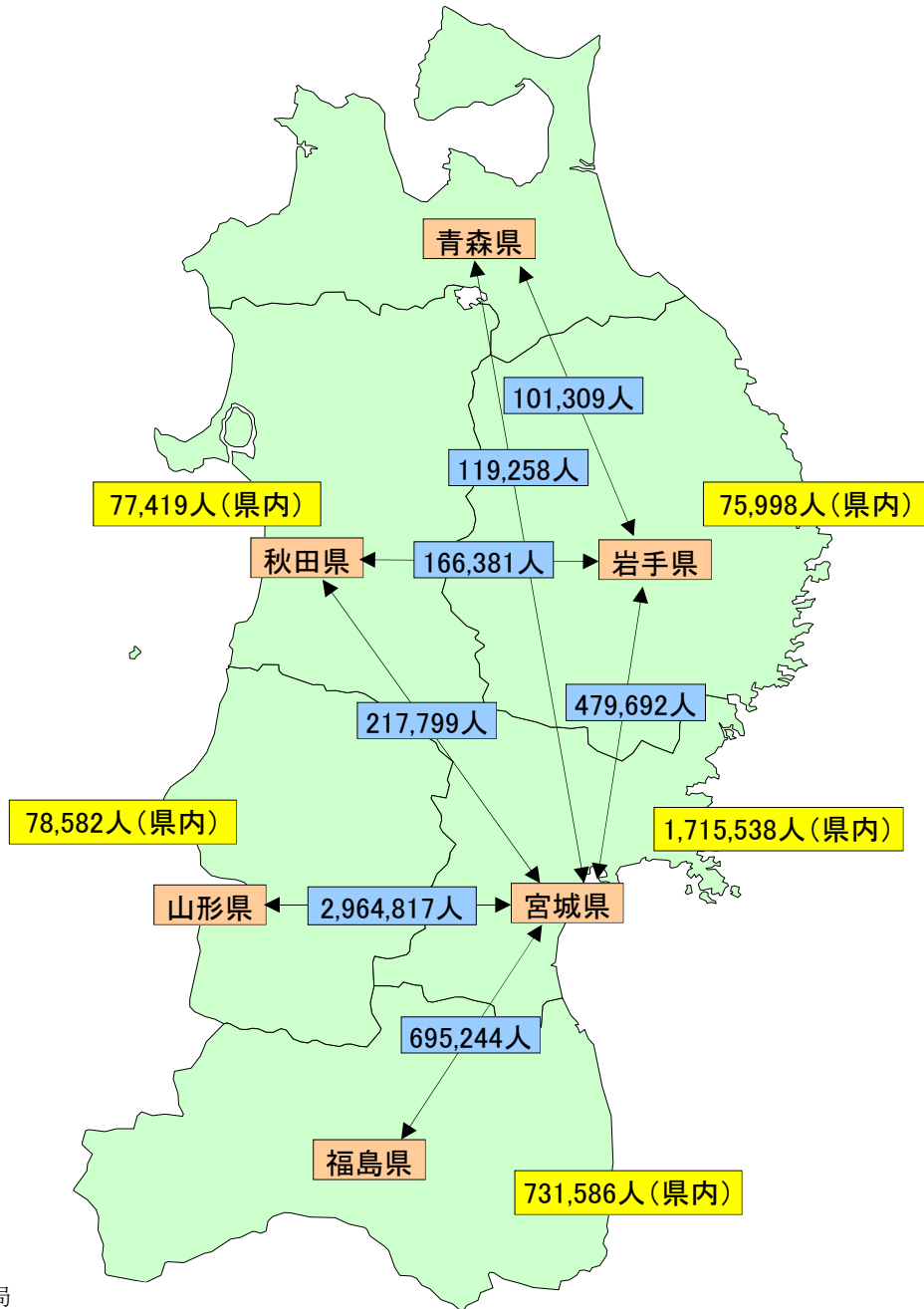


②東北6県



資料: 東北運輸局

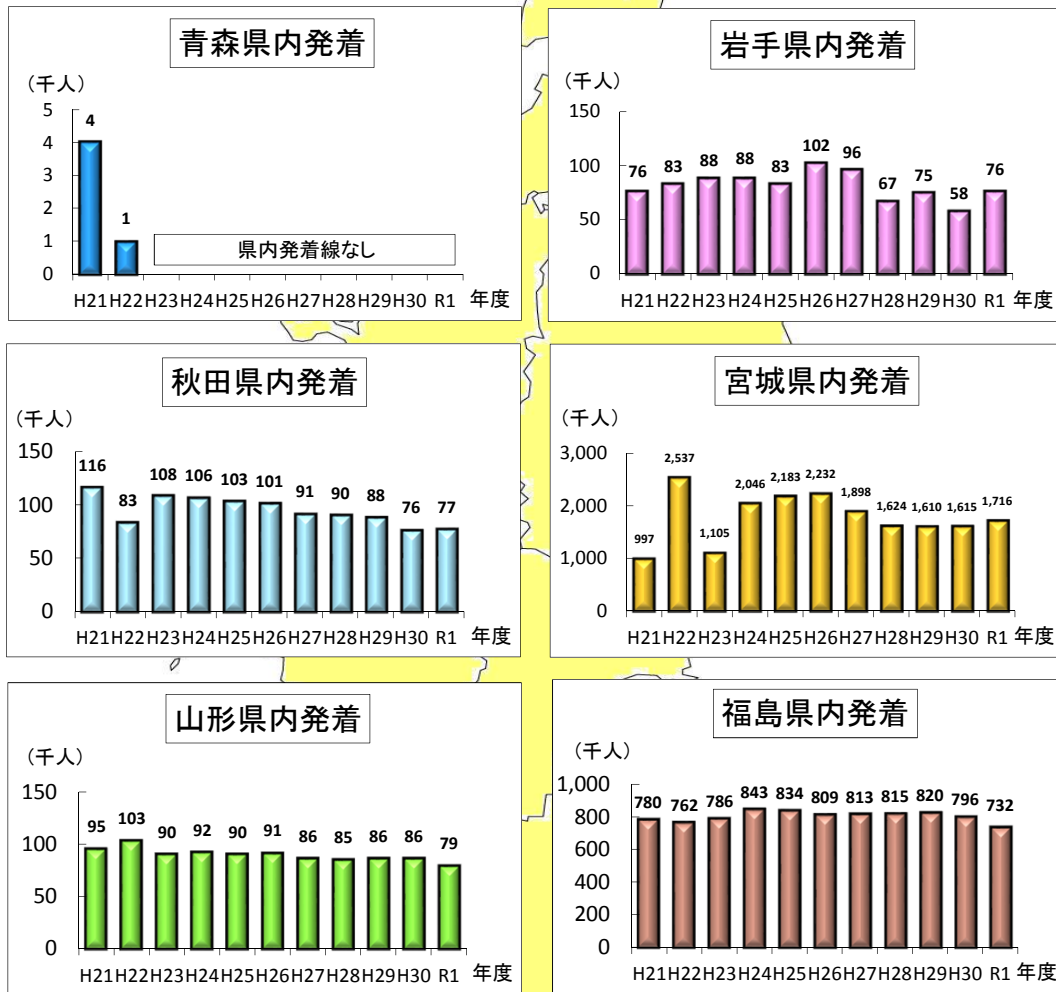
(1) 高速バス輸送人員(令和元年度)
東北管内発着便(東北圏内便)



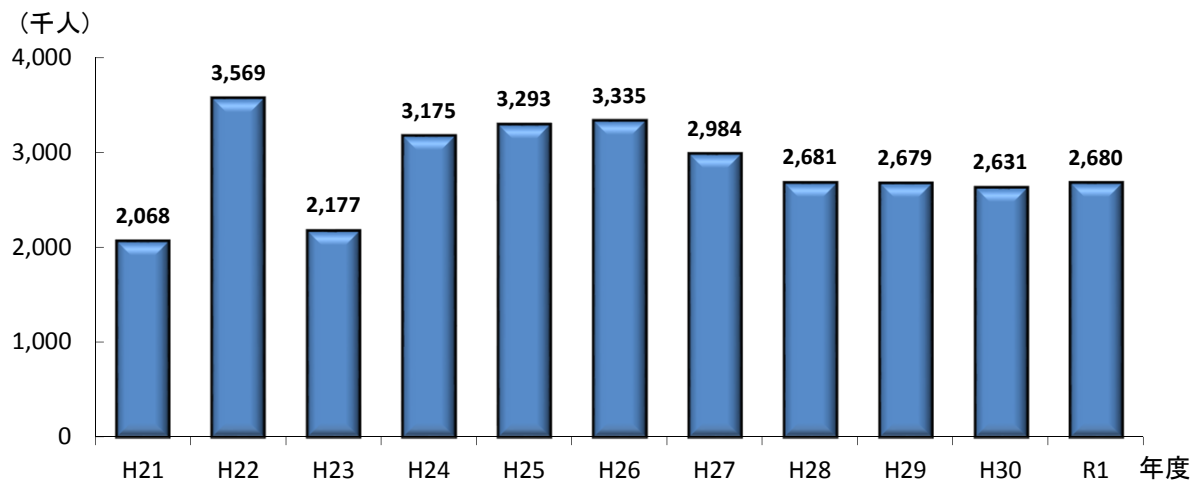
資料: 東北運輸局

(2) 高速バス輸送人員の推移(各県内発着)

①各県別



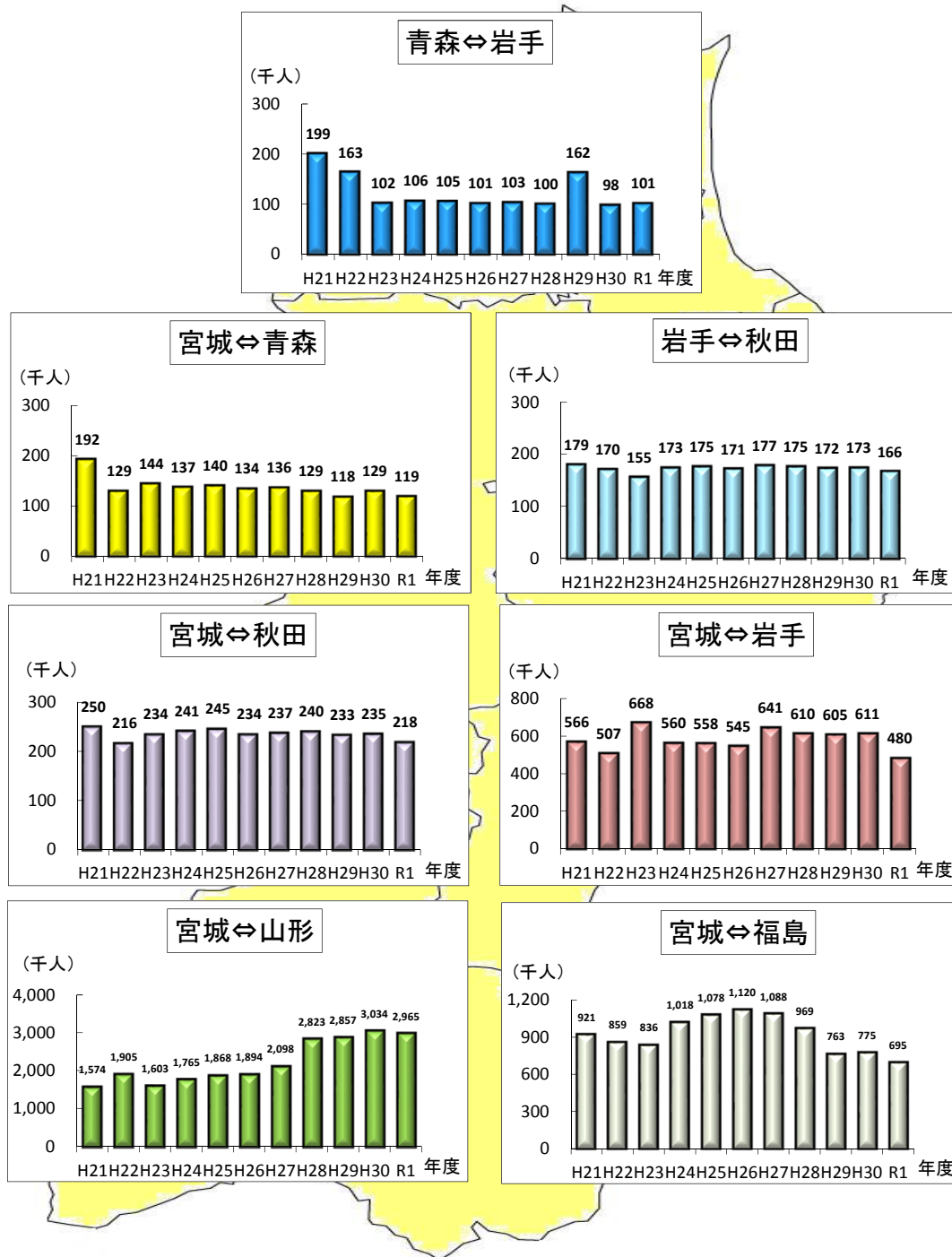
②東北6県



資料: 東北運輸局

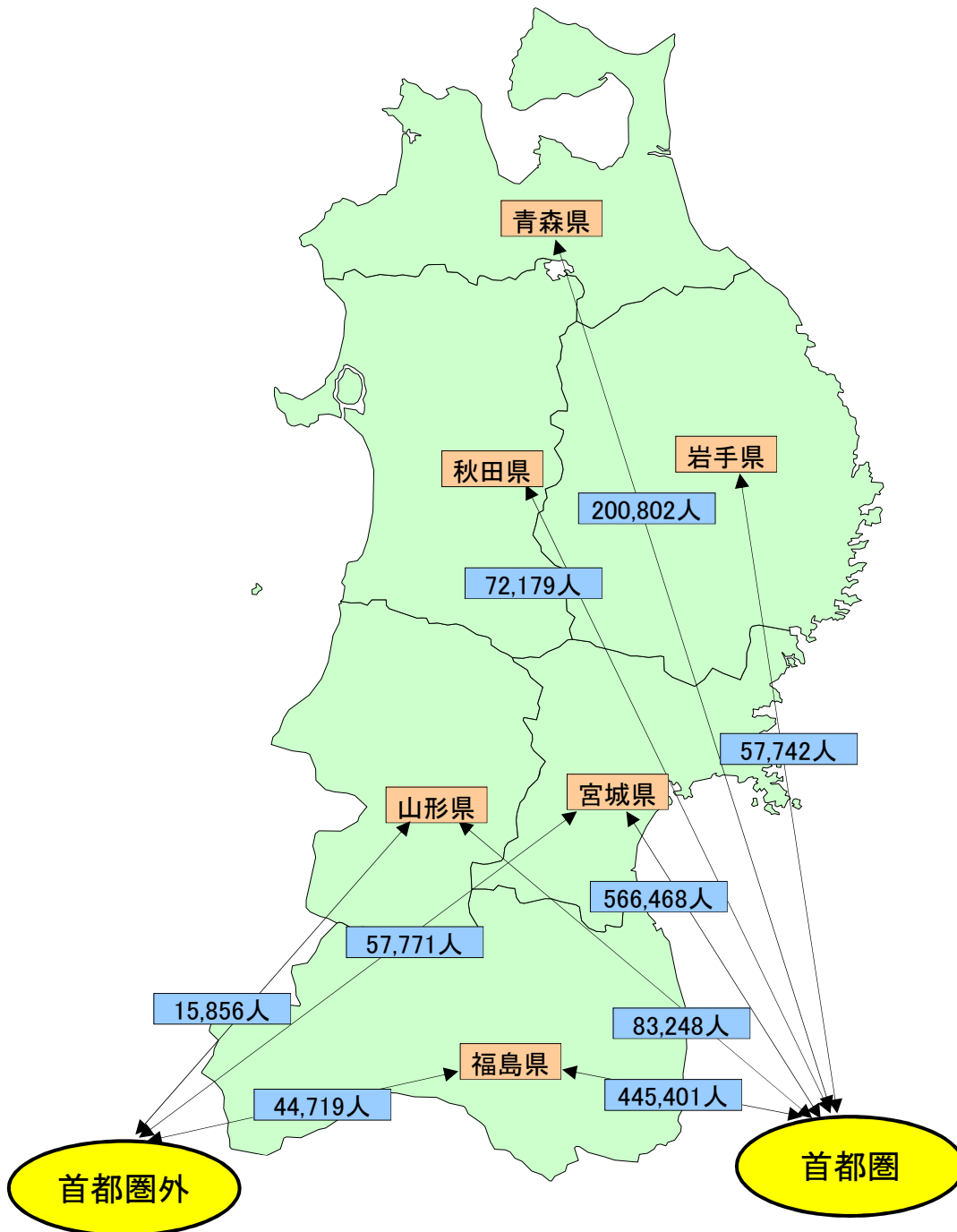
(3) 高速バス輸送人員の推移(東北管内発着)

高速バス



資料:東北運輸局

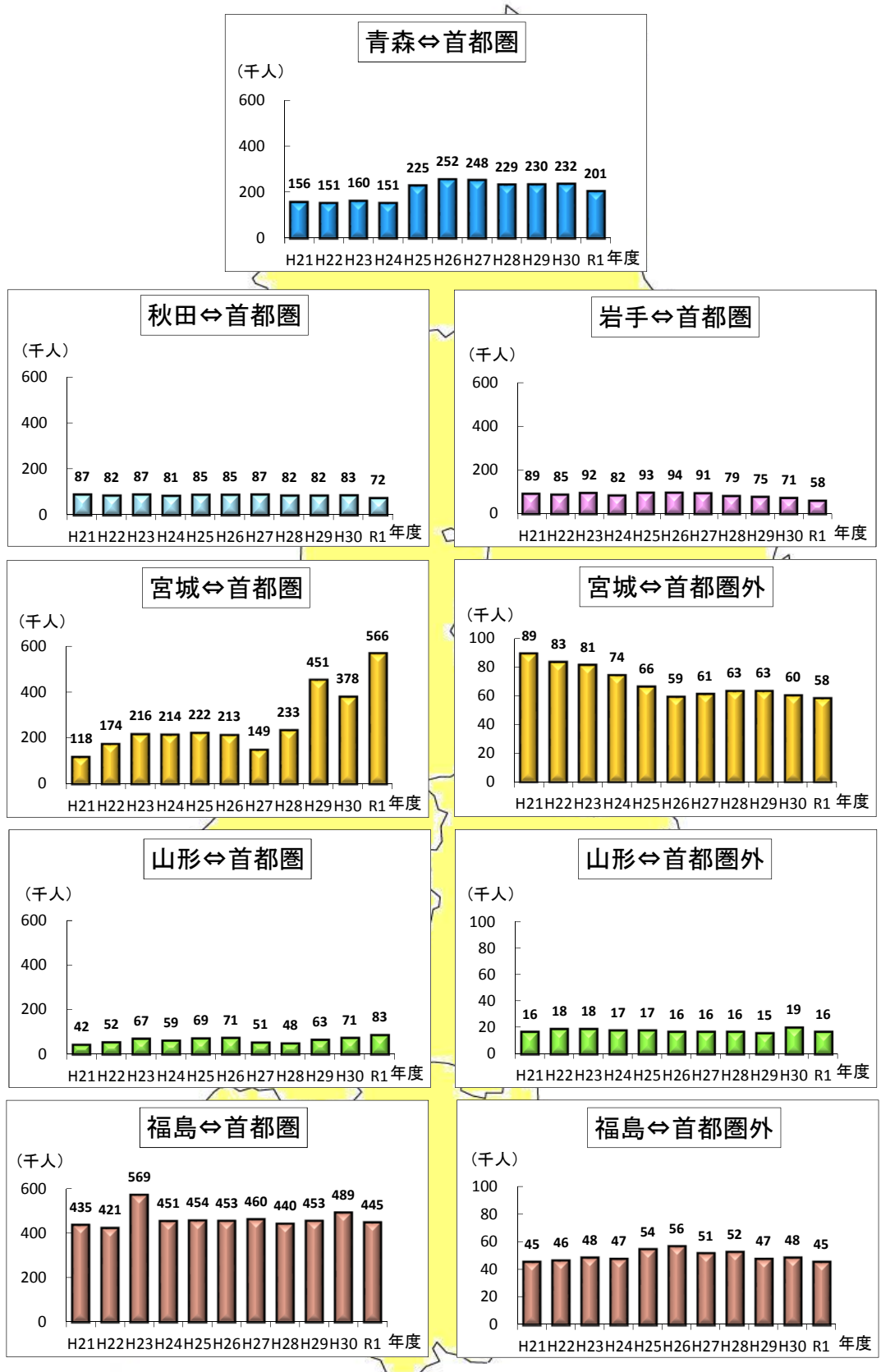
(4) 高速バス輸送人員(令和元年度)
東北から管外への連絡便(東北圏外便)



資料: 東北運輸局

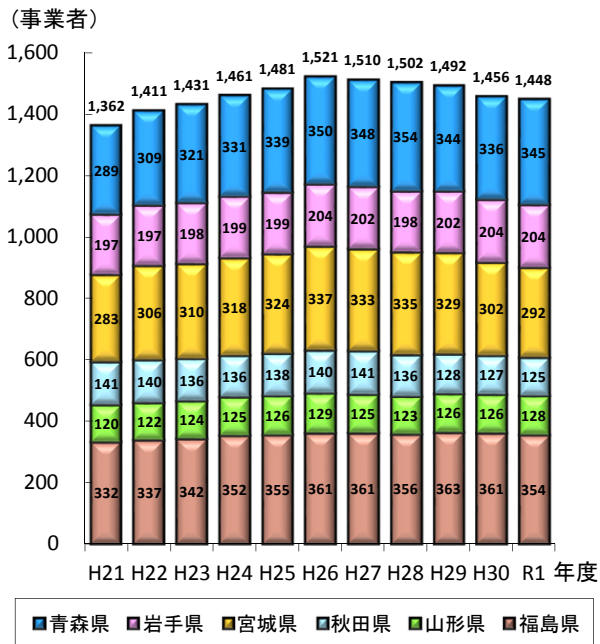
(5) 高速バス輸送人員の推移(首都圏、その他地域)

高速バス



資料:東北運輸局

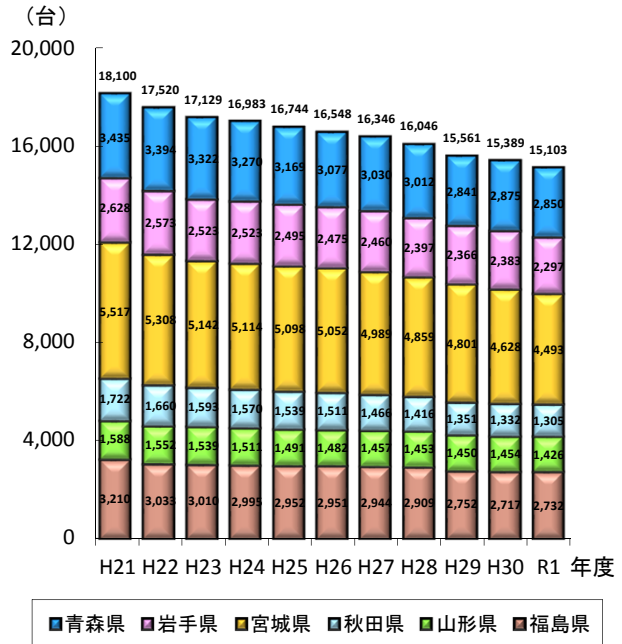
(1) ハイヤー・タクシー事業者数の推移



資料: 東北運輸局

- (注)1. 個人タクシーについては、事業者に含まれていない。
2. 各年度末現在

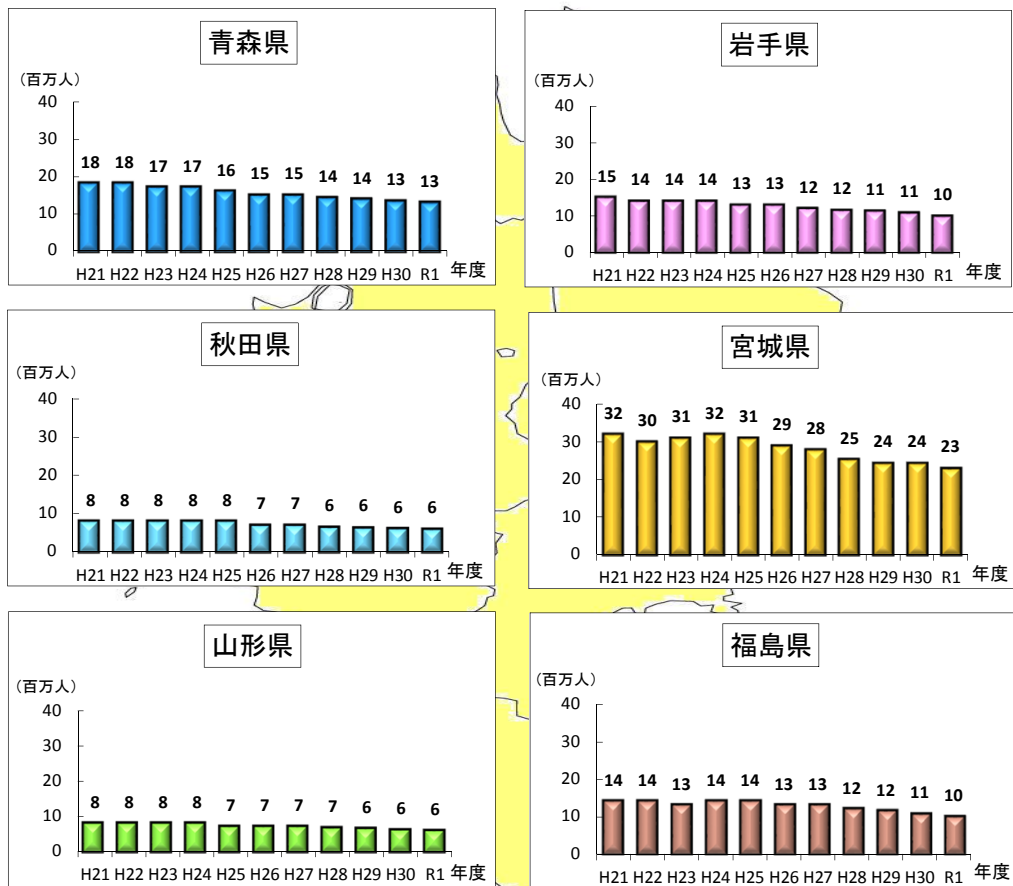
(2) ハイヤー・タクシー車両数の推移



資料: 東北運輸局

- (注)1. 個人タクシーの車両を含む。
2. 各年度末現在

(3) ハイヤー・タクシー輸送人員の推移

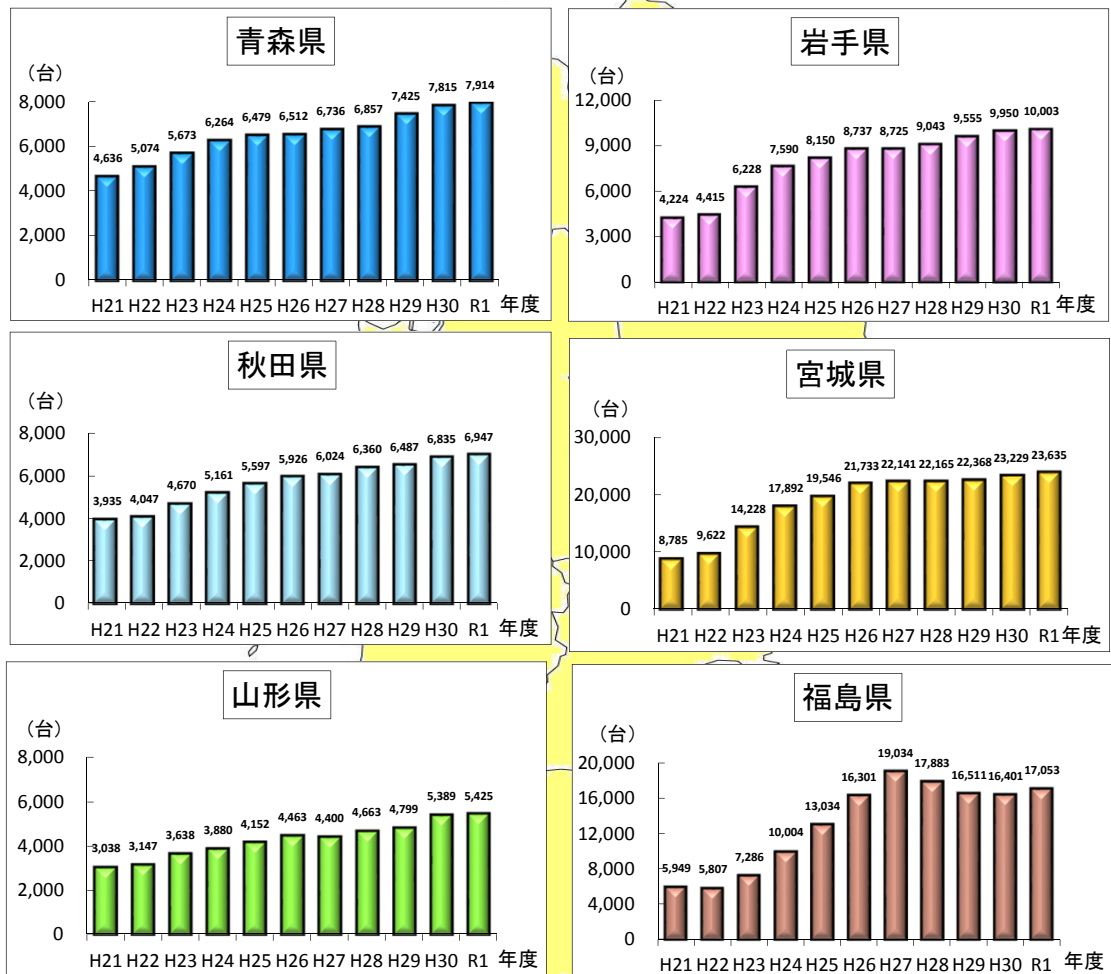


資料: 東北運輸局

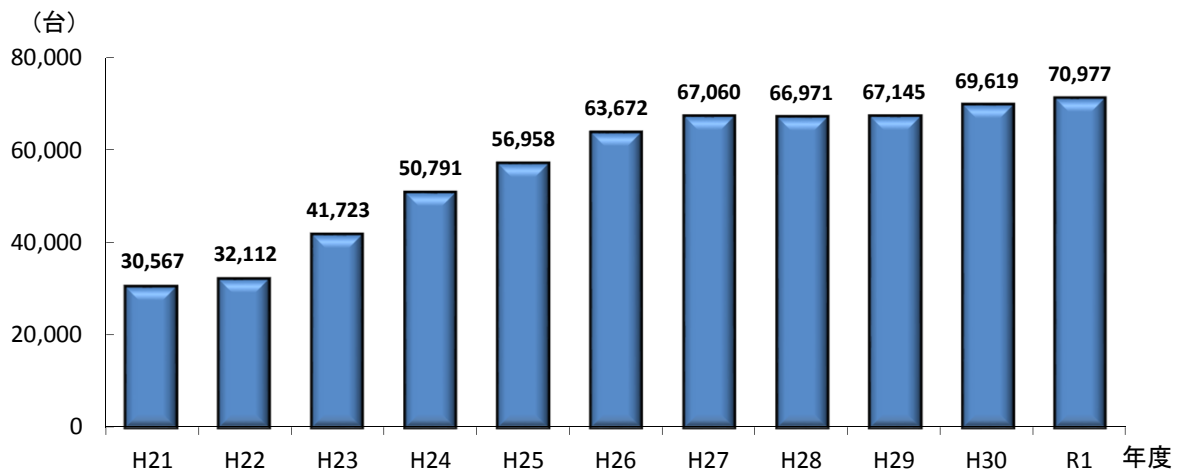
レンタカー車両数の推移

レンタカー

①各県別



②東北6県



資料: 東北運輸局

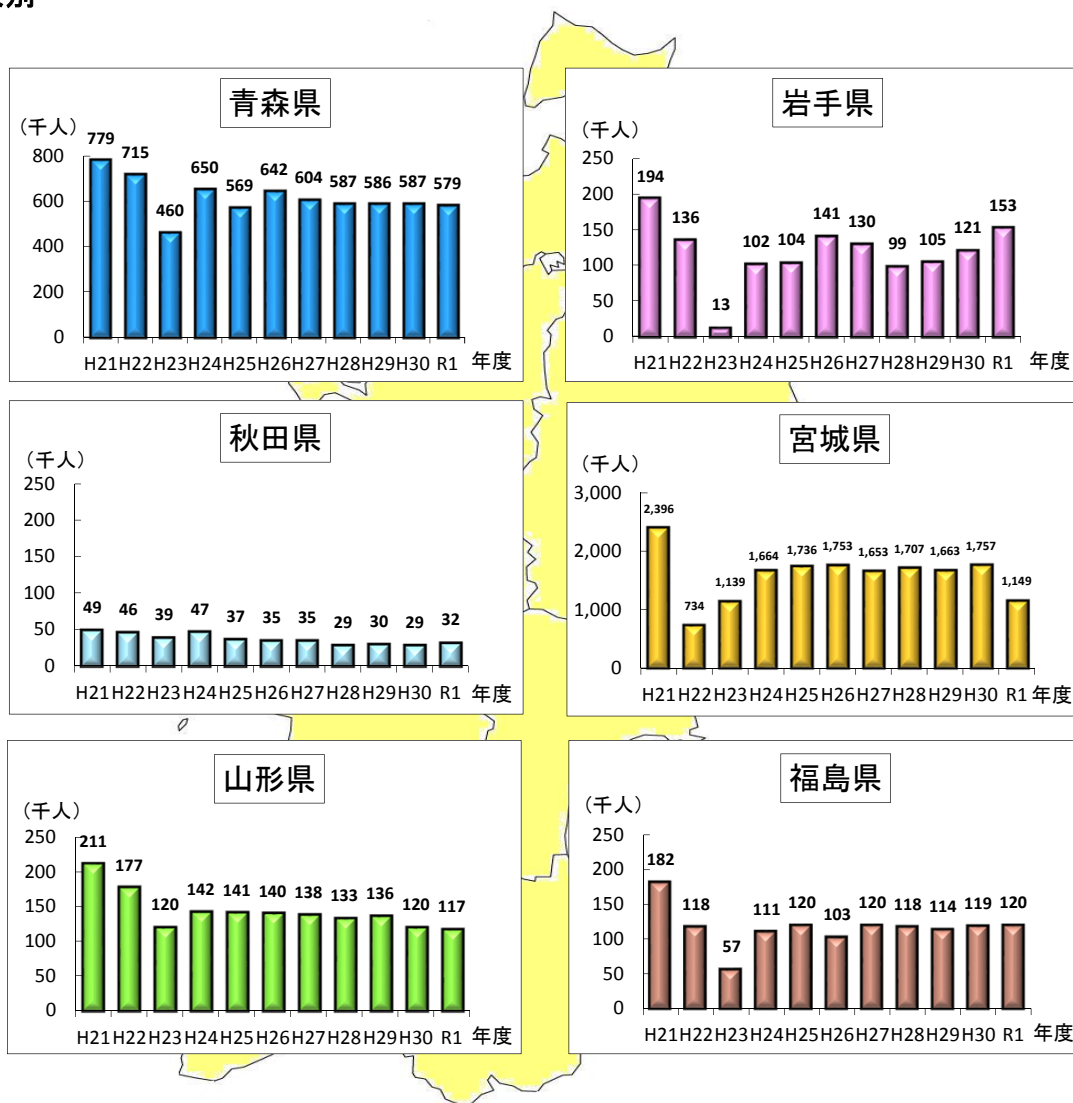
(注)1. グラフ上の数字は県内事業者の登録自動車数である。

2. 登録自動車に軽自動車は含まれない。

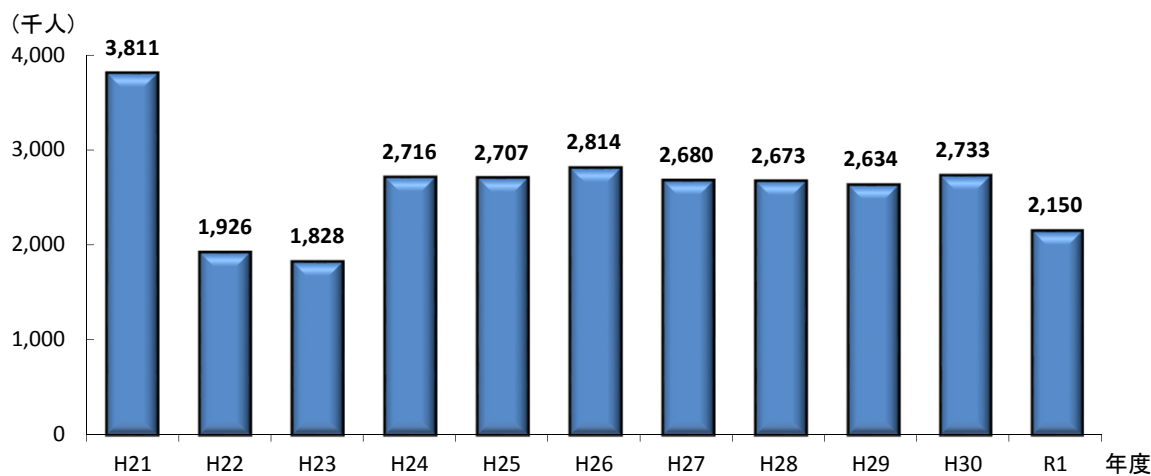
旅客船輸送人員の推移

旅客船

①各県別



②東北6県



資料: 東北運輸局

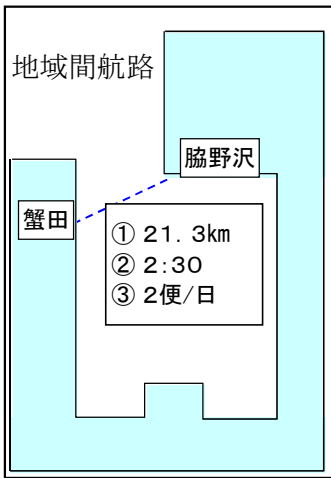
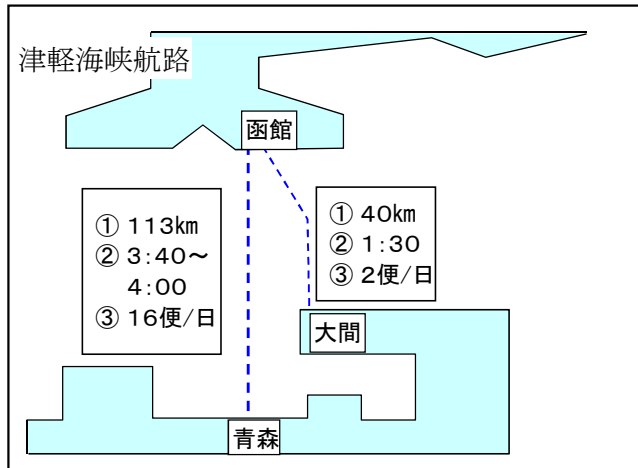
(注)平成22年度の輸送実績は、東日本大震災における被災によりデータを流出した事業者があり、その分の実績は含まれていない。

フェリー航路

フェリー

凡例

- ① 航路距離
- ② 所要時間
- ③ 運航回数



- ① 413km
② 秋田→苫小牧10:30
 苫小牧→秋田12:05
③ 6便/週

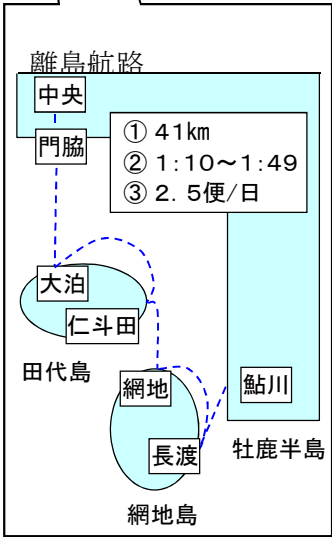
- ① 224km
② 秋田→新潟6:55
 新潟→秋田6:35
③ 6便/週

- ① 770km
② 21:40
③ 1便/2日

- ① 242km
② 八戸～苫小牧
 7:15~8:30
③ 4便/日

- ① 353.9km
② 宮古→室蘭10:00
 室蘭→八戸→宮古11:05
③ 6便/週

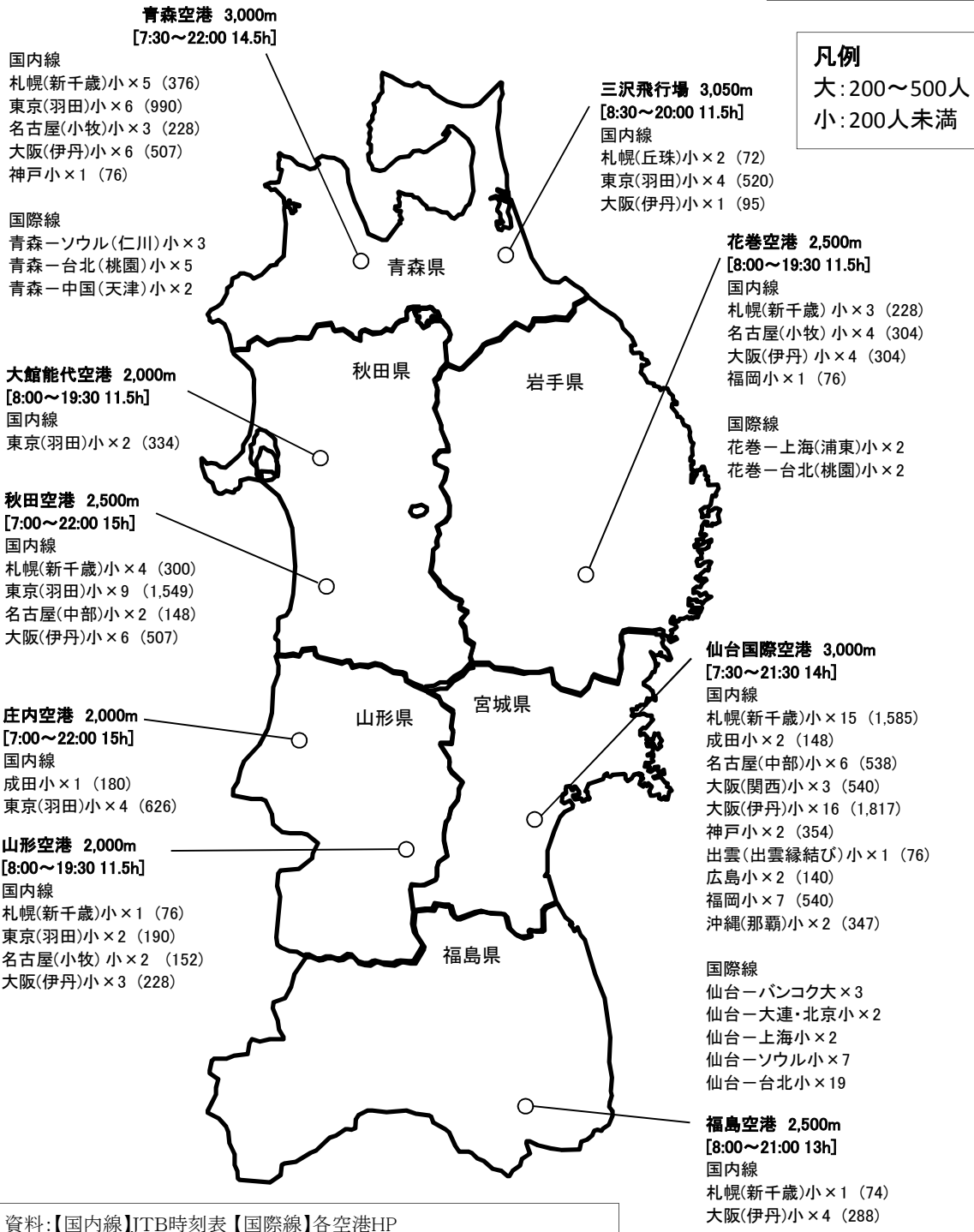
- ① 560km
② 苫小牧→仙台15:00
 仙台→苫小牧15:20
③ 1便/日



資料:東北運輸局
(注)令和2年10月現在

航空路線網

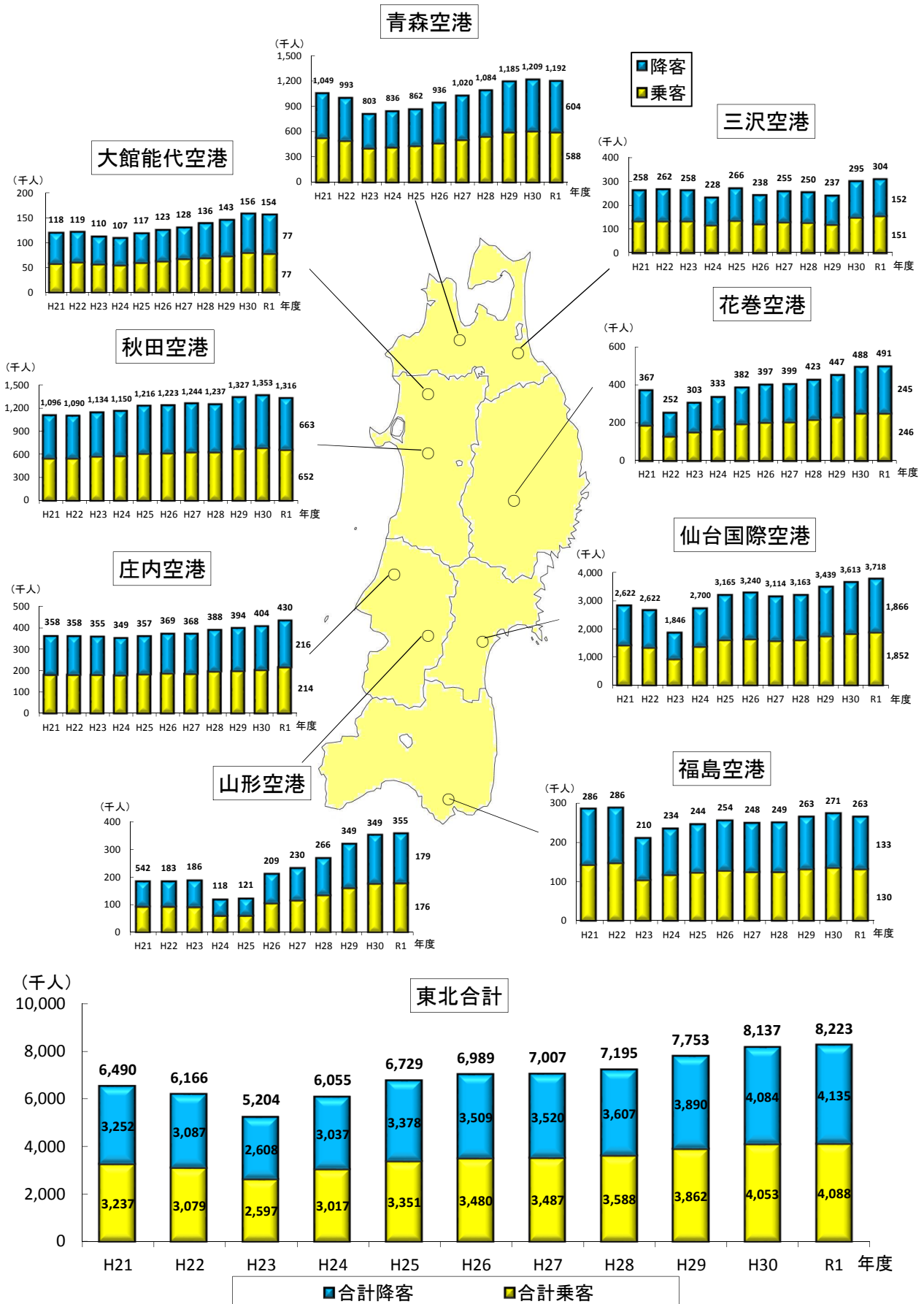
航空路線網



凡例
大: 200~500人
小: 200人未満

資料:【国内線】JTB時刻表【国際線】各空港HP
(注)1. 令和2年12月現在
2. 空港名の隣の数字は滑走路の距離
3. []内は各空港運用時間
4. ×数字:国内線は原則として1日当たりの便数を表す。
:国際線は1週間当たりの便数を表す。
5. ()内は各路線定員合計
6. コミューター航空路線を除く。
7. 新型コロナウイルスの影響で、一時減便・運休している路線有り。
詳細は各空港HPまで。

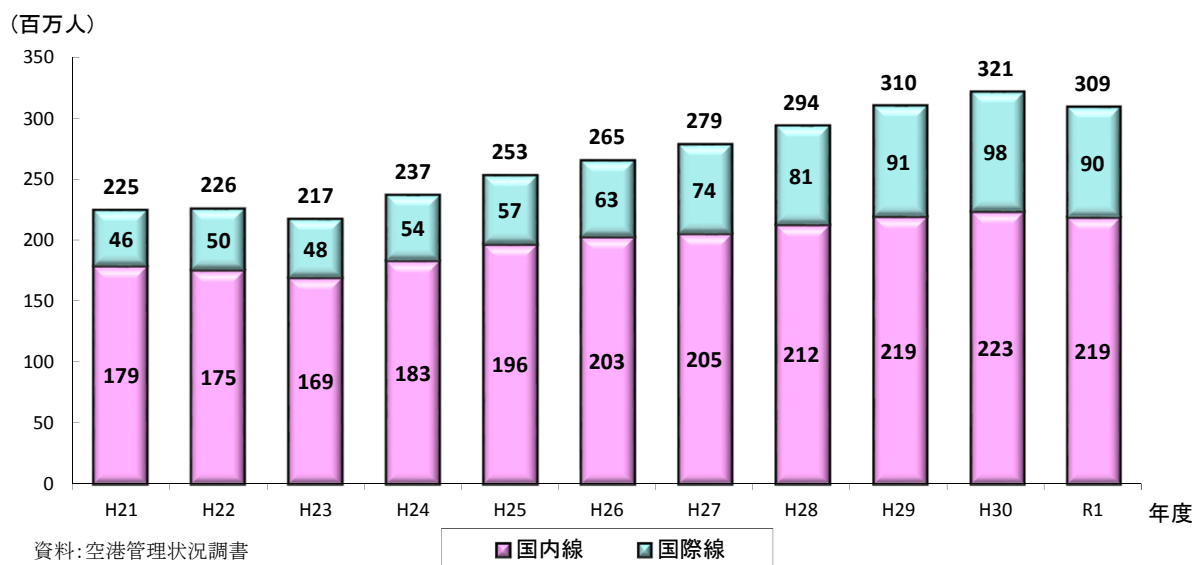
(1) 空港別乗降客数の推移



資料: 空港管理状況調査

(2) 全国の国際・国内線乗降客数の推移

航空旅客



(3) 国内線路線別旅客数順位(平成30年度)

東北 順位	国内 順位	路線	運航会社別便数					旅客数(人)		座席 利用率 (%)
			JAL	ANA	SKY	ADO	APJ		対前年 度比(%)	
1	35	東京 - 秋田	4	5				831,177	100.2	66.1
2	36	大阪 - 仙台	8	5				815,947	100.4	65.4
3	37	新千歳 - 仙台	5	4	2	2		761,969	97.6	74.6
4	50	東京 - 青森	6					536,882	99.0	74.2
5	62	東京 - 庄内		4				373,923	101.8	68.7
6	66	関西 - 仙台					3	336,279	105.5	87.0
7	76	大阪 - 青森	3	3				237,072	110.9	67.6
8	80	大阪 - 秋田	3	3				211,846	108.0	59.2
9	81	東京 - 三沢	3					211,589	124.1	69.4
10	83	神戸 - 仙台			2			203,683	135.0	79.8
11	94	福岡 - 仙台	2	1				159,706	80.1	66.1
12	96	大阪 - 花巻	4					151,985	105.7	68.9
13	98	新千歳 - 青森	3	2				149,952	106.1	54.8
14	101	東京 - 大館能代	2					141,748	109.0	60.3
15	103	中部 - 仙台			4			140,517	104.4	56.1
16	104	那覇 - 仙台			1			140,065	97.4	72.1
17	117	新千歳 - 秋田	2	2				110,586	101.7	51.5
18	118	大阪 - 福島		2				110,078	101.2	52.0
19	119	大阪 - 山形	3					109,840	107.1	66.1
20	130	東京 - 山形	2					96,786	110.8	71.2
21	132	新千歳 - 花巻	3					91,388	102.6	56.1
22	139	成田 - 仙台		2				84,572	83.7	79.0
23	151	中部 - 秋田		2				71,426	102.0	67.0
24	167	新千歳 - 福島		1				56,176	87.8	61.5
25	175	大阪 - 三沢	1					38,674	123.9	70.5
26	181	福岡 - 花巻	1					31,577	122.5	57.5
27	187	丘珠 - 三沢	1					17,818	123.8	66.0

資料: 数字でみる航空 2019

(注)1. 運航会社の略称は以下のとおり。

JAL: 日本航空, ANA: 全日本空輸, SKY: スカイマーク, ADO: AIRDO, APJ: Peach Aviation

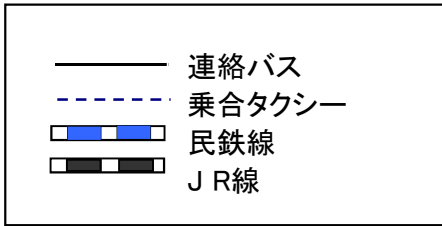
2. 運航会社別便数は、平成30年10月の便数。

3. 数値は(注)1. に掲げる航空会社5社を対象(チャーター便を除く)。

4. 平成16年4月から導入された「国内線における運送の共同引受」導入に伴い、JALには、日本航空(JAL)及びJALエクスプレス(JEX)、ジェイエア(J-air)を、ANAには、全日本空輸(ANA)、エアーニッポン(ANK)、ANAウイングスを含む。

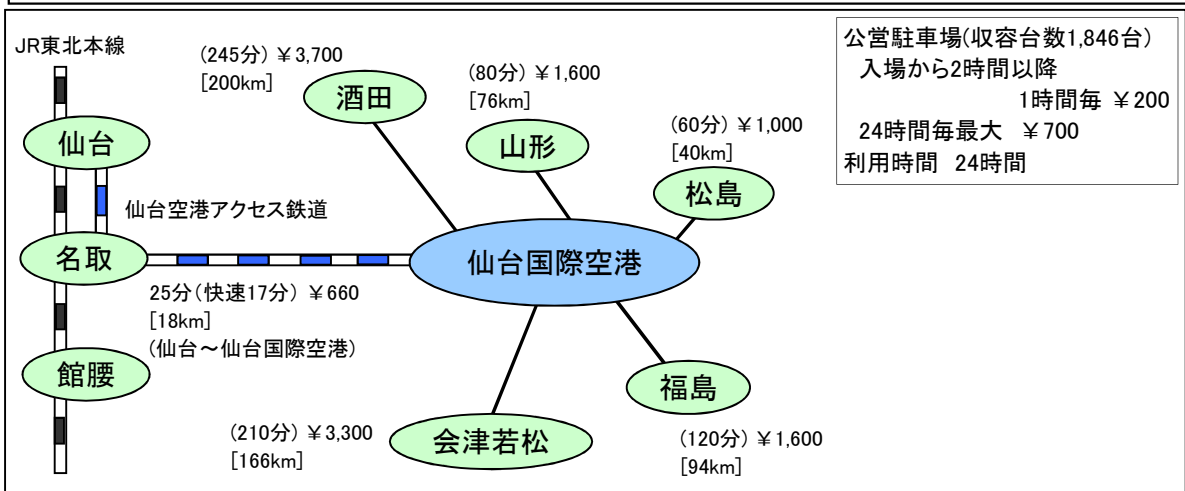
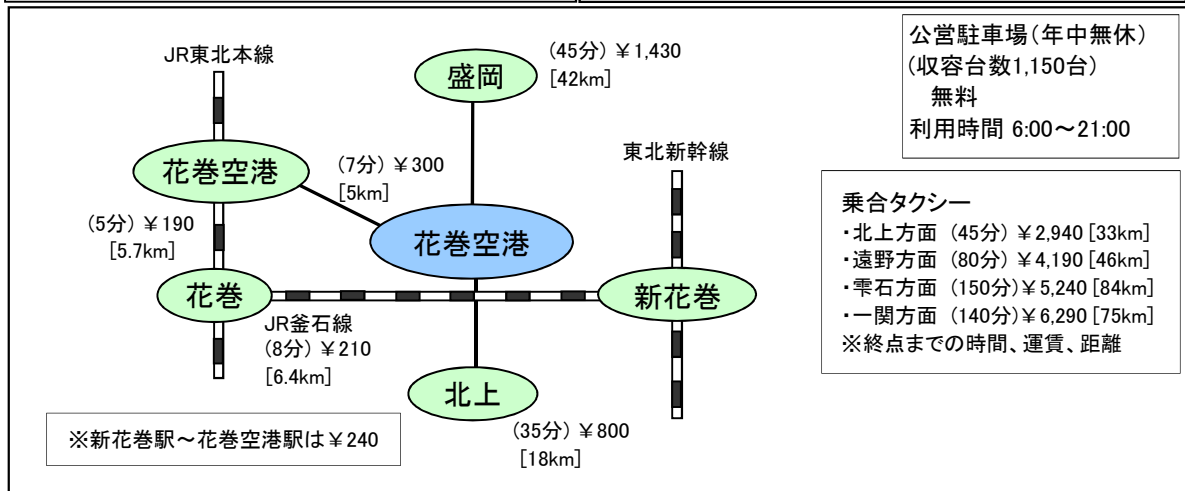
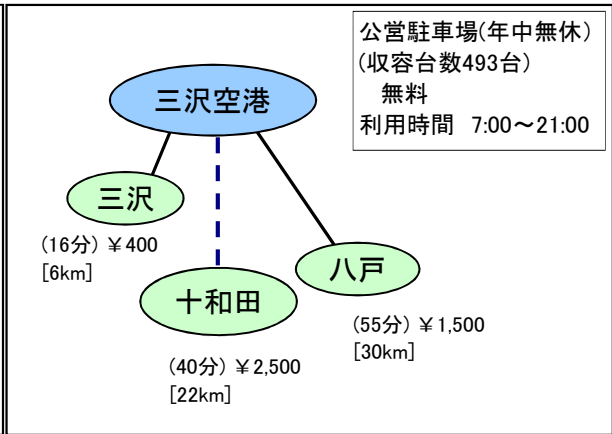
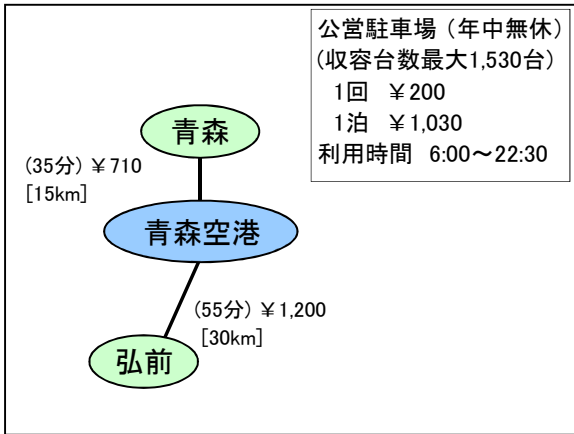
空港アクセスの概況

空港アクセス



資料: 各空港HPを元に作成

- (注) 1. ()は所要時間、[]は距離を表す。
 2. 所要時間は道路状況等によって異なる。
 3. アクセス状況は令和2年12月現在
 4. 一部運休、減便している公共交通機関有り。
 詳細は各空港HPまで。



空港アクセス

大館能代空港

- 能代: (50分) ¥1,200 [36km]
- 大館: (53分) ¥940 [25km]
- 十和田: (115分) ¥5,600 [69km]
- 上小阿仁: (26分) ¥2,000 [22km]
- 八幡平: (65分) ¥4,000 [55km]

公営駐車場(年中無休)
(収容台数411台)
無料
利用時間
7:30~19:45(第一・二)
24時間(第三)

秋田空港

- 男鹿: (130分) ¥7,000 [80km]
- 秋田: (40分) ¥950 [20km]
- 田沢湖: (95分) ¥4,700 [65km]
- 角館: (60分) ¥4,000 [40km]
- にかほ: (105分) ¥7,000 [70km]
- 横手: (80分) ¥5,200 [55km]

秋田(秋田駅地区)

公営駐車場(収容台数3,150台)
2時間まで無料
以後1時間毎に
大型自動車等駐車場 ¥100
立体駐車場 ¥70
第1・2駐車場 ¥50
第3駐車場 ¥30
利用時間 6:00~22:15

スカイアクセス
自宅(秋田市内)~秋田空港
片道20kmまで 2,500円
" 25kmまで 2,800円
" 25km以上 3,500円

庄内空港

- 酒田: (35分) ¥860 [15km]
- 鶴岡: (28分) ¥780 [14km]
- 鶴岡: (30分) ¥1,540 [14km]

公営駐車場(年中無休)
(収容台数792台)
無料
利用時間 5:00~23:00

山形空港

- 河北: (15分) ¥800 [6km]
- 村山: (20分) ¥800 [10km]
- 東根: (15分) ¥800 [7km]
- 寒河江: (25分) ¥800 [12km]
- 山形: (35分) ¥980 [20km]
- 天童: (20分) ¥800 [10km]

公営駐車場(年中無休)
(収容台数766台)
無料
利用時間 5:40~23:00

福島空港

- 喜多方: (100分) ¥5,200 [98km]
- 郡山: (40分) ¥1,120 [25km]
- 福島: (85分) ¥4,000 [70km]
- 相馬: (120分) ¥5,800 [120km]
- 会津若松: (150分) ¥2,000 [91km]
- 白河: (40分) ¥2,900 [30km]
- いわき: (180分) ¥2,820 [115km]
- 只見: (150分) ¥6,500 [135km]

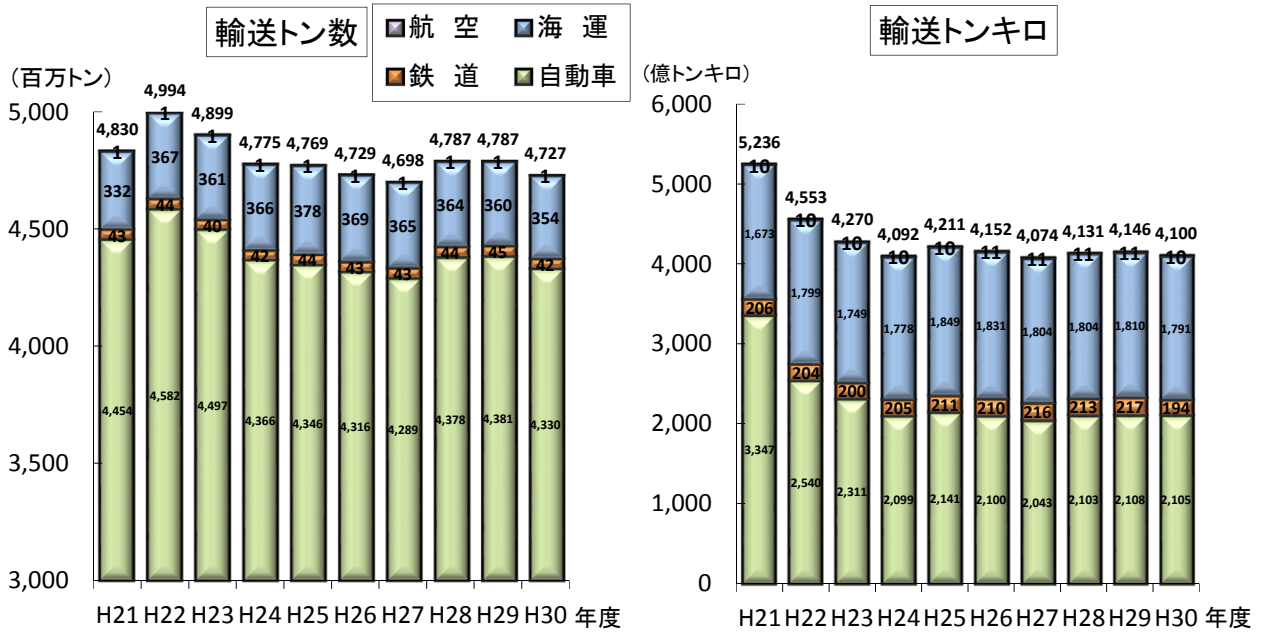
公営駐車場(年中無休)
(収容台数2,300台)
無料
利用時間 5:30~21:30

※会津若松、いわき方面のバスは郡山駅で乗り継ぎ。

貨物編

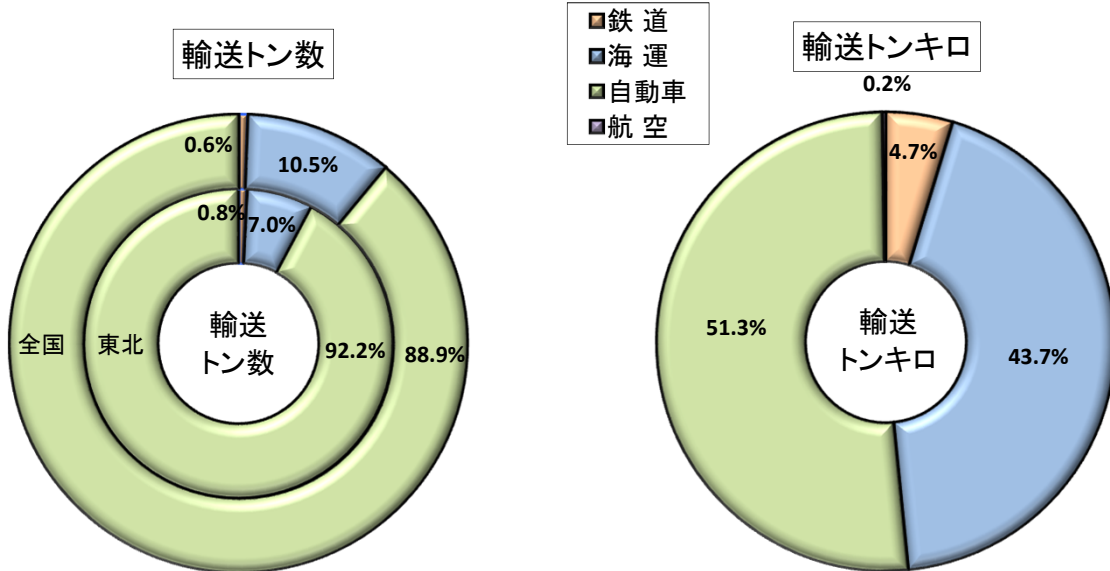
全国の貨物輸送量

(1) 輸送機関別貨物輸送量の推移



資料: 鉄道輸送統計年報、内航船舶輸送統計年報、自動車輸送統計年報、航空輸送統計年報

(2) 貨物輸送機関別分担率(平成30年度)

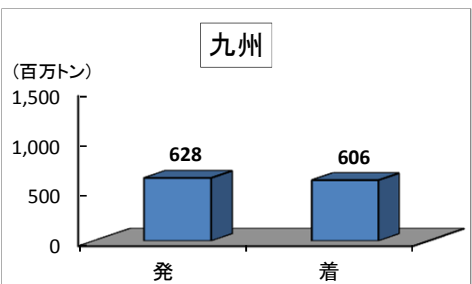
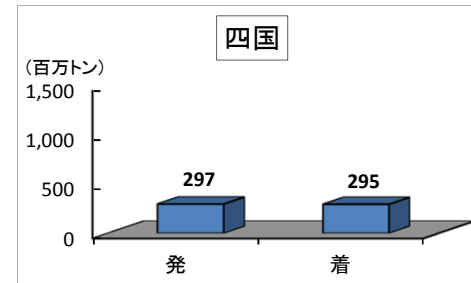
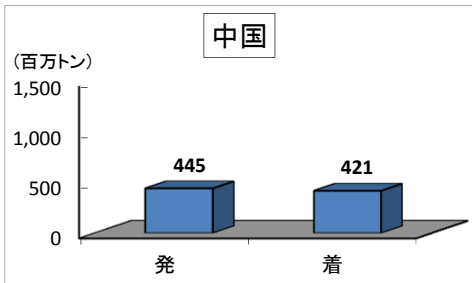
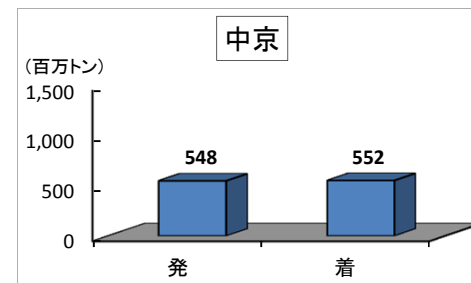
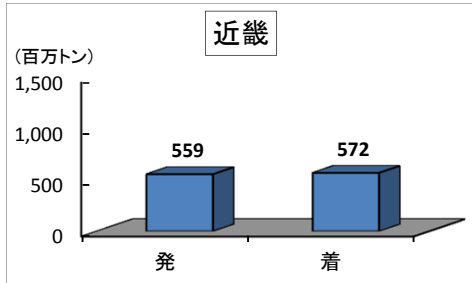
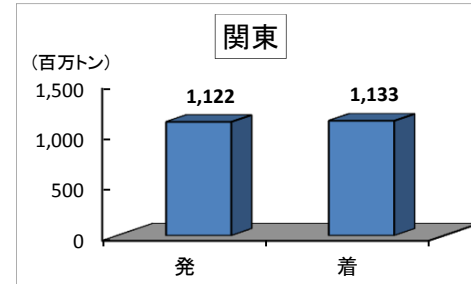
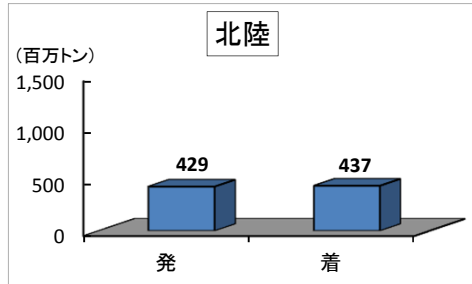
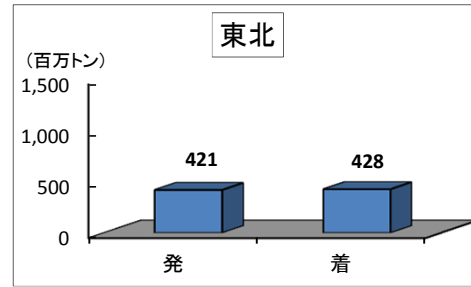
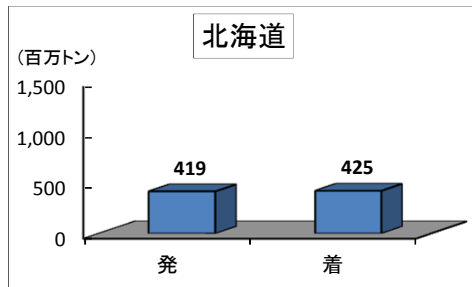


資料: 貨物地域流動調査

資料: 鉄道輸送統計年報、内航船舶輸送統計年報、自動車輸送統計年報、航空輸送統計年報

(1) 地域間における貨物流動状況(平成30年度)

貨物流動



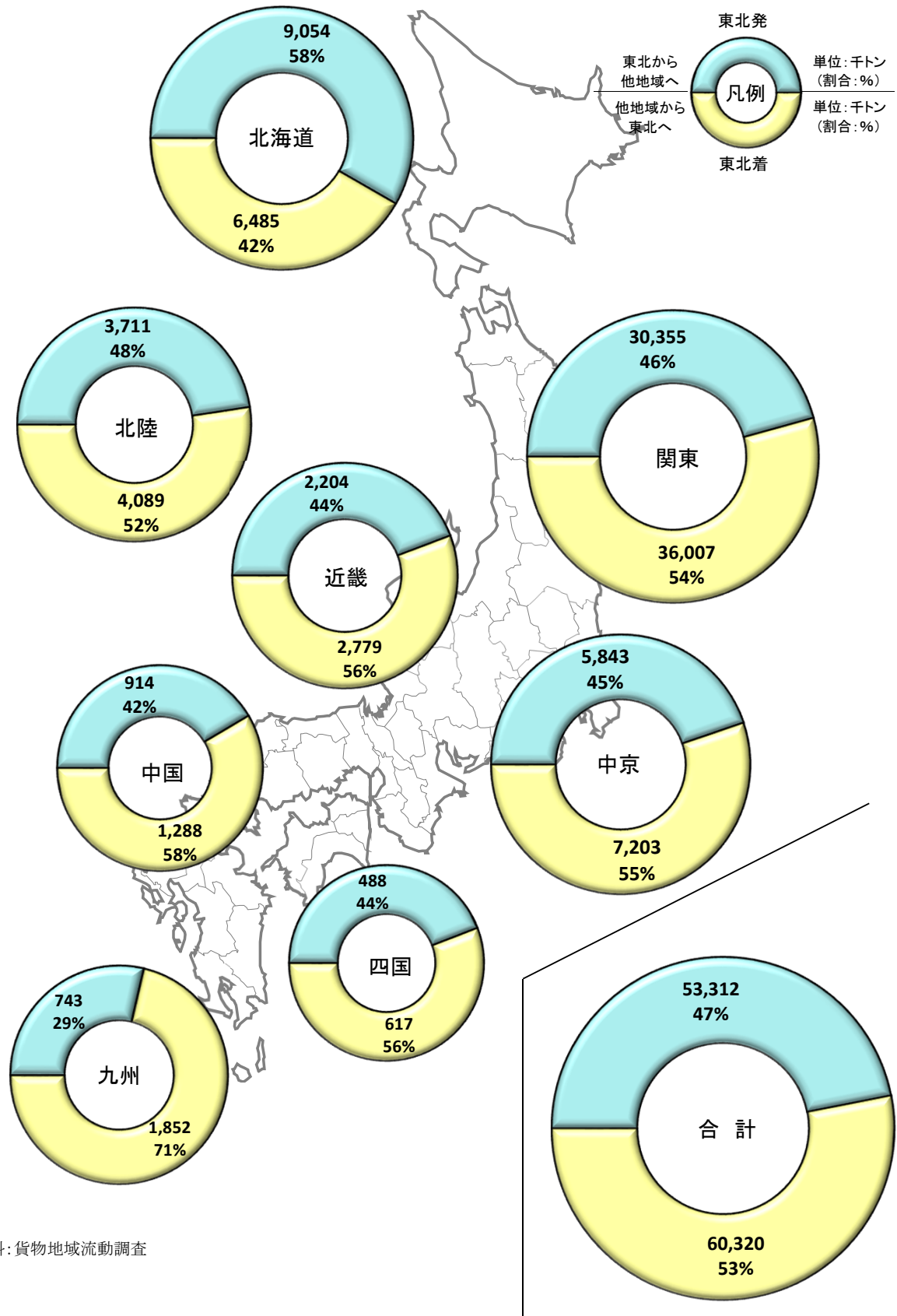
(注)北海道、四国、九州以外の地域区分は次のとおり。
 東北：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
 関東：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
 北陸：新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県
 中京：岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
 近畿：滋賀県、京都府、奈良県、和歌山県、大阪府、兵庫県
 中国：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県

資料：貨物地域流動調査

(注)ブロック内発着数量も含まれている。

(2) 東北と全国との貨物流動状況(平成30年度)

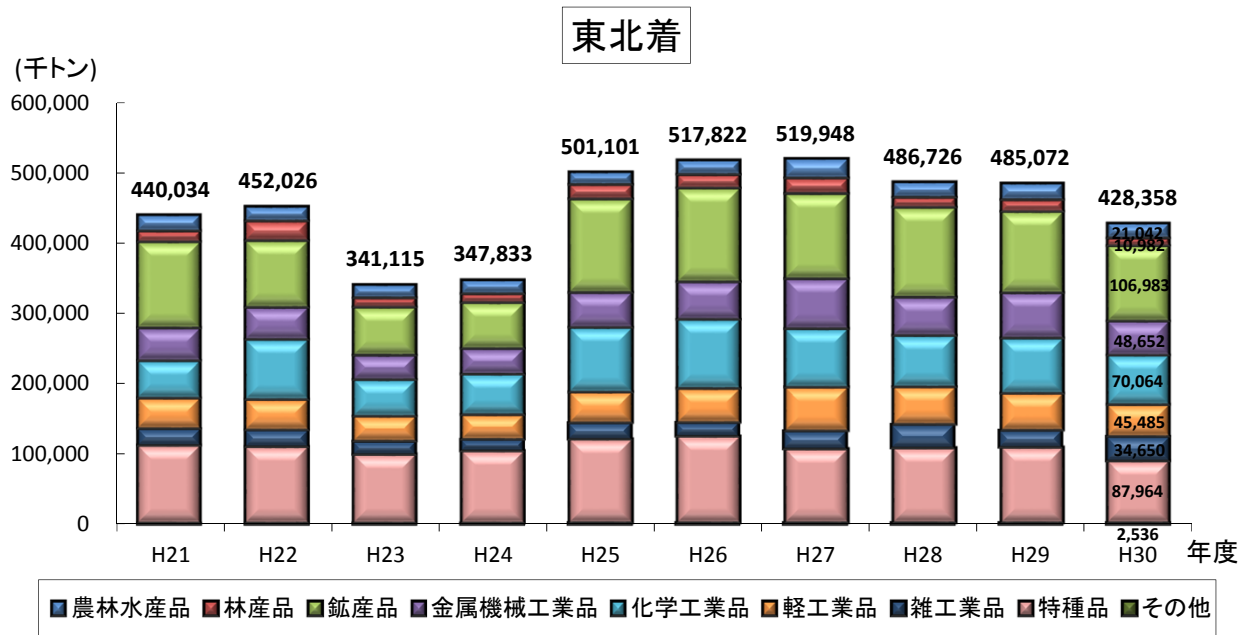
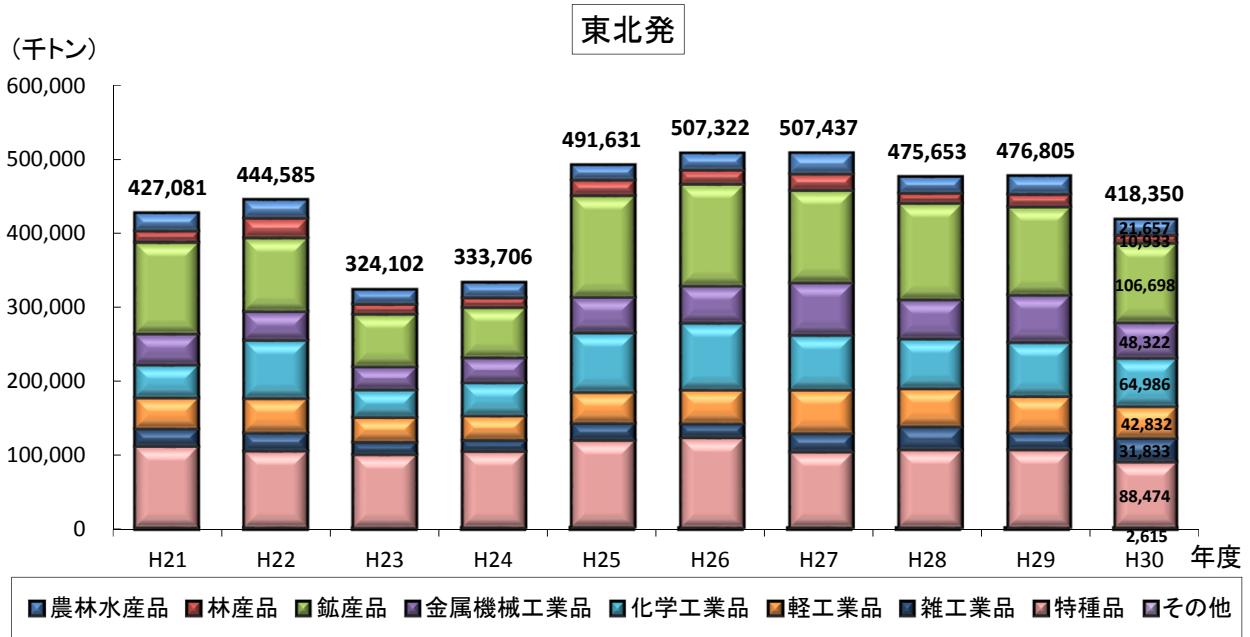
貨物流動



資料: 貨物地域流動調査

東北発着品目別輸送量の推移

品目別輸送量

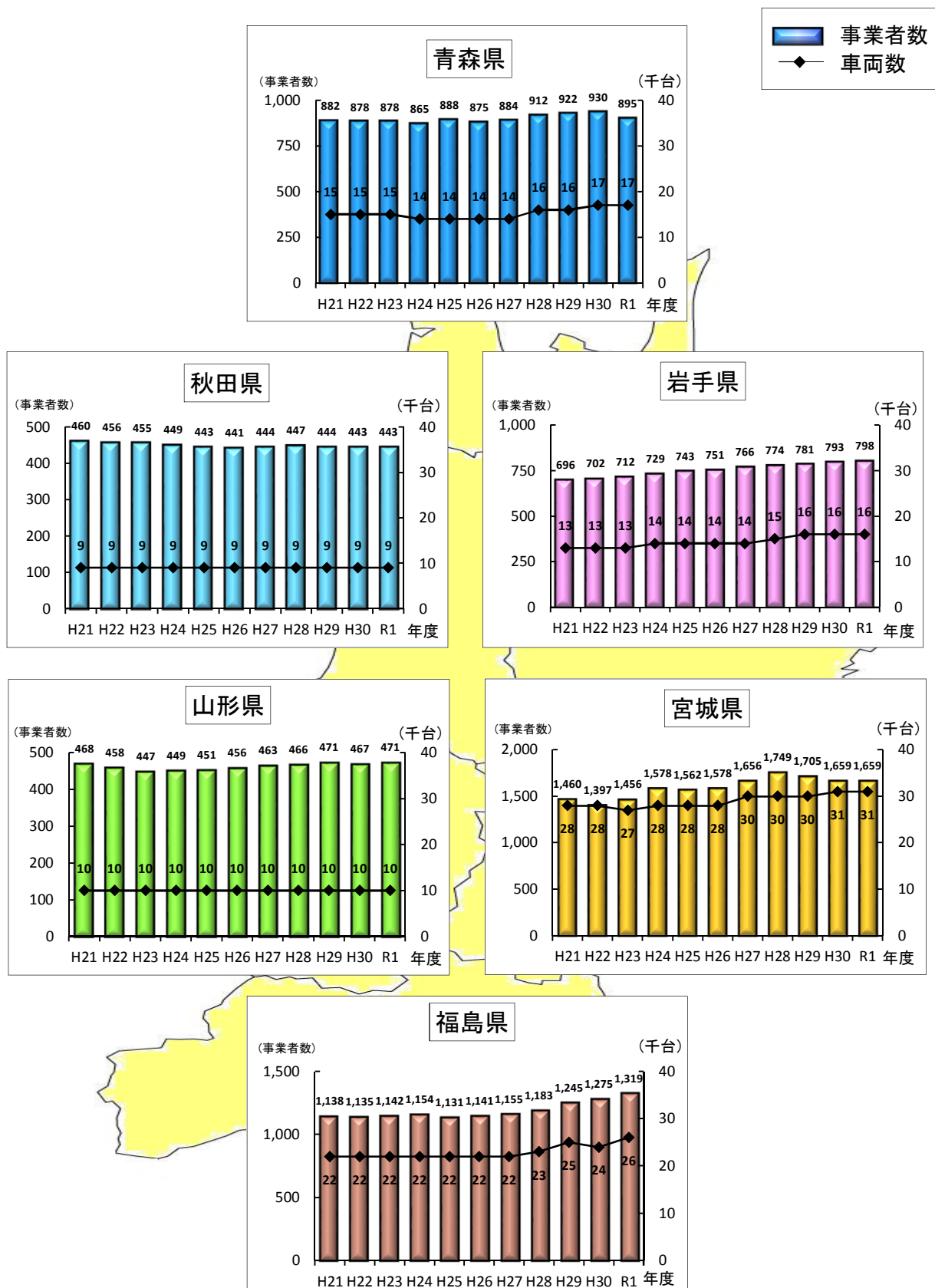


資料: 貨物地域流動調査

(注)ブロック内発着数量も含まれている。

(1) 一般貨物自動車運送事業者数・車両数の推移

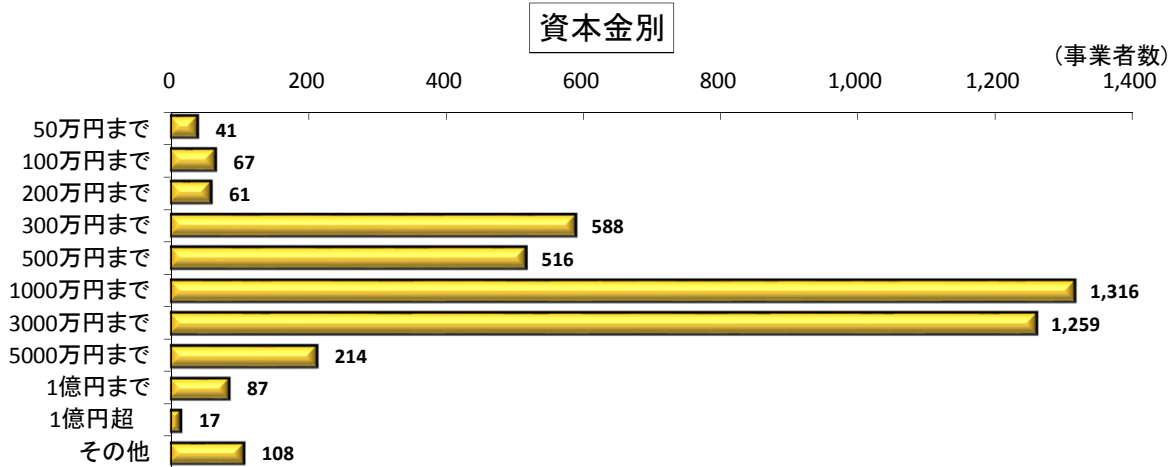
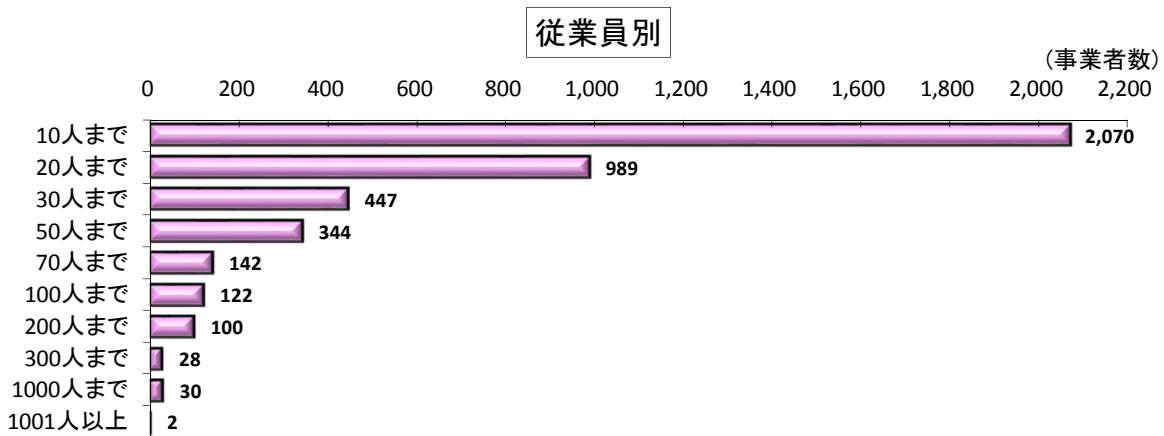
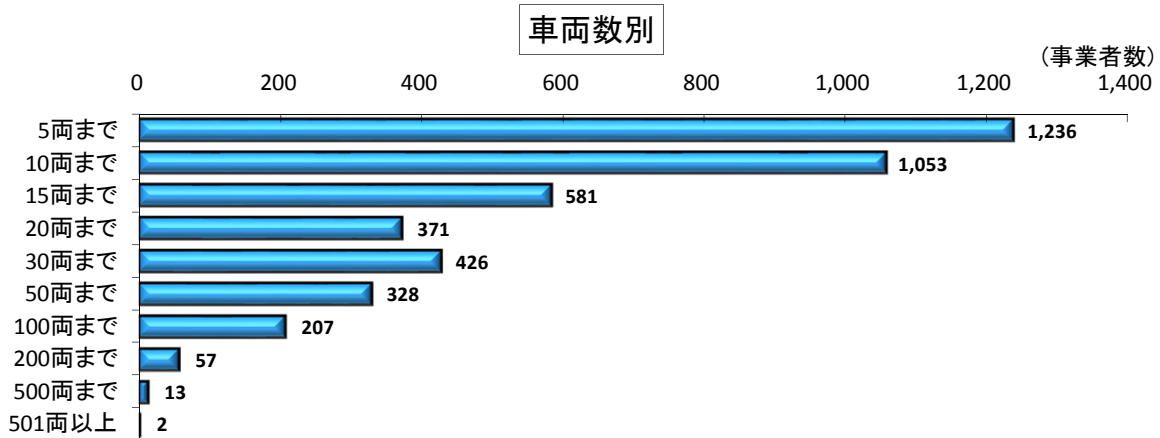
貨物自動車輸送



資料: 東北運輸局

- (注)1. 事業者数、車両数は霊柩事業者及び特定事業者は含まない。
 2. 事業者数は、当該地域の許可を有する事業者数である。
 3. 各年度末現在

(2) 一般貨物自動車運送事業者の現況

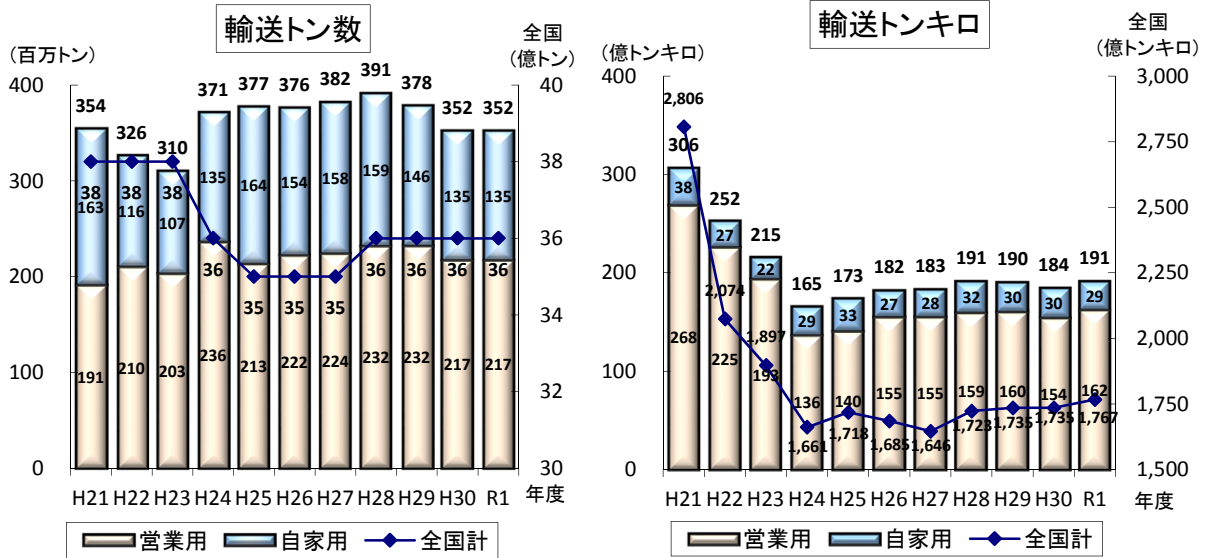


資料: 東北運輸局

- (注)1. 霊柩事業者及び特定事業者は含まない。
 2. 主たる事業所の所在地を管轄する運輸支局のみにおいて、計上している。
 3. 令和2年3月31日現在

貨物自動車輸送

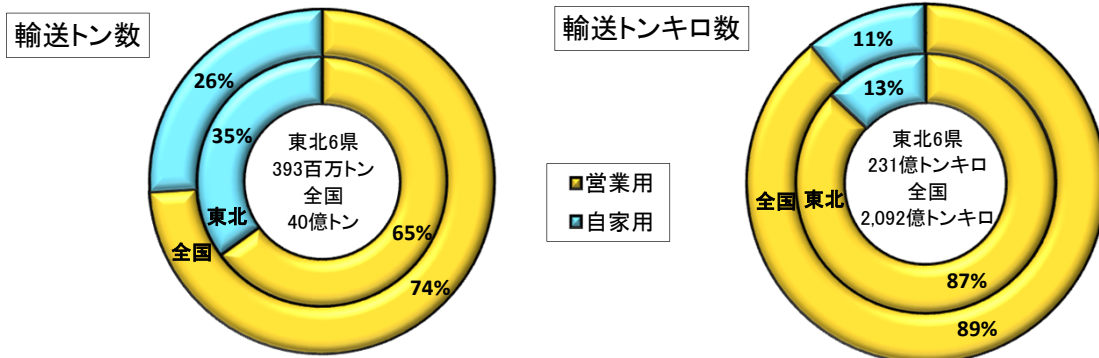
(3) 貨物自動車輸送量の推移



資料:自動車輸送統計年報

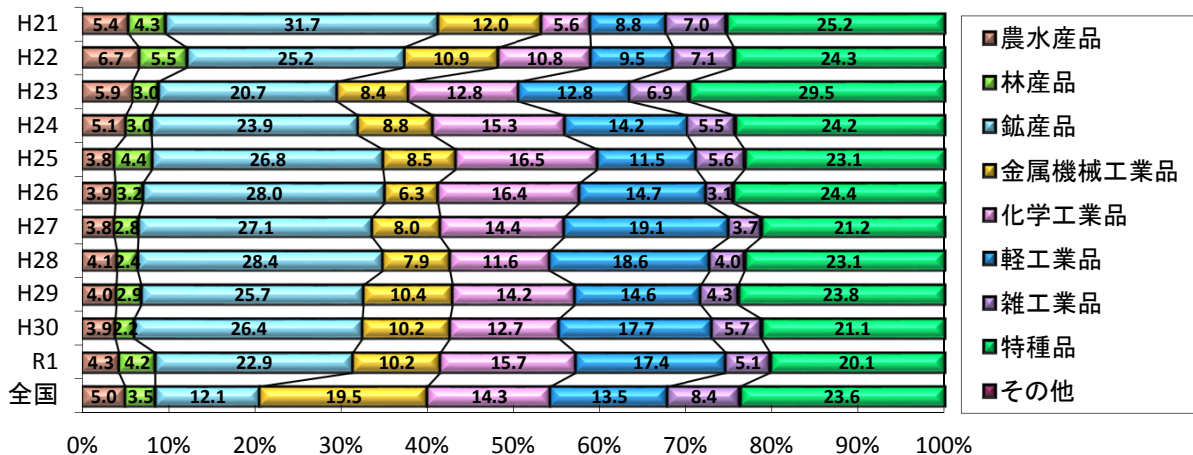
(注)1. 平成22年10月より調査方法及び集計方法を変更したため、平成22年4月から9月までの旧統計数値を遡及改定のうえ算出している。また、東日本大震災の影響により北海道、東北、関東の一部の平成23年3月分の数値は調査不能により含まれていない。

(4) 営業用自動車と自家用自動車の割合(令和元年度)



資料:自動車輸送統計年報

(5) 貨物自動車主要品目別輸送比率の推移

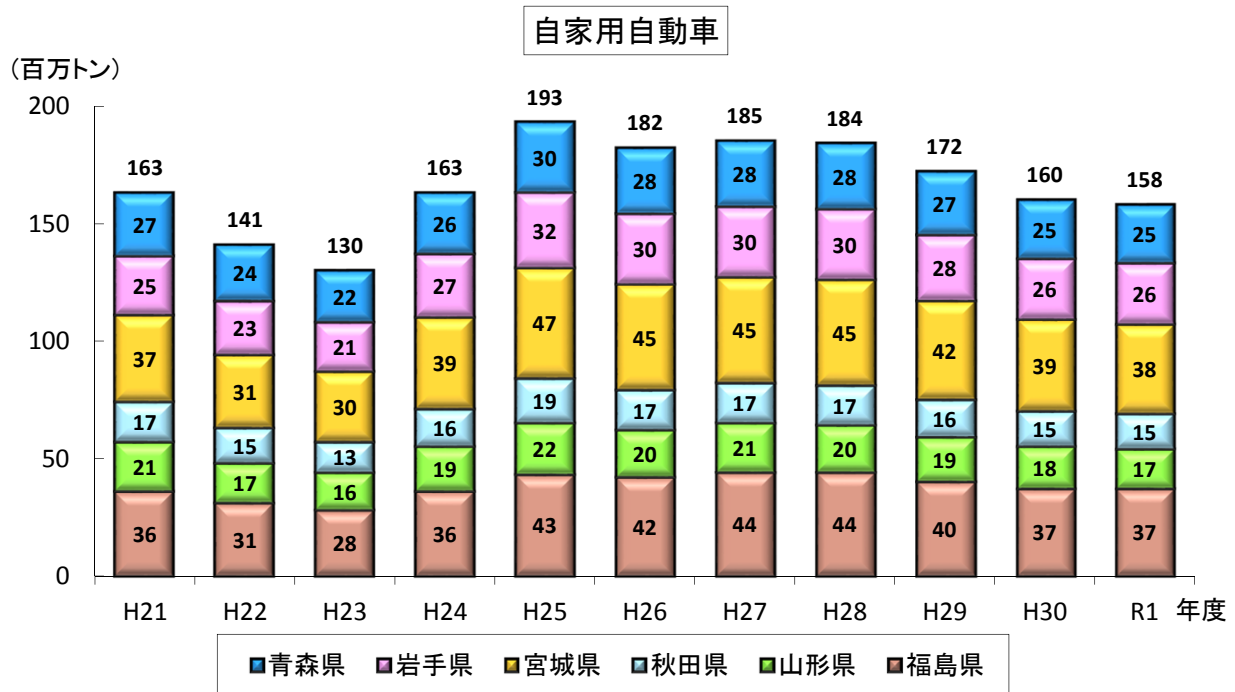
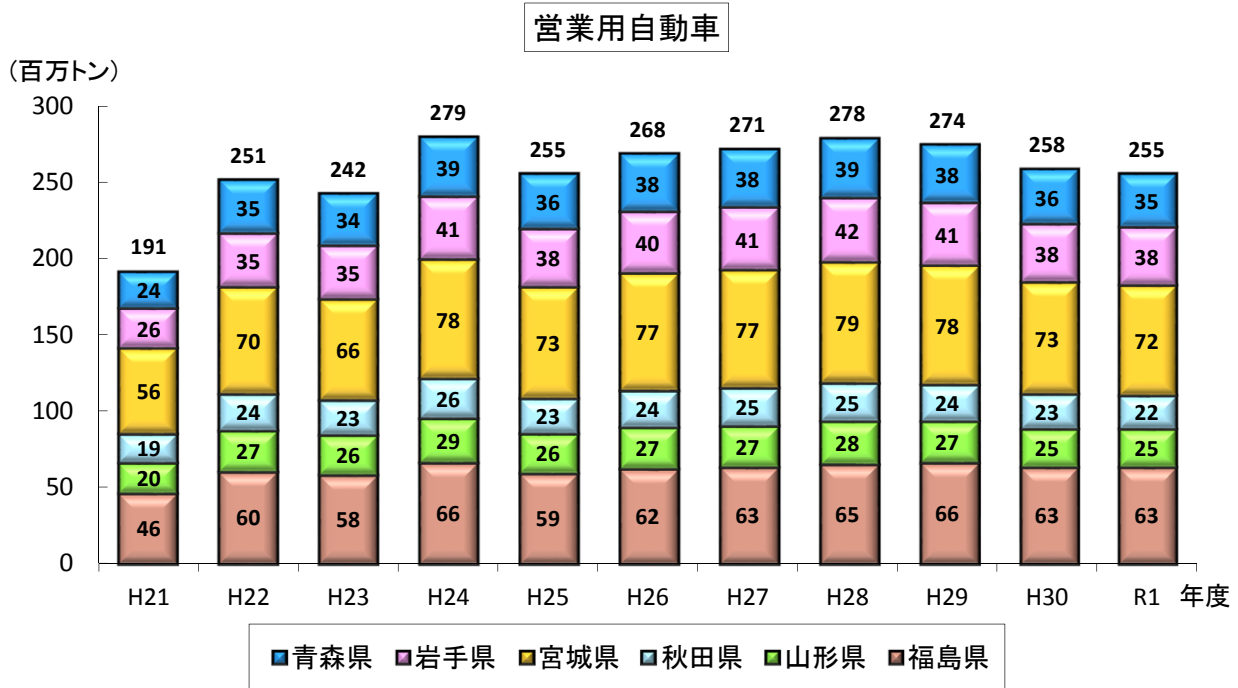


資料:自動車輸送統計年報

(注)1. 輸送比率は、輸送トン数をもとに算出。
 2. 平成22年10月より調査方法及び集計方法を変更したため、平成22年4月から9月までの旧統計数値を遡及改定のうえ算出している。また、東日本大震災の影響により北海道、東北、関東の一部の平成23年3月分の数値は調査不能により含まれていない。

(6) 営業用自動車と自家用自動車の輸送量の推移

貨物自動車輸送



資料:自動車輸送統計年報・東北運輸局

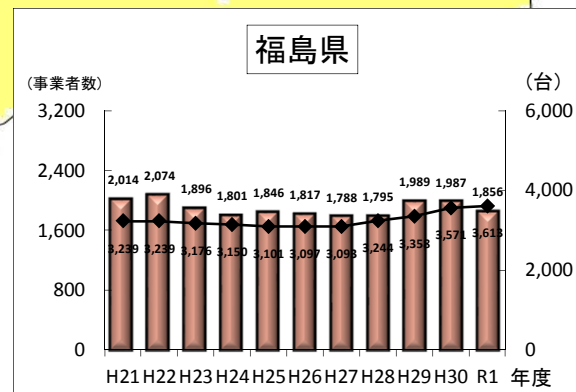
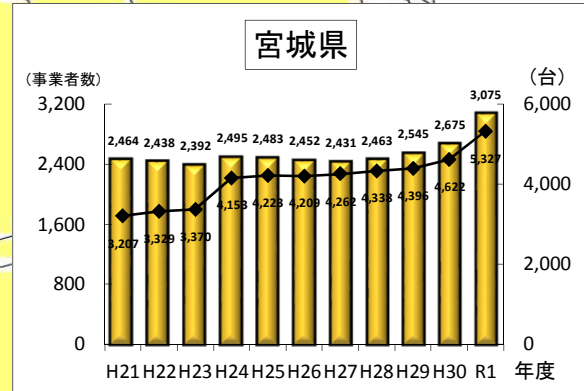
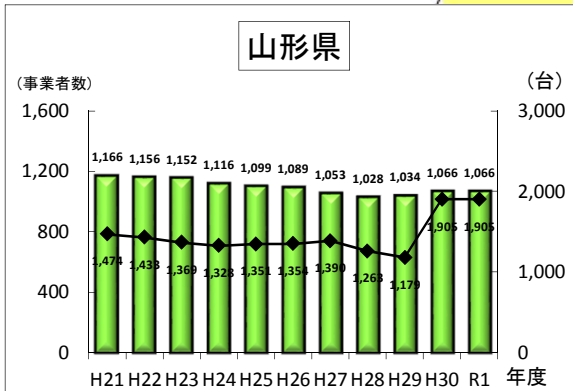
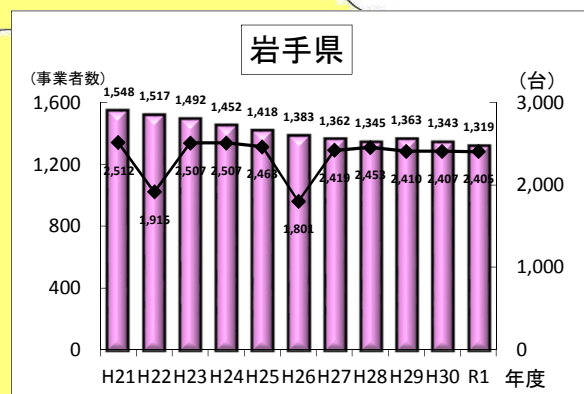
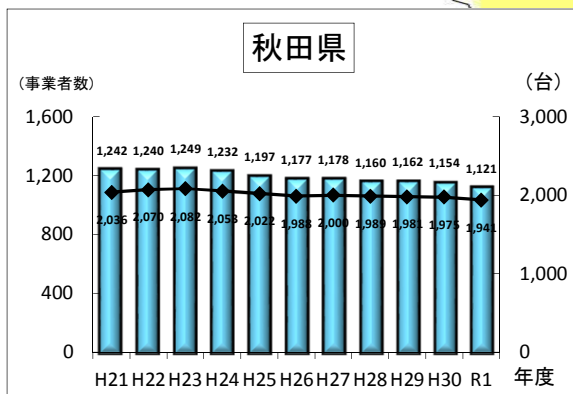
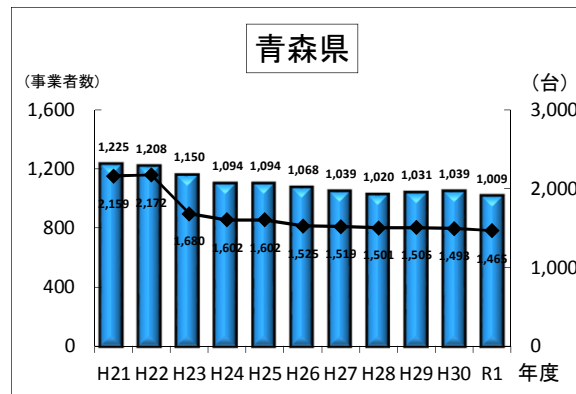
(注)1. この輸送トン数は、自動車輸送統計年報の地方運輸局別輸送量を、運輸支局別登録自動車数の比率(各年度末)により、ふりわけたものである。

2. 平成22年10月より調査方法及び集計方法を変更したため、平成22年4月から9月までの旧統計数値を遡及改定のうえ算出している。また、東日本大震災の影響により北海道、東北、関東の一部の平成23年3月分の数値は調査不能により含まれていない。

(7) 貨物軽自動車運送事業者数・車両数の推移

貨物自動車輸送

■ 事業者数
◆ 車両数



資料: 東北運輸局

- (注)1. 事業者数、車両数は霊柩事業者を含まない。
- 2. 事業者数は、当該区域での届出事業者数である。
- 3. 各年度未現在

(1)貨物鉄道事業の現況

鉄道輸送



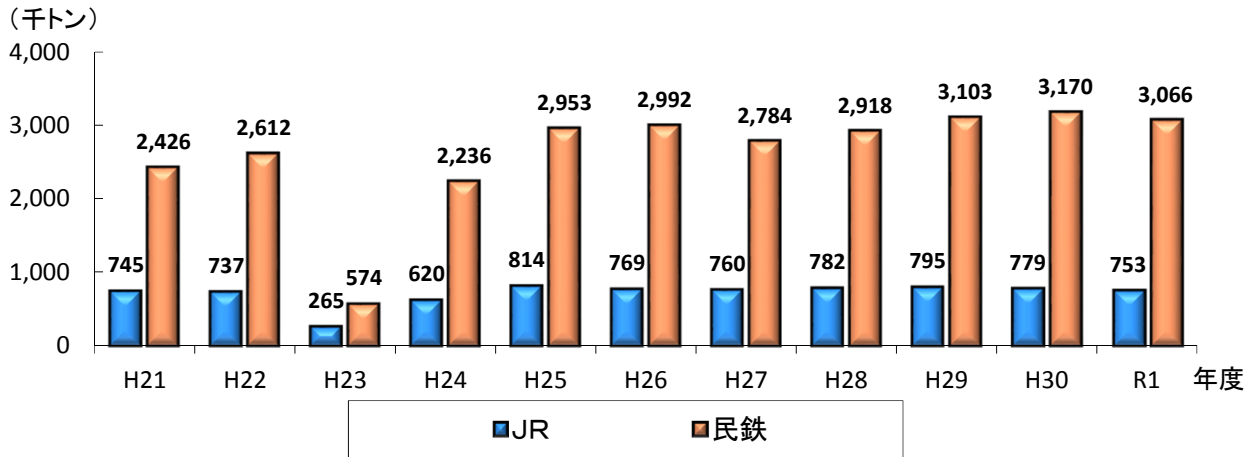
資料：東北運輸局・日本貨物鉄道株式会社東北支社

事業者名	主な区間	営業キロ
日本貨物鉄道	<ul style="list-style-type: none"> ・青い森鉄道線 (青森～日時) ・いわて銀河鉄道線 (日時～盛岡) ・東北線 (盛岡～白坂) ・奥羽線 (東仙台～長町) (新青森～青森信号場) (土崎～秋田港) ・羽越線 (秋田～鼠ヶ関) (酒田～酒田港) ・津軽海峡線 (中小国～竜飛海底) ・津軽線 (青森～中小国) ・八戸線 (八戸～本八戸) ・石巻線 (小牛田～石巻) ・仙石線 (陸前山下～石巻港) (陸前山下～石巻) ・常磐線 (岩沼～勿来) 	東北運輸局管内 1457.1キロ 青森県 269.4キロ 岩手県 232.9キロ 宮城県 194.5キロ 福島県 365.9キロ 秋田県 294.7キロ 山形県 99.7キロ ※各県境までの営業キロ
八戸臨海鉄道	八戸貨物～北沼	8.5キロ
岩手開発鉄道	赤崎～盛～岩手石橋	11.5キロ
仙台臨海鉄道	陸前山王～仙台北港 仙台港～仙台埠頭 仙台港～仙台北港	9.5キロ
福島臨海鉄道	泉～小名浜	4.8キロ
秋田臨海鉄道	秋田港～向浜、秋田港～秋田北港	7.9キロ

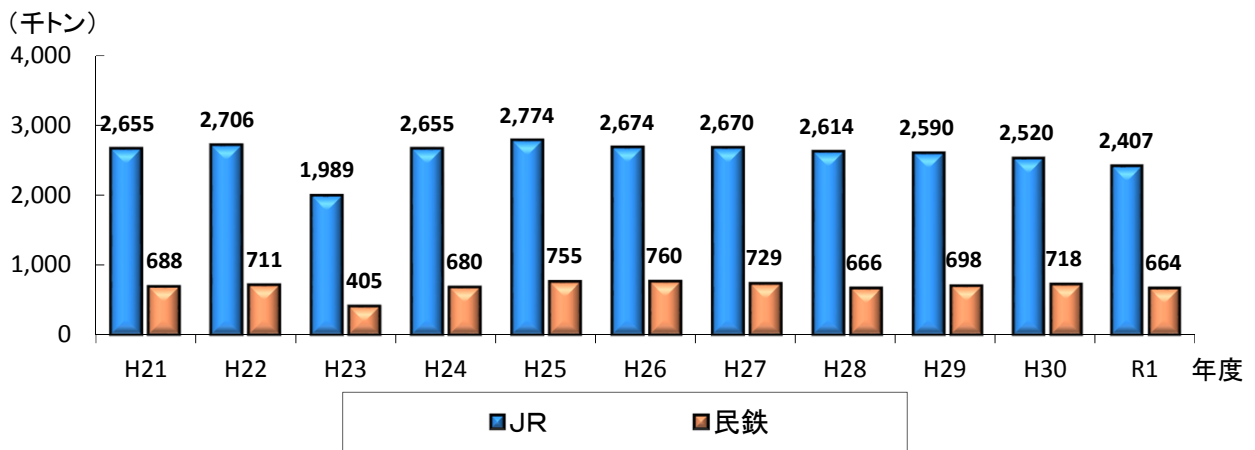
※東日本大震災等により一部運休区間あり

(2) 鉄道貨物輸送トン数の推移

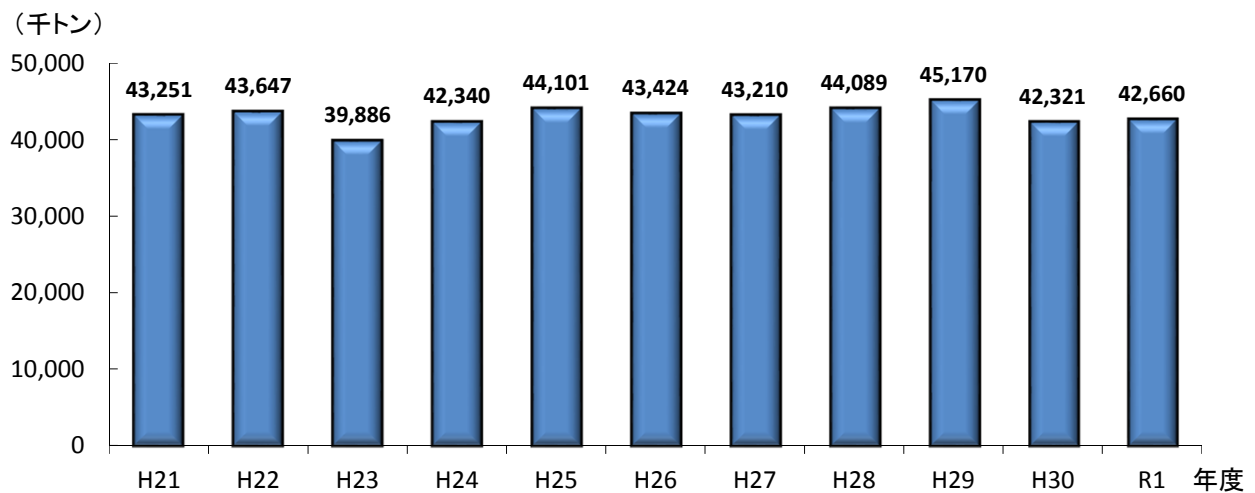
車扱



コンテナ

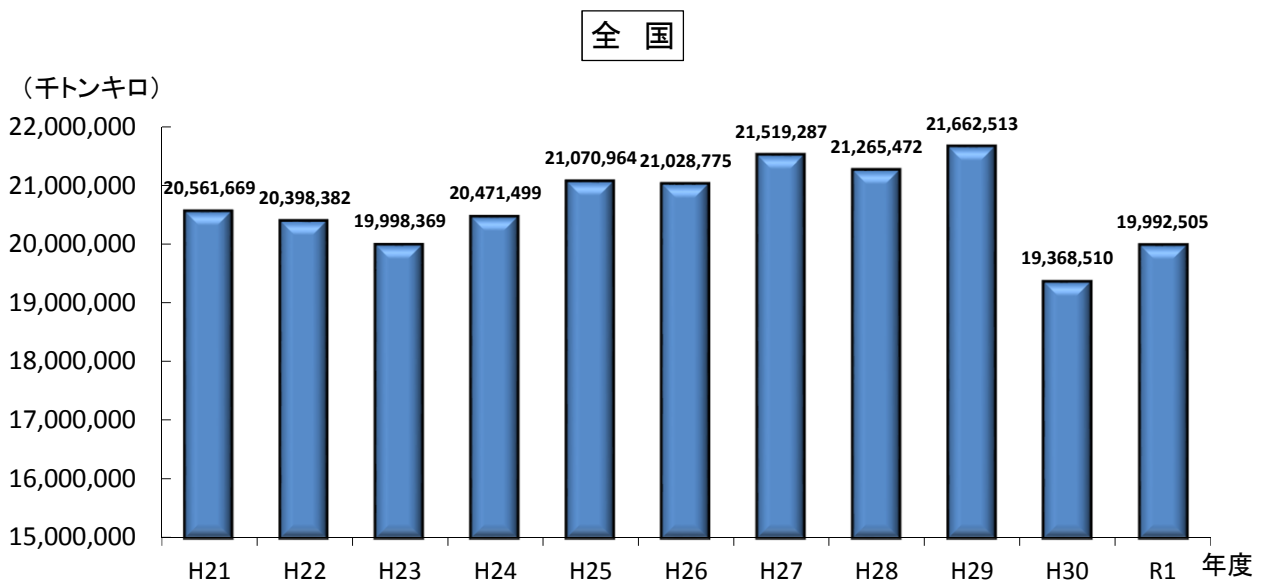
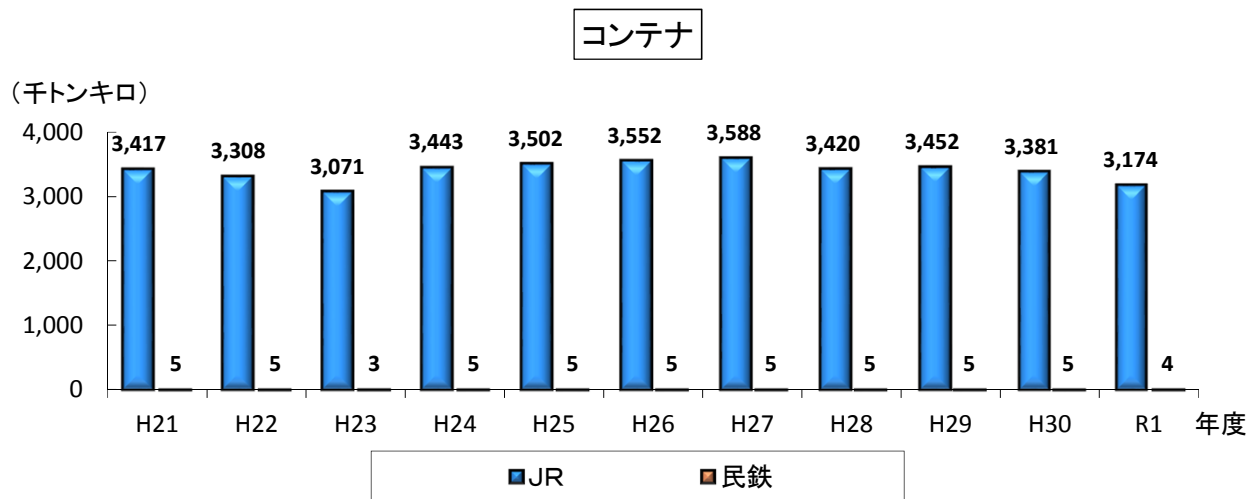
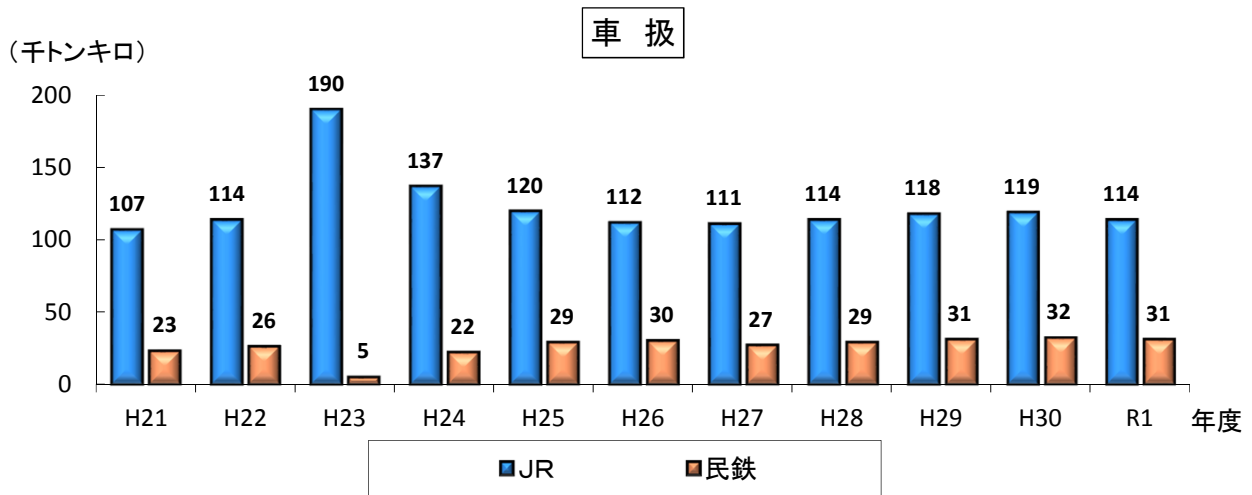


全国



資料: 鉄道輸送統計年報

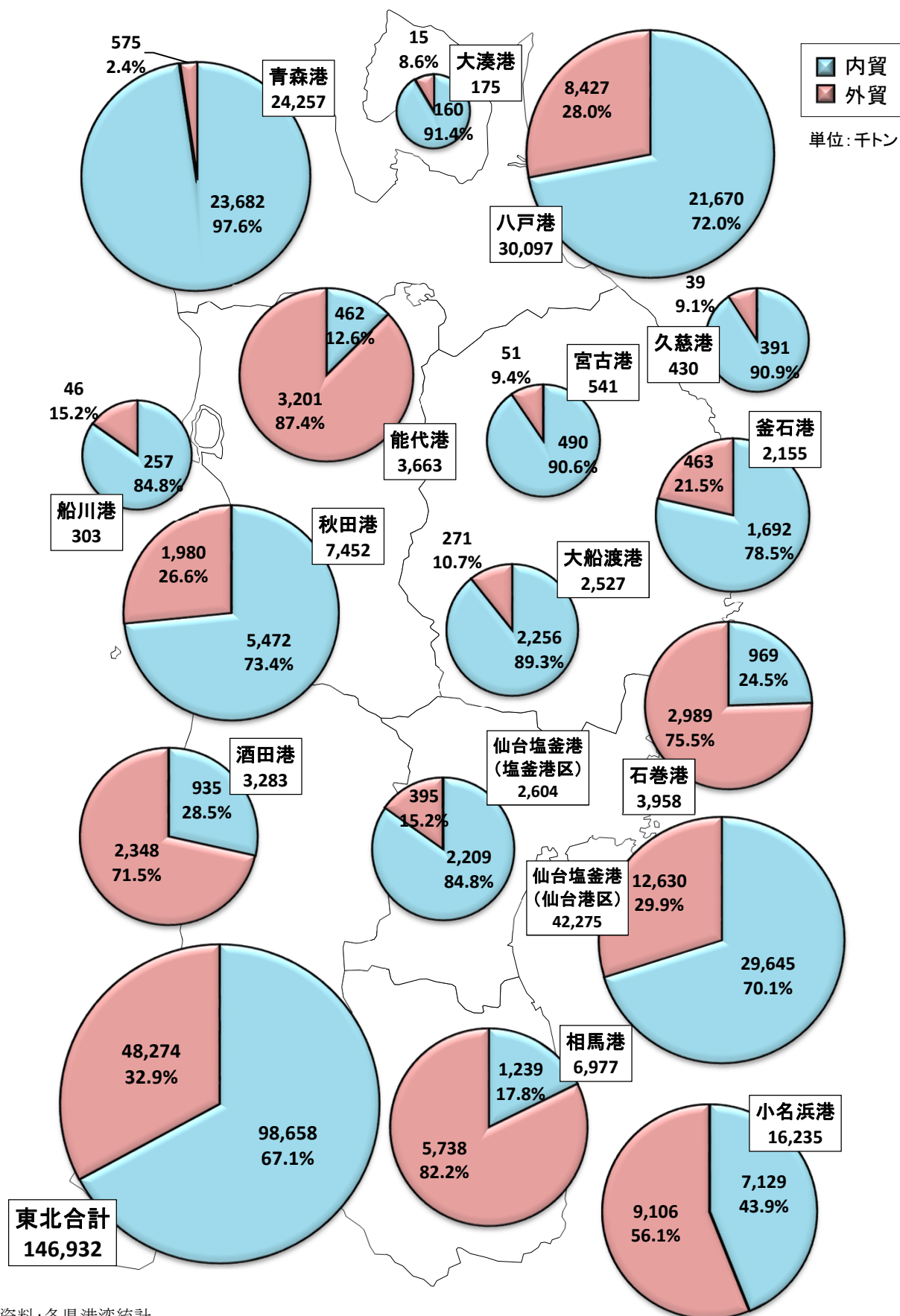
(3) 鉄道貨物輸送トンキロの推移



資料: 鉄道輸送統計年報

(1) 主要港の貨物取扱量(平成30年)

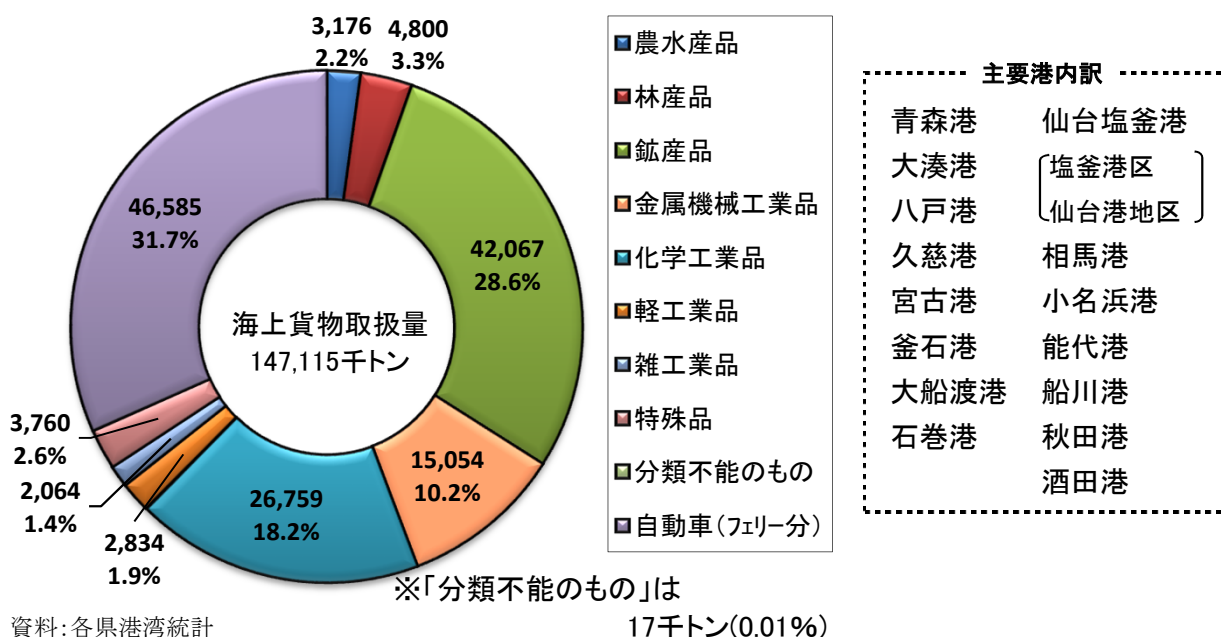
海上貨物



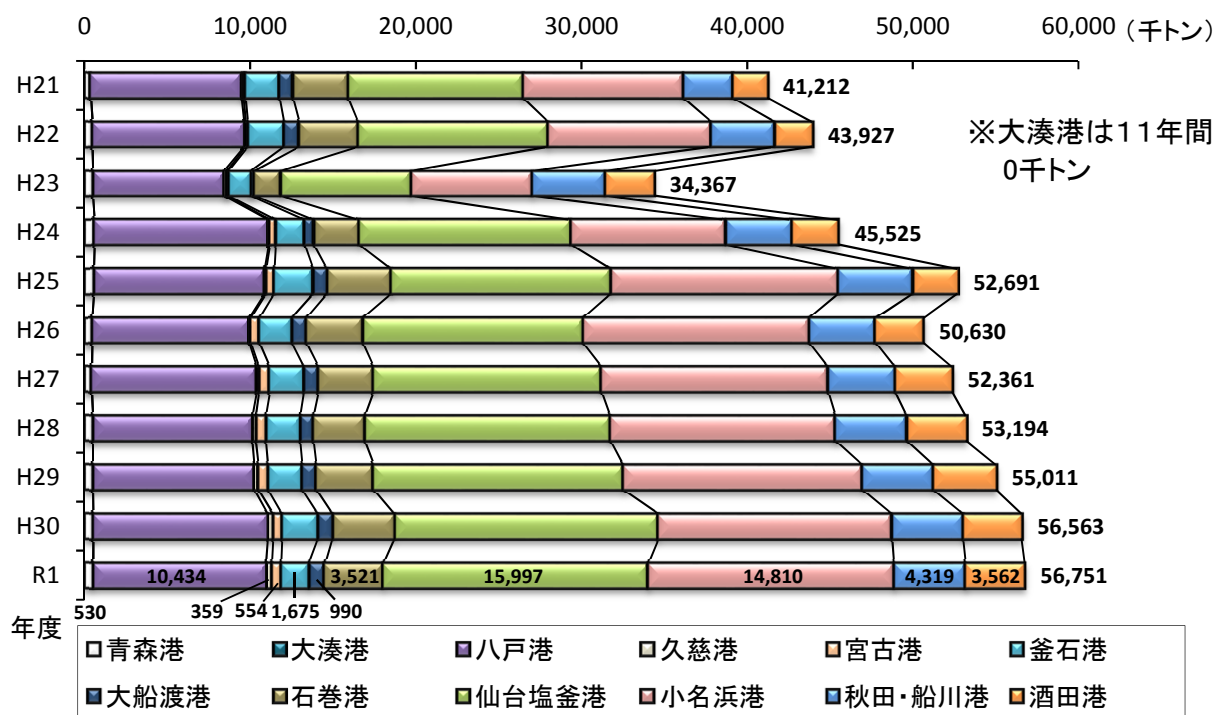
資料: 各県港湾統計

(2) 品目別海上貨物取扱量－平成30年・主要港の合計

海上貨物

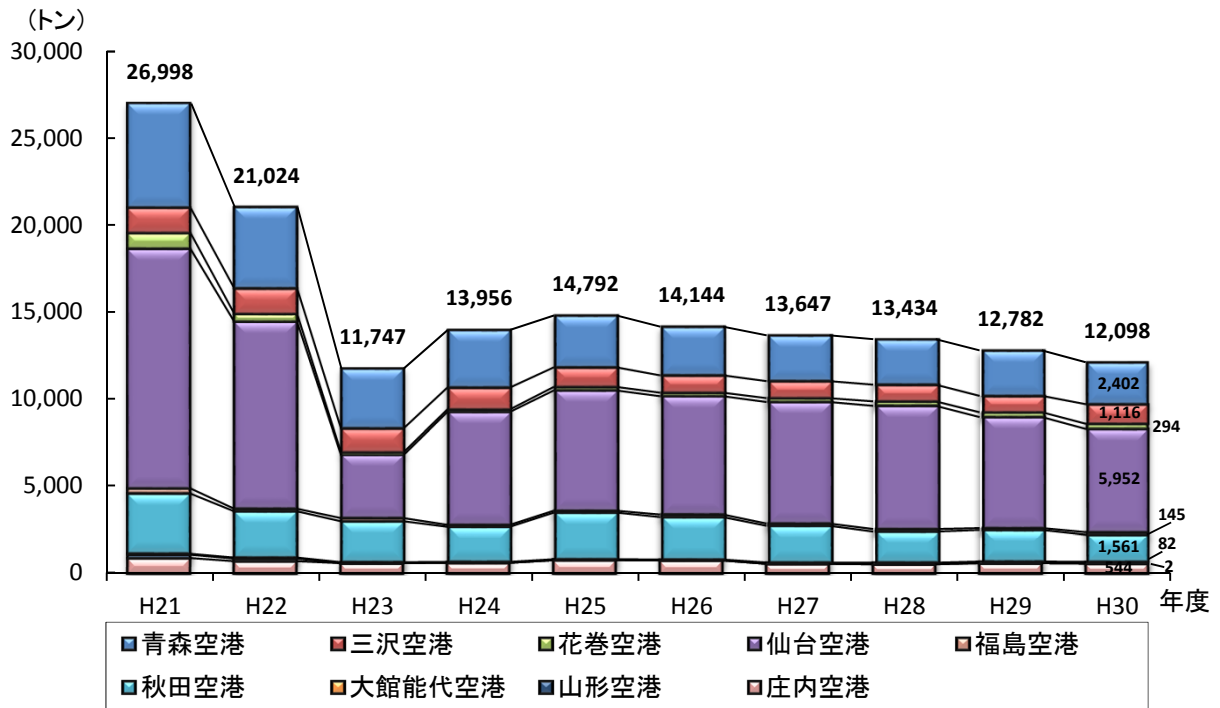


(3) 港別港湾運送取扱貨物量の推移



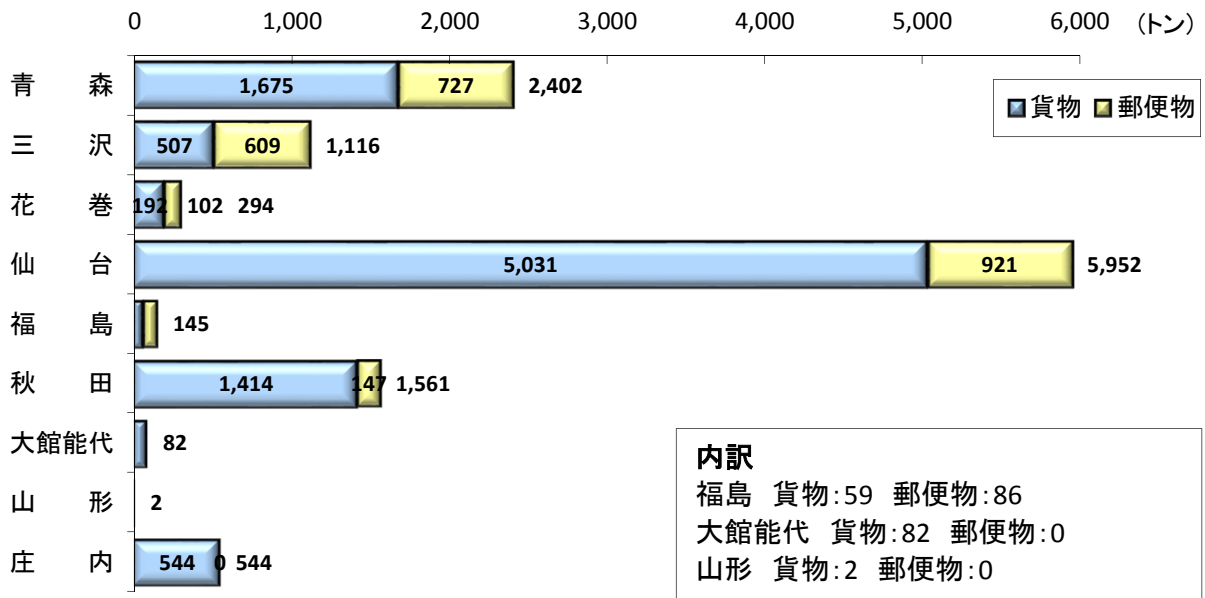
資料: 東北運輸局

(1) 国内航空貨物輸送実績の推移



資料: 空港管理状況調書

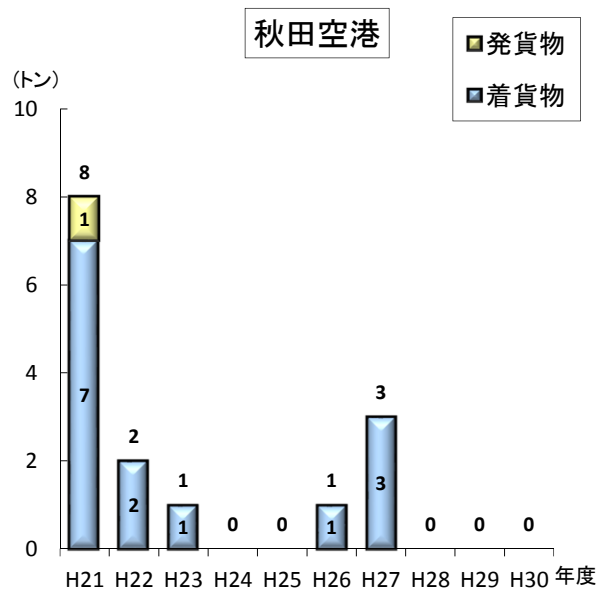
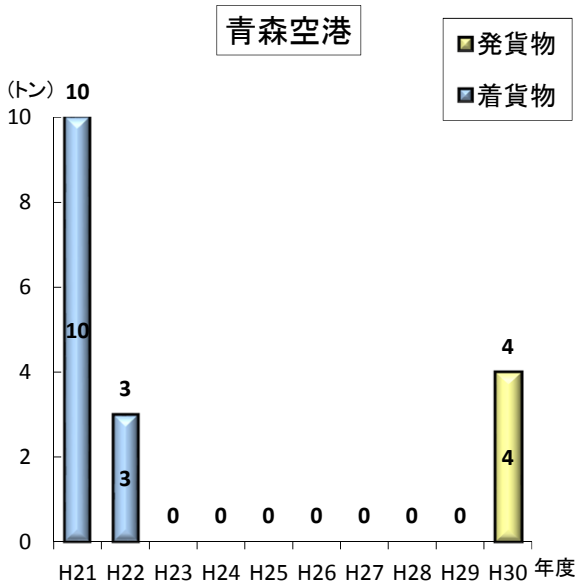
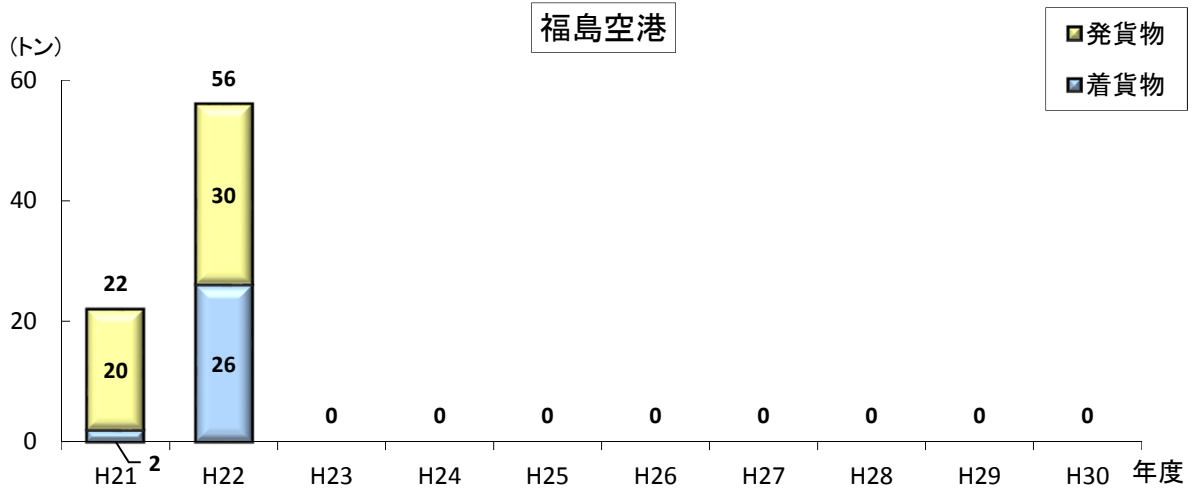
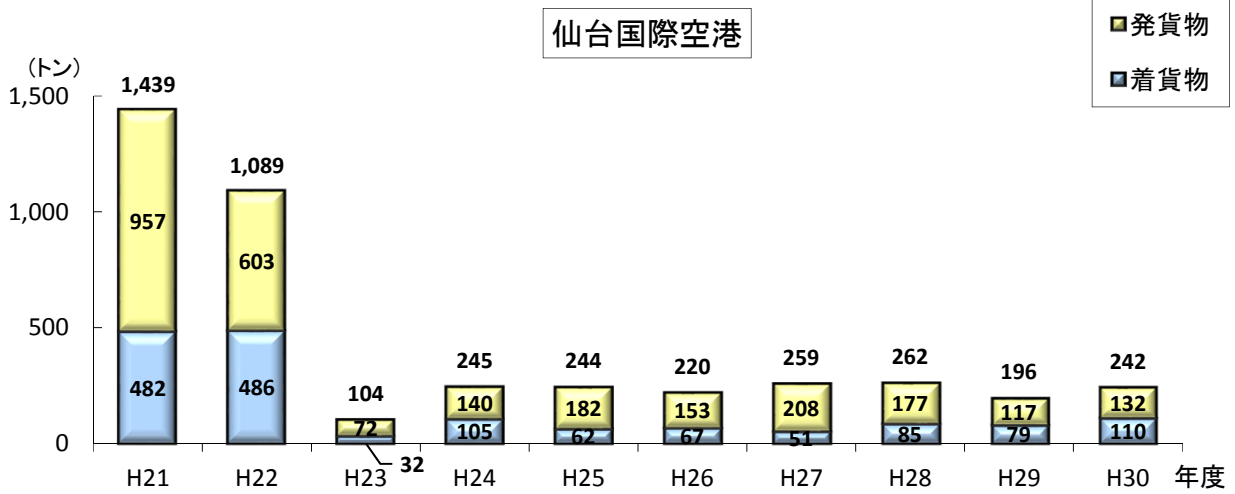
(2) 国内航空貨物の空港別取扱量(平成30年度)



資料: 空港管理状況調書

航空貨物

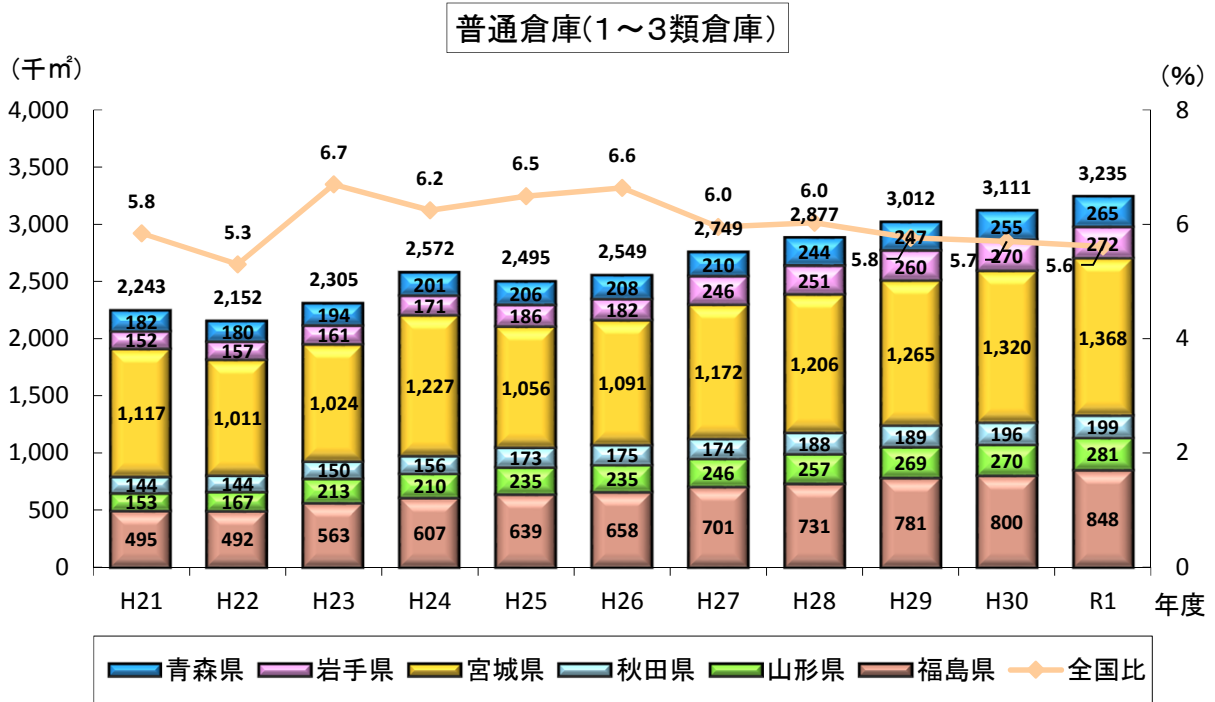
(3) 国際航空貨物輸送実績の推移



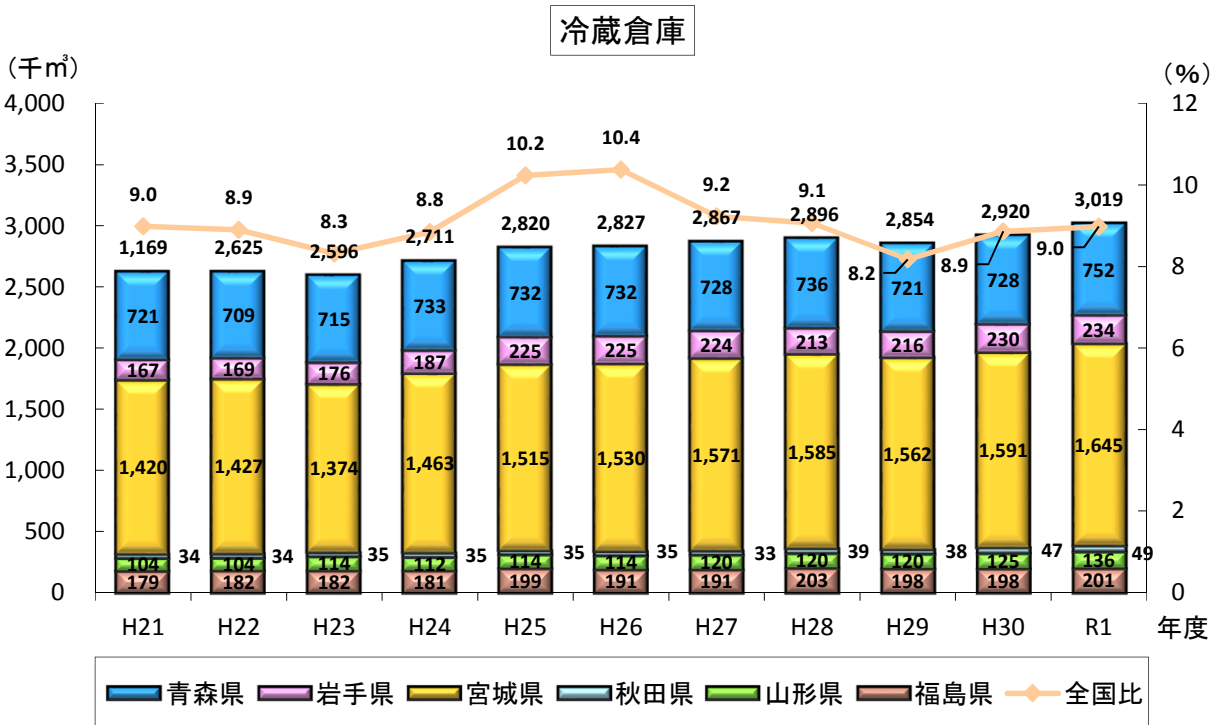
資料: 空港管理状況調査

倉庫所管面(容)積の推移及び全国シェア

倉庫



資料: 東北運輸局
(注)各年度末現在



資料: 東北運輸局
(注)各年度末現在

(1)観光地域づくり法人(DMO)の現況(令和2年10月16日現在)

【日本版DMO法人 東北23法人】

〈広域連携DMO 東北1法人〉

申請区分	日本版DMO法人の名称	マーケティング・マネジメント対象とする区域(自治体単位)
広域連携DMO	(一社)東北観光推進機構	青森県、岩手県、秋田県、宮城県、山形県、福島県、新潟県

〈地域連携DMO 東北10法人〉

申請区分	日本版DMO法人の名称	マーケティング・マネジメント対象とする区域(自治体単位)
地域連携DMO	(一社)秋田犬ツーリズム	【秋田県】大館市、北秋田市、小坂町、上小阿仁村
地域連携DMO	(一社)宮城インバウンド DMO	【宮城県】白石市、名取市、角田市、岩沼市、蔵王町、七ヶ宿町、大河原町、村田町、柴田町、川崎町、丸森町、亶理町、山元町
地域連携DMO	(公財)福島県観光物産交流協会	福島県
地域連携DMO	おもてなし山形(株)	【山形県】山形市、上山市、天童市
地域連携DMO	(一社)世界遺産平泉・一関DMO	【岩手県】一関市、平泉町
地域連携DMO	(公社)青森県観光連盟	青森県
地域連携DMO	(株)インアウトバウンド仙台・松島	【宮城県】仙台市、塩竈市、名取市、多賀城市、岩沼市、東松島市、松島町、七ヶ浜町、利府町
地域連携DMO	(一財)VISITはちのへ	【青森県】八戸市、三戸町、五戸町、田子町、南部町、階上町、新郷村、おいらせ町
地域連携DMO	(一社)しもきたTABIあしと	【青森県】むつ市、横浜町、大間町、東通村、風間浦村、佐井村
地域連携DMO	(公社)山形県観光物産協会	山形県

〈地域DMO 東北12法人〉

申請区分	日本版DMO法人の名称	マーケティング・マネジメント対象とする区域(自治体単位)
地域DMO	(一社)いわき観光まちづくりビューロー	【福島県】いわき市
地域DMO	(一社)気仙沼地域戦略	【宮城県】気仙沼市
地域DMO	(株)八幡平DMO	【岩手県】八幡平市
地域DMO	(株)かづの観光物産公社	【秋田県】鹿角市
地域DMO	(一社)宮古観光文化交流協会	【岩手県】宮古市
地域DMO	(株)かまいしDMC	【岩手県】釜石市
地域DMO	(一社)郡山市観光協会	【福島県】郡山市
地域DMO	(一社)十和田奥入瀬観光機構	【青森県】十和田市
地域DMO	(一社)にほんまつDMO	【福島県】二本松市
地域DMO	(一社)DEGAM鶴岡ツーリズムビューロー	【山形県】鶴岡市
地域DMO	(一社)花巻観光協会	【岩手県】花巻市
地域DMO	(一社)男鹿市観光協会	【秋田県】男鹿市

【日本版DMO候補法人 東北15法人】

〈地域連携DMO 東北7法人〉

申請区分	日本版DMO候補法人の名称	マーケティング・マネジメント対象とする区域(自治体単位)
地域連携DMO	(一社)Clan PEONY 津軽	【青森県】弘前市、黒石市、五所川原市、つがる市、平川市、鰺ヶ沢町、深浦町、西目屋村、藤崎町、大鰐町、田舎館村、板柳町、鶴田町、中泊町
地域連携DMO	(公財)さんりく基金	【岩手県】宮古市、大船渡市、久慈市、陸前高田市、釜石市、住田町、大槌町、山田町、岩泉町、田野畑村、普代村、野田村、洋野町
地域連携DMO	(一社)石巻圏観光推進機構	【宮城県】石巻市、東松島市、女川町
地域連携DMO	(一社)やまがたアルカディア観光局	【山形県】長井市、南陽市、白鷹町、飯豊町
地域連携DMO	(株)山形アドビューロ	【山形県】鶴岡市 【三重県】伊勢市
地域連携DMO	(一社)あきた白神ツーリズム	【秋田県】能代市、藤里町、三種町、八峰町
地域連携DMO	(一社)秋田県観光連盟	秋田県

〈地域DMO 東北8法人〉

申請区分	日本版DMO候補法人の名称	マーケティング・マネジメント対象とする区域(自治体単位)
地域DMO	(一財)ブナの里白神公社	【青森県】西目屋村
地域DMO	(一社)田沢湖・角館観光協会	【秋田県】仙北市
地域DMO	トラベルデザイン(株)	【秋田県】羽後町
地域DMO	(一社)横手市観光推進機構	【秋田県】横手市
地域DMO	(一社)寒河江市観光物産協会	【山形県】寒河江市
地域DMO	(一社)福島市観光コンベンション協会	【福島県】福島市
地域DMO	(特非)土湯温泉観光まちづくり協議会	【福島県】福島市
地域DMO	(一財)会津若松観光ビューロー	【福島県】会津若松市

(2) 主な観光地入込客数(平成30年)

観光地域

(単位:千人)

青森県

観光地名	入込客数
① 八食センター	2,580
② 観光物産館アスパム	1,179
③ 奥入瀬・十和田湖	1,211
④ 八戸ポータルミュージアム「はっち」	885
⑤ 七戸町文化村	733
⑥ 道の駅なみおかアップルヒル	2,013
⑦ 地域交流センター罽COME	597
⑧ 弘前市立観光館	505
⑨ こどもの国	717
⑩ 道の駅浅虫温泉ゆーさ浅虫	429
⑪ 道の駅とわだ	601

秋田県

観光地名	入込客数
① 道の駅あきた港	1,639
② 道の駅象潟ねむの丘	513
③ 道の駅うご 端縫いの郷	721
④ 秋田ふるさと村	642
⑤ 道の駅十文字	507
⑥ 秋田県立中央公園	490
⑦ 角館武家屋敷	371
⑧ 道の駅おがち「小町の郷」	419
⑨ 道の駅雁の里せんなん	359
⑩ 道の駅さんない	309

山形県

観光地名	入込客数
① ふらっと	2,216
② 松岬公園	1,144
③ 蔵王温泉	963
④ チェリーランド	1,097
⑤ 庄内観光物産館	1,017
⑥ 蔵王エコーライン	771
⑦ 最上川ふるさと総合公園	697
⑧ 山形県観光物産館	752
⑨ 山寺	787
⑩ 天童温泉	694

岩手県

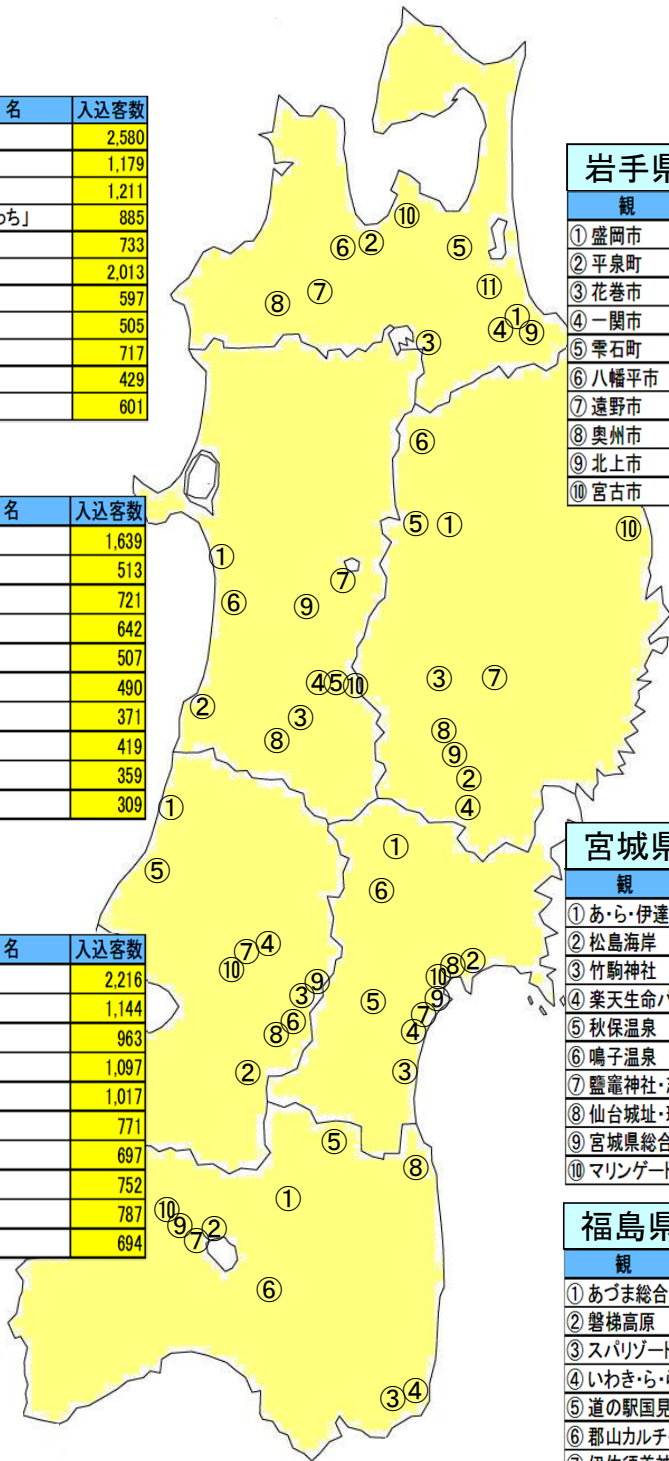
観光地名	入込客数
① 盛岡市	4,110
② 平泉町	2,162
③ 花巻市	1,998
④ 一関市	2,558
⑤ 雫石町	1,822
⑥ 八幡平市	1,942
⑦ 遠野市	1,571
⑧ 奥州市	1,598
⑨ 北上市	1,175
⑩ 宮古市	1,424

宮城県

観光地名	入込客数
① あ・ら・伊達な道の駅	3,368
② 松島海岸	3,054
③ 竹駒神社	1,687
④ 楽天生命パーク宮城	1,658
⑤ 秋保温泉	1,120
⑥ 鳴子温泉	931
⑦ 監籠神社・志波彦神社	1,109
⑧ 仙台城址・瑞鳳殿・仙台市博物館	985
⑨ 宮城県総合運動公園	1,153
⑩ マリンゲート塩釜	859

福島県

観光地名	入込客数
① あづま総合運動公園	1,793
② 磐梯高原	2,128
③ スパリゾートハワイアンズ	1,775
④ いわき・ら・ミュウ	1,606
⑤ 道の駅国見あつかしの郷	1,633
⑥ 郡山カルチャーパーク	1,385
⑦ 伊佐須美神社	1,115
⑧ セデツチかしま	1,259
⑨ 道の駅あいつ湯川・会津坂下	1,129
⑩ 喜多方市街	1,067



資料:各県「観光統計」

(注)1. 岩手県は、観光地別の入込客数を公表していないため、市町村別(行祭事・イベントを含む)を記載。

2. 各県の主な観光地(行祭事・イベントを除く)を表したものである。

(3) 主なお祭り入込客数(平成30年)

観光地域

(単位:千人)

青森県

名称	開催期間	入込客数
青森ねぶた祭	(青森市、8月)	2,800
弘前さくらまつり	(弘前市、4月~5月)	2,540
弘前ねぶたまつり	(弘前市、8月)	1,600
八戸三社大祭	(八戸市、7月~8月)	1,402
五所川原立佞武多	(五所川原市、8月)	1,240

秋田県

名称	開催期間	入込客数
秋田竿燈まつり	(秋田市、8月)	1,300
角館の桜まつり	(仙北市、4~5月)	1,302
種苗交換会(注釈2)	(秋田市、10~11月)	1,250
全国花火競技大会「大曲の花火」	(大仙市、8月)	750
かまくら	(横手市、2月)	350

山形県

名称	開催期間	入込客数
山形花笠まつり	(山形市、8月)	970
新庄まつり	(新庄市、8月)	490
赤川花火大会	(鶴岡市、8月)	350
米沢上杉まつり	(米沢市、4月)	263
植木まつり	(山形市、5月)	300

岩手県

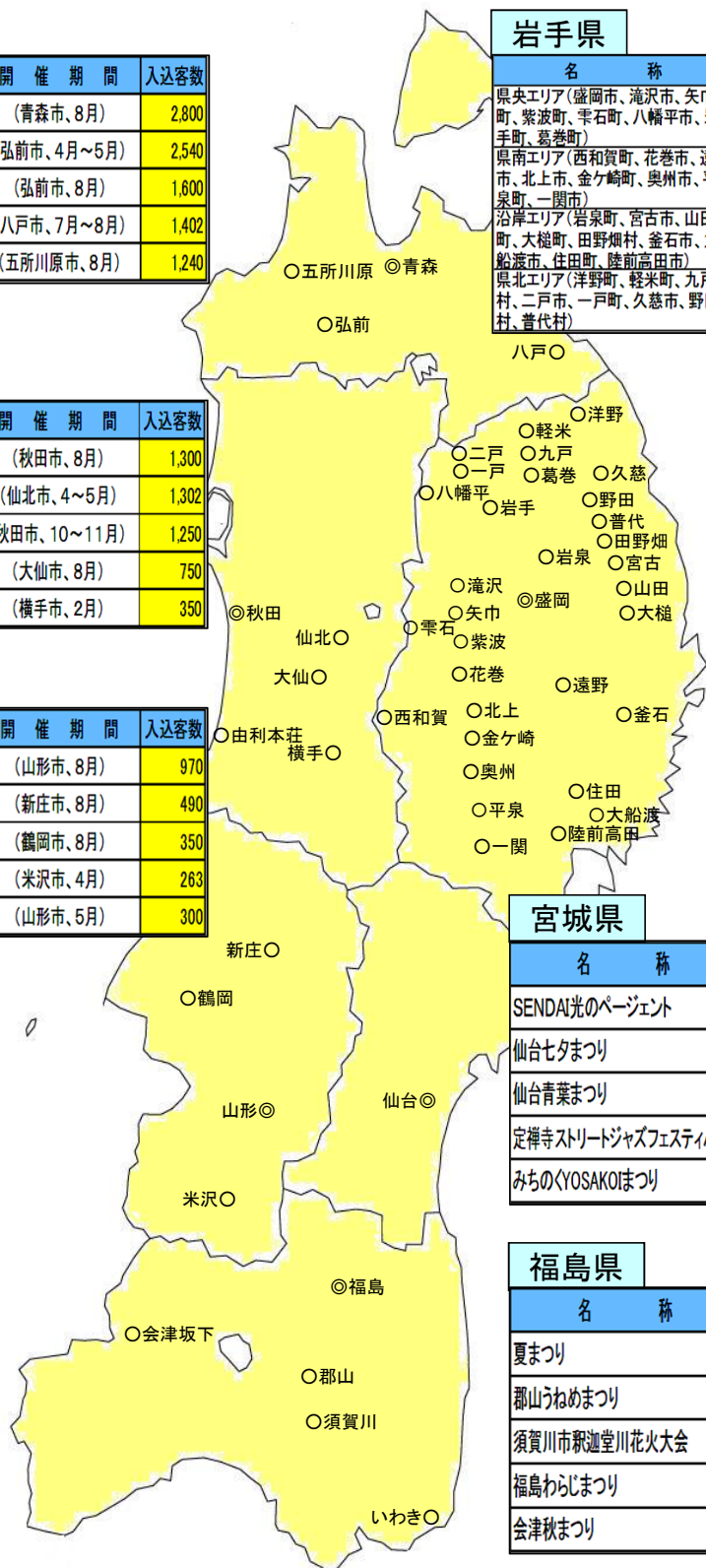
名称	開催期間	入込客数
県央エリア(盛岡市、滝沢市、矢巾町、紫波町、雫石町、八幡平市、岩手町、葛巻町)		2,646
県南エリア(西和賀町、花巻市、遠野市、北上市、金ケ崎町、奥州市、平泉町、一関市)		2,726
沿岸エリア(岩泉町、宮古市、山田町、大槌町、田野畑村、金石市、大船渡市、住田町、陸前高田市)		403
県北エリア(洋野町、軽米町、九戸村、二戸市、一戸町、久慈市、野田村、普代村)		358

宮城県

名称	開催期間	入込客数
SENDAI光のページェント	(仙台市、12月)	2,360
仙台七夕まつり	(仙台市、8月)	2,026
仙台青葉まつり	(仙台市、5月)	900
定禅寺ストリートジャズフェスティバル	(仙台市、9月)	720
みちのくYOSAKOIまつり	(仙台市、10月)	450

福島県

名称	開催期間	入込客数
夏まつり	(いわき市、7~8月)	490
郡山うねめまつり	(郡山市、8月)	300
須賀川市釈迦堂川花火大会	(須賀川市、8月)	300
福島わらじまつり	(福島市、8月)	293
会津秋まつり	(会津若松市、9月)	244



資料:各県「観光統計」

(注)1. 岩手県は、祭り毎の入込客数を公表していないため「行祭事・イベント」への地域別入込客数。

2. 秋田県の種苗交換会の開催地について、平成25年は仙北市、平成26年は男鹿市、平成27年は鹿角市、平成28年は湯沢市、平成29年は由利本荘市で開催。

3. 各県の主なお祭りを表したものであり、入込数上位5カ所ではない。

(4) 主なスキー場入込客数(平成30年)

観光地域

(単位:千人)

青森県

名称	所在地	入込客数
①モヤヒルズスキー場	青森市	73
②岩木山百沢スキー場	弘前市	32
③大鱈温泉スキー場	大鱈町	21
④釜臥山スキー場	むつ市	20
⑤七戸町営スキー場	七戸町	9

秋田県

名称	所在地	入込客数
①たざわ湖スキー場	仙北市	88
②阿仁スキー場	北秋田市	29
③太平山スキー場オーパス	秋田市	32
④秋田八幡平スキー場	鹿角市	6
⑤花輪スキー場	鹿角市	7

山形県

名称	所在地	入込客数
①蔵王温泉スキー場	山形市	339
②月山スキー場	西川町	126
③黒伏高原スノーパークJJ	東根市	72
④米沢スキー場	米沢市	47
⑤花笠高原スキー場	尾花沢市	33

岩手県

名称	所在地	入込客数
①安比高原スキー場	八幡平市	377
②夏油高原スキー場	北上市	110
③岩手高原スノーパーク	雫石町	59
④雫石町スキー場	雫石町	57
⑤八幡平・リゾートパノラマスキー場	八幡平市	45

宮城県

名称	所在地	入込客数
①スプリングバレースキー場	仙台市	45
②えぼしスキー場	蔵王町	67
③セント・メリースキー場	川崎町	46
④泉ヶ岳スキー場	仙台市	34
⑤白石スキー場	白石市	31

福島県

名称	所在地	入込客数
①たかつえスキー場	南会津町	209
②グランデコスノーリゾート	北塩原村	139
③星野リゾートアルツ磐梯	磐梯町	150
④猪苗代スキー場	猪苗代町	122
⑤猪苗代リゾートスキー場	猪苗代町	58

資料:各県「観光統計」

(注)1. 各県の主なスキー場を表したものであり、入込数上位5カ所ではない。

2. 「秋田県八幡平スキー場」「花輪スキー場」は2016年より集計方法を変更している。

(5)「JNTO認定外国人観光案内所」一覧(令和2年12月末現在)

観光地域

青森県

- ①青森市観光情報センター【2】
- ②青森市観光交流情報センター【2】
- ③あおもり観光情報センター【2】
- ④青森空港インフォメーションセンター【2】
- ⑤弘前市立観光館【2】
- ⑥弘前市観光案内所【2】
- ⑦はちのへ総合観光プラザ【2】
- ⑧黒石観光案内所【1】
- ⑨十和田市十和田湖観光交流センター(ぶらっと)【1】
- ⑩下北観光案内所【1】
- ⑪道の駅しちのへ【1】
- ⑫北の防人大湊 安渡館【1】
- ⑬七戸町観光交流センター【1】
- ⑭三沢市観光案内所【1】

秋田県

- ①大館市観光案内所【1】
- ②大館能代空港インフォメーションカウンター【1】
- ③男鹿総合観光案内所【1】
- ④男鹿駅観光案内所【1】
- ⑤秋田市観光案内所【2】
- ⑥あきた旅のサポートセンター【2】
- ⑦秋田空港総合案内所【1】
- ⑧道の駅 あきた港ポートタワーセリオン【1】
- ⑨にかほ市観光拠点センター「にかほっと」【1】
- ⑩大仙市観光情報センター「グランボール」【1】
- ⑪仙北市観光情報センター「角館駅前蔵」【1】
- ⑫仙北田沢湖観光情報センター「フォレイク」【2】
- ⑬秋田ふるさと村【1】
- ⑭能代市観光案内所【1】
- ⑮道の駅ふたつ【P】
- ⑯道の駅十文字【P】
- ⑰道の駅おち観光案内所【P】
- ⑱道の駅かみおか【P】
- ⑲道の駅美郷【P】
- ⑳道の駅たかのす【P】
- ㉑道の駅ことおか【P】
- ㉒道の駅ひら【P】
- ㉓八幡平ビジターセンター【P】
- ㉔JR湯沢駅 観光案内所【P】
- ㉕休暇村 乳頭温泉郷【P】
- ㉖道の駅 やたて峠【P】

山形県

- ①やまがた観光情報センター【2】
- ②山形駅観光案内所【2】
- ③米沢観光コンベンション協会観光案内所【1】
- ④道の駅 米沢 総合観光案内所【2】
- ⑤置賜広域観光案内センターASK【2】
- ⑥伝国社の(米沢市上杉博物館、置賜文化ホール)【P】
- ⑦酒田市観光案内所【1】
- ⑧庄内空港【P】
- ⑨鶴岡市観光案内所【2】
- ⑩もがみ情報案内センター【1】
- ⑪道の駅寒河江チェリーランド【1】
- ⑫かみのやま温泉観光案内所【1】
- ⑬東根観光情報センター【1】
- ⑭山形空港旅客サロン【P】
- ⑮川の駅轟上峡くさなぎ【P】
- ⑯道の駅いいで【1】
- ⑰天童市観光案内所【1】
- ⑱山寺観光案内所【1】
- ⑲いいで旅の案内所【P】
- ㉑休暇村 庄内羽黒【P】
- ㉒蔵王温泉観光協会案内所【P】

「JNTO認定外国人観光案内所」とは

外国人観光客に対応可能な案内所を日本政府観光局(JNTO)が「JNTO認定外国人観光案内所」として認定。認定区分と、各区分の主な基準は以下のとおり。
 【カテゴリー1】常駐でなくとも何らかの方法で英語対応可能。地域の案内を提供。
 【カテゴリー2】少なくとも英語で対応可能なスタッフが常駐。広域の案内を提供。
 【カテゴリー3】常時英語による対応が可能。その上で、英語を除く2以上の言語での案内が常時可能な体制がある。
 全国レベルの観光案内を提供。原則年中無休。Wi-Fiあり。ゲートウェイや外国人来訪者の多い立地。
 【パートナー施設(P)】観光案内を専業としない施設であっても、外国人旅行者を積極的に受け入れる意欲があり、公平・中立な立場で地域の案内を提供。

岩手県

- ①いわて・盛岡広域観光センター【2】
- ②観光文化情報プラザ(プラザおでっこ)【1】
- ③公益財団法人 岩手県観光協会【1】
- ④雫石町観光物産センター【1】
- ⑤道の駅雫石あねっこ【P】
- ⑥花巻観光協会【1】
- ⑦花巻観光センター(JR新花巻駅)【1】
- ⑧花巻観光案内所(JR花巻駅)【1】
- ⑨道の駅石鳥谷【1】
- ⑩北上観光案内所【1】
- ⑪遠野市観光交流センター旅の蔵遠野【1】
- ⑫道の駅遠野風の丘(インフォメーションコーナー)【1】
- ⑬一関観光案内所【2】
- ⑭—BA【1】
- ⑮奥州市観光案内所【1】
- ⑯NEXCO東日本 前沢サービスエリア上り線インフォメーション【1】
- ⑰NEXCO東日本 前沢サービスエリア下り線インフォメーション【1】
- ⑱平泉観光案内所【2】
- ⑲宮古駅前総合観光案内所【2】
- ⑳一般社団法人大船渡市観光物産協会【1】
- ㉑釜石観光総合案内所【1】
- ㉒ホテルマルエ【P】
- ㉓道の駅みやこ【P】
- ㉔道の駅平泉【P】
- ㉕二戸市観光協会【1】
- ㉖遠野旅の産地直売所【P】
- ㉗道の駅たろう【P】
- ㉘安比高原 森のホテル【P】
- ㉙休暇村 岩手網走温泉【P】
- ㉚休暇村 陸中宮古【P】
- ㉛田野畑村総合観光案内所【P】

宮城県

- ①仙台市観光情報センター【2】
- ②鳴子観光・旅館案内センター(ナルコ・インフォメーション・センター)【1】
- ③松島観光協会V案内所【2】
- ④仙台ツリストインフォメーションデスク【2】
- ⑤あ・ら・伊達道の駅【1】
- ⑥七ヶ浜国際村【P】
- ⑦古川駅前観光案内所【1】
- ⑧蔵王町観光案内所【1】
- ⑨史都多賀城観光案内所【1】
- ⑩石巻観光協会【P】
- ⑪塩竈市観光案内所【1】
- ⑫白石市観光案内所(東北新幹線白石蔵王駅構内)【1】
- ⑬みちのく観光案内【2】
- ⑭道の駅「上品の郷」【P】
- ⑮仙台多文化共生センター【2】
- ⑯秋保温泉郷観光案内所(秋保インフォメーションセンター)【2】
- ⑰白石市観光案内所【1】
- ⑱宮城県観光情報発信センター【1】
- ⑲栗原市観光案内所【1】
- ⑳利府町観光インフォメーション【P】
- ㉑矢本パークエリア【P】
- ㉒あおみな(宮戸地区復興再生多目的施設)【1】
- ㉓奥松島イートプラザ(奥松島観光物産交流センター)【1】
- ㉔とよま観光物産センター「遠山之里」観光案内所【1】
- ㉕仙台うみの杜水族館【P】
- ㉖JR EAST Travel Service Center【2】
- ㉗NEXCO東日本 長者原サービスエリア上り線インフォメーション【1】
- ㉘NEXCO東日本 長者原サービスエリア下り線インフォメーション【1】
- ㉙休暇村 気仙沼大島【P】
- ㉚道の駅 三本木やまなみ【P】

福島県

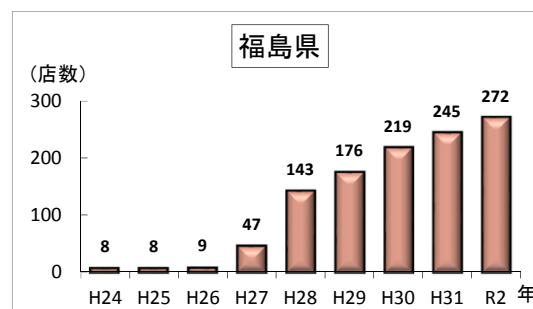
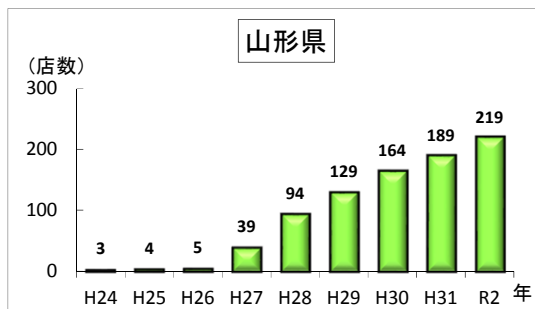
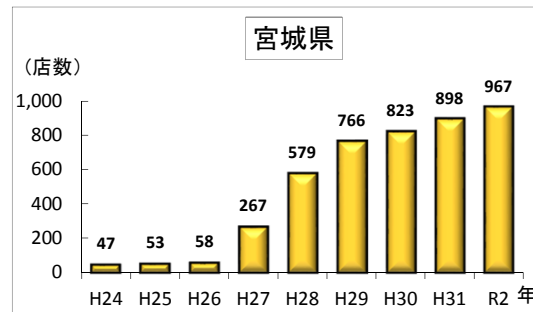
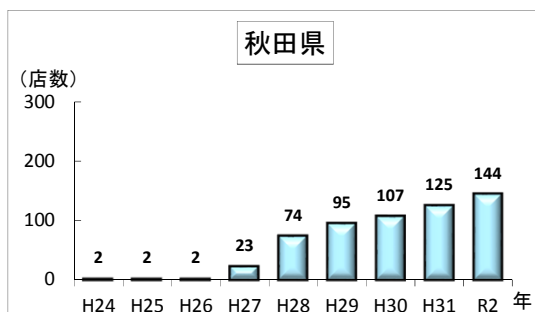
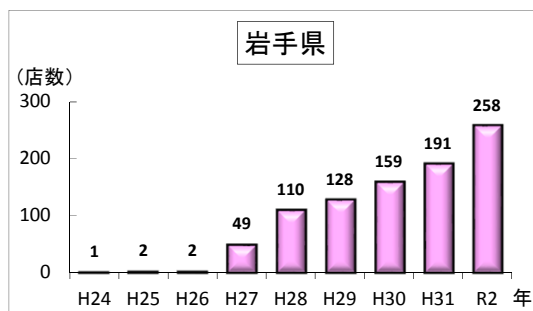
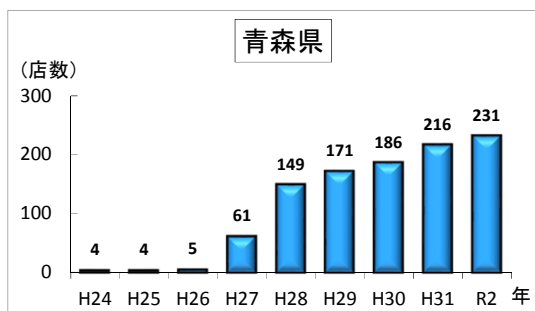
- ①福島市観光案内所(西口)【2】
- ②鶴ヶ城「V」観光案内所【2】
- ③土湯温泉観光協会【2】
- ④NEXCO東日本安達太良サービスエリア上り線インフォメーション【1】
- ⑤NEXCO東日本安達太良サービスエリア下り線インフォメーション【1】
- ⑥二本松市観光案内所【1】
- ⑦郡山市観光案内所【2】
- ⑧白河駅観光案内所【1】
- ⑨新白河広域観光案内所【1】
- ⑩会津若松駅前観光案内所(V案内所)【2】
- ⑪喜多方駅観光案内所【1】
- ⑫喜多の郷観光案内所【1】
- ⑬西四ツ谷観光案内所【1】
- ⑭旧甲斐家蔵住宅案内所【1】
- ⑮裏磐梯観光協会(裏磐梯観光案内所)【1】
- ⑯いわき市総合観光案内所【1】
- ⑰伊達市観光案内所【1】
- ⑱飯坂温泉観光案内所【1】
- ⑲休暇村 裏磐梯【P】

参考: 日本政府観光局(JNTO)「JNTO認定外国人観光案内所」一覧

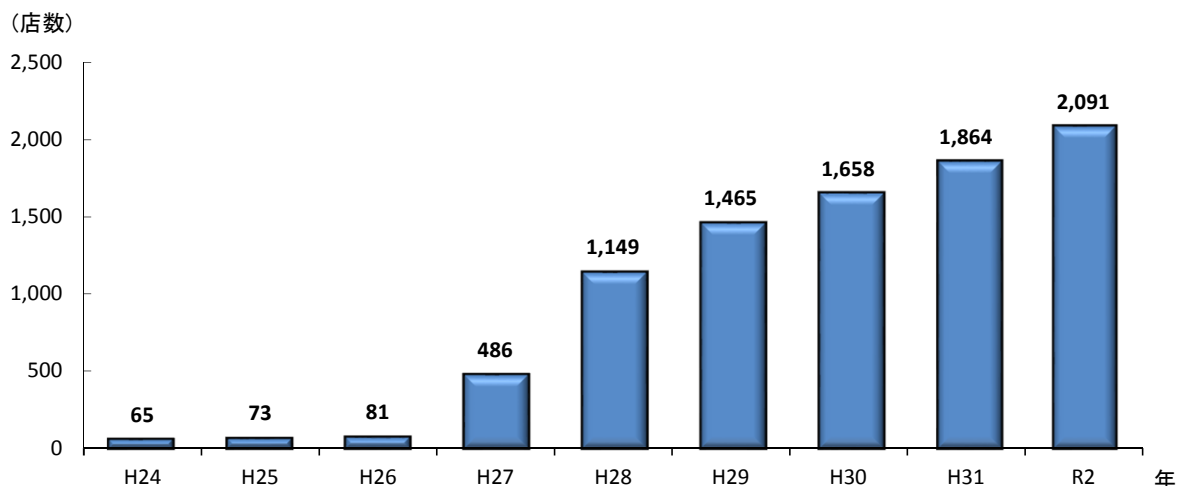
(6) 県別消費税免税店数の推移(各年4月1日現在)

観光地域

①各県別



②東北6県計



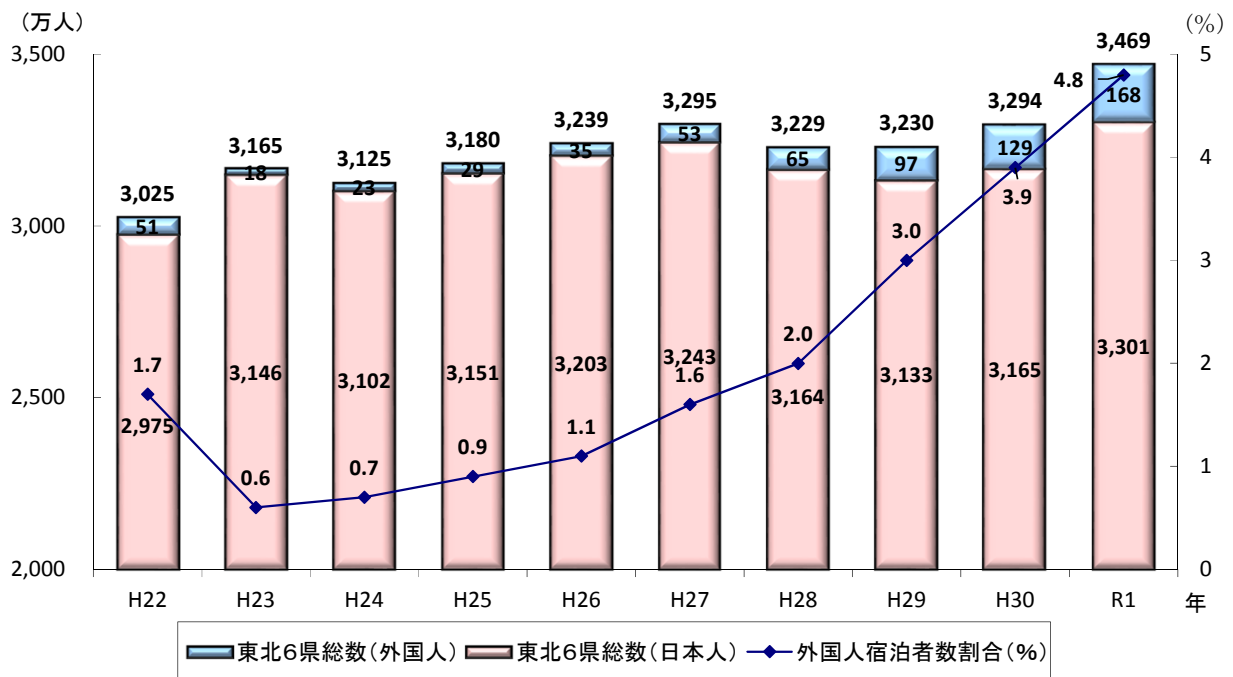
「免税店」とは

免税店とは外国人旅行者等の非居住者に対して特定の物品を一定の方法で販売する場合に、消費税を免除して販売できる店舗のことです。ここでいう「免税店」とは、消費税法8条に定める「輸出物品販売場」のことです。

(資料:観光庁「消費税免税店サイト」<https://www.milt.go.jp/kankochu/tax-free/index.html>)

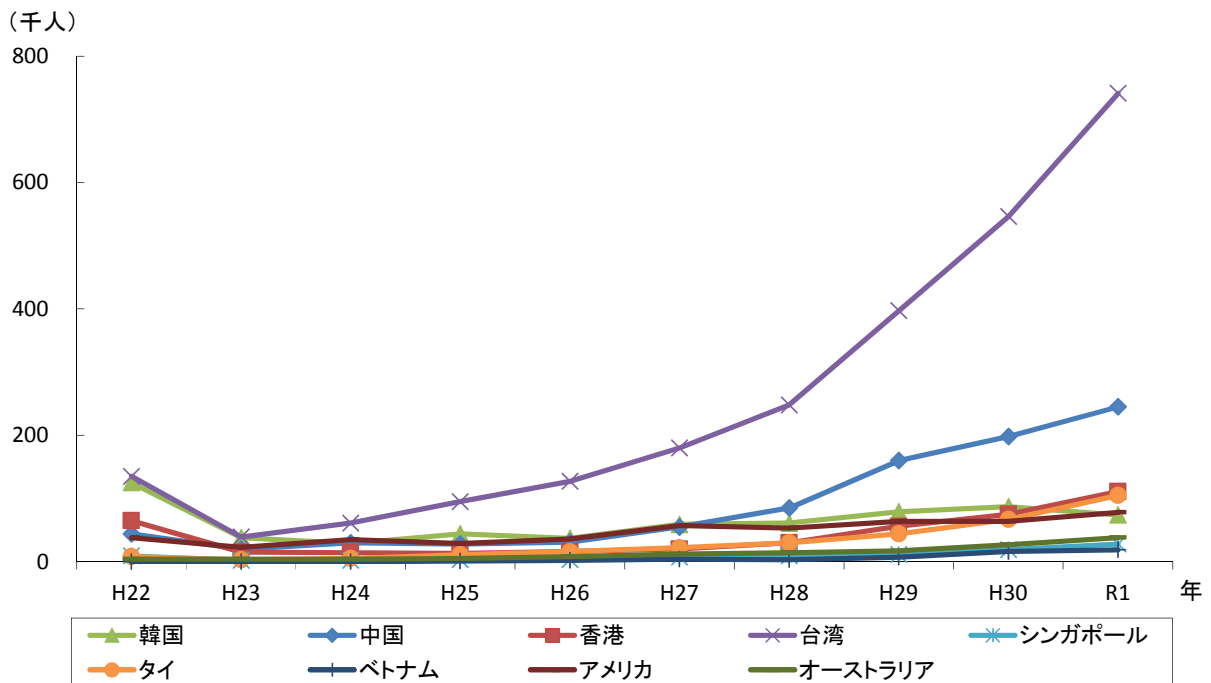
(1) 日本人・外国人の宿泊者数の推移

宿泊者数



資料:観光庁「宿泊旅行統計調査」日本人及び外国人延べ宿泊者数並びに外国人宿泊者数の割合(従業者数10人以上の施設)推移表(年計)
<https://www.mlit.go.jp/kankocho/siryou/toukei/shukuhakutoukei.html>

(2) 海外市場別外国人宿泊者数の推移

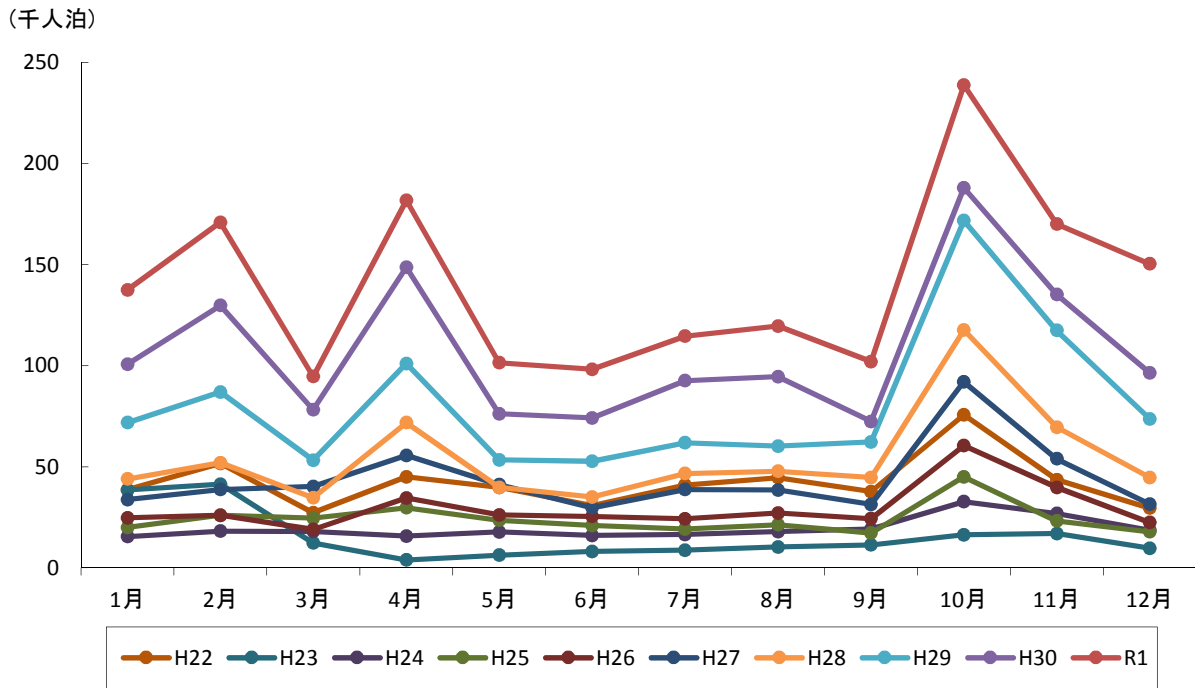


資料:観光庁「宿泊旅行統計調査」市場別外国人延べ宿泊者数(従業者数10人以上の施設)推移表(年計)

(注)ベトナムは平成25年より計測開始。

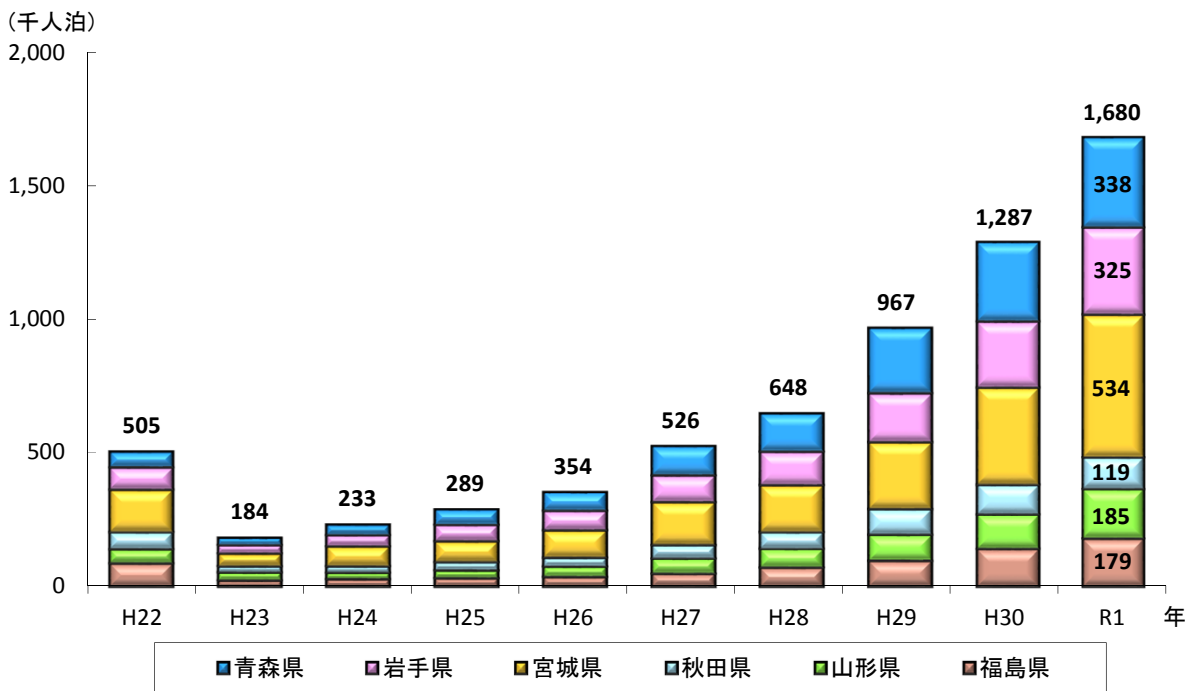
<https://www.mlit.go.jp/kankocho/siryou/toukei/shukuhakutoukei.html>

(3) 外国人宿泊者数の季節変動



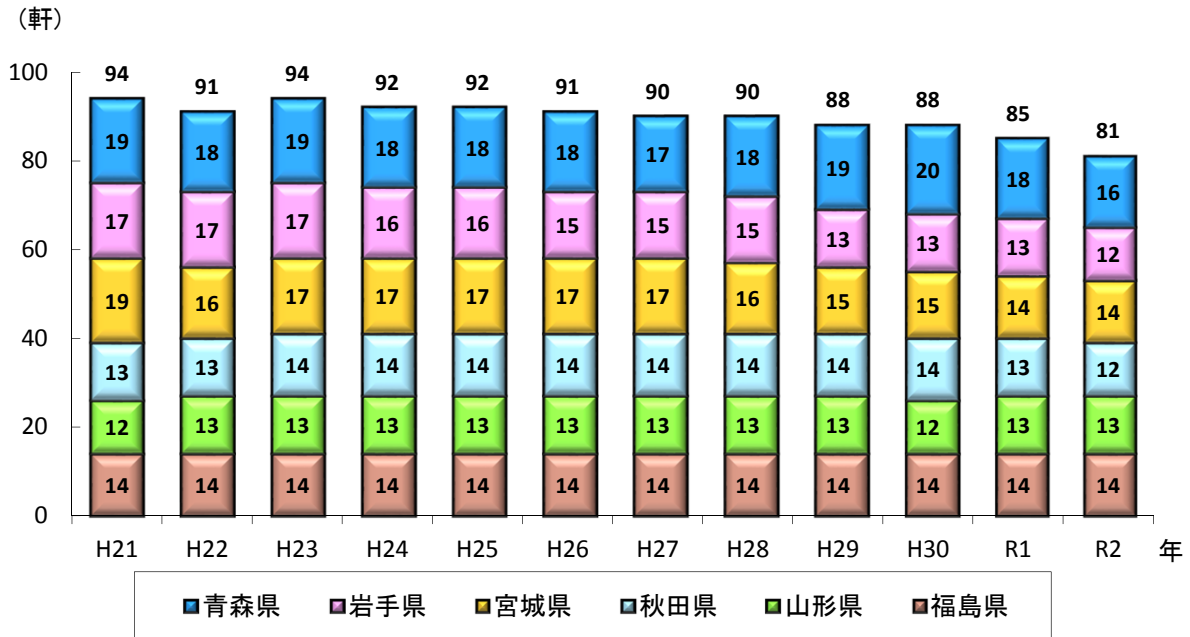
資料: 観光庁「宿泊旅行統計調査」東北6県 月別外国人延べ宿泊者数(従業者数10人以上の施設)推移表
<https://www.mlit.go.jp/kankocho/siryou/toukei/shukuhakutoukei.html>

(4) 県別外国人宿泊者数の推移



資料: 観光庁「宿泊旅行統計調査」都道府県別 外国人延べ宿泊者数(従業者数10人以上の施設)推移表(年計)
<https://www.mlit.go.jp/kankocho/siryou/toukei/shukuhakutoukei.html>

(1) 登録ホテル数の推移

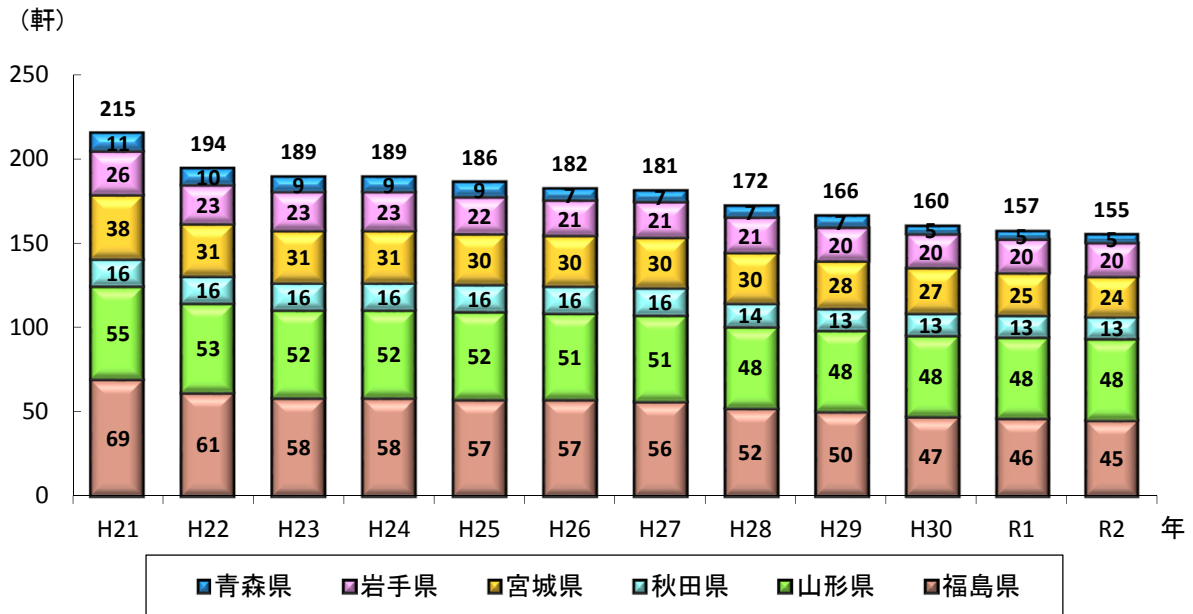


資料:観光庁 登録ホテル・旅館の概要

(注) 各年12月31日現在(令和元年については11月30日現在)

<https://www.mlit.go.jp/kankocho/shisaku/sangyou/hotel.html>

(2) 登録旅館数の推移



資料:観光庁 登録ホテル・旅館の概要

(注) 各年12月31日現在(令和元年については11月30日現在)

<https://www.mlit.go.jp/kankocho/shisaku/sangyou/hotel.html>

登録ホテル・旅館とは

国際観光ホテル整備法により登録を受け、外客(外国人)の宿泊に適するように作られた施設であって、洋式の構造及び設備を主とするもの。登録旅館とは登録ホテル以外のもの。

(3)住宅宿泊事業者届出状況

宿泊施設

種別 \ 県別	青森県	岩手県	宮城県	仙台市	秋田県	山形県	福島県	計
届出件数	36	68	65	36	26	21	71	323
事業廃止件数	3	8	9	4	4	3	7	38
届出住宅数	33	60	56	32	22	18	64	285

資料:観光庁「住宅宿泊事業法に基づく届出及び登録の状況一覧」

(注)1. 「住宅宿泊事業者」は都道府県知事届出、「住宅宿泊管理者」は国土交通大臣登録、

「住宅宿泊仲介業者」は観光庁長官登録となる。

2. 令和2年8月11日現在

(1) 旅行業の現況

種別 \ 県別	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	計
第一種旅行者	3	2	8	2	3	2	20
第二種旅行者	32	34	42	69	20	43	240
第三種旅行者	18	25	75	53	22	19	212
地域限定	7	2	3	8	4	10	34
代理業者	8	11	8	8	5	9	49
旅行サービス手配業	10	9	21	12	6	15	73
計	78	83	157	152	60	98	628

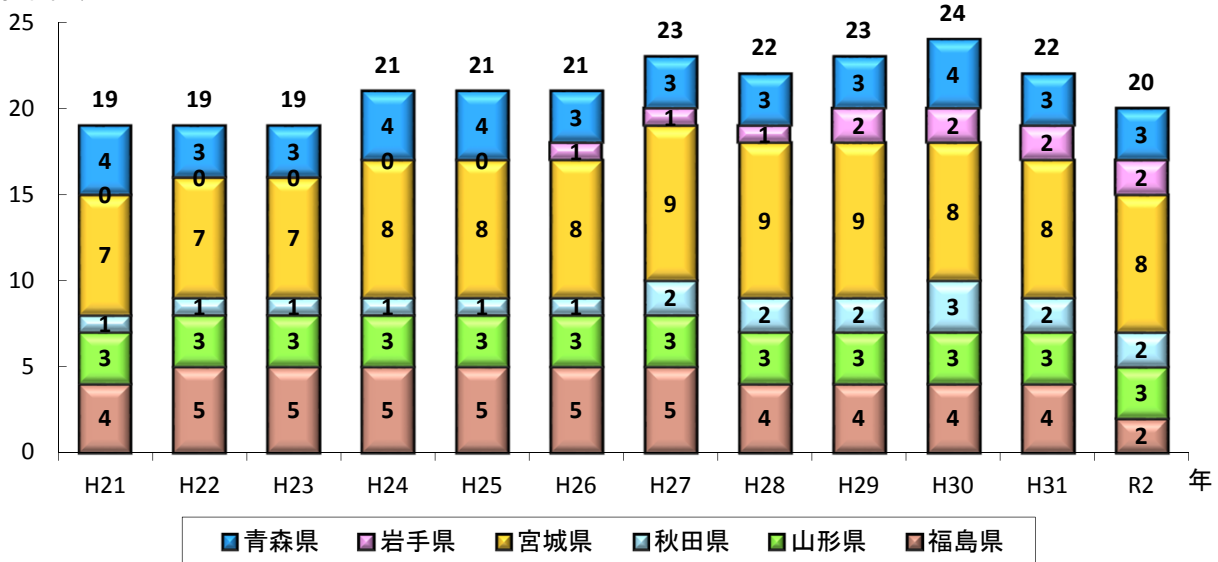
第一種 募集型企画旅行(海外、国内)を実施できる。観光庁長官登録
 第二種 募集型企画旅行(国内のみ)を実施できる。都道府県知事登録
 第三種 受注型企画旅行(海外、国内とも)を実施できる。都道府県知事登録
 地域限定 募集型・受注型企画旅行・手配旅行(営業所の存するエリア限定)の企画実施が可能。
 都道府県知事登録
 代理業 上記業者を代理して旅行業務を取り扱うことができる。都道府県知事登録
 旅行サービス手配業 旅行者から委託を受け、運送手段や宿泊施設、ガイド等を手配する事業者。
 都道府県知事登録

資料: 東北運輸局

(注) 令和2年5月1日現在

(2) 旅行者(第一種旅行者)の推移(各年4月1日現在)

(事業者数)



資料: 東北運輸局

(1) 都市別国際会議開催件数の推移

* 日本政府観光局(JNTO)ーコンベンション統計

その他国際交流

	H26	H27	H28	H29	H30	R1
青森市	1	2	0	1	0	1
弘前市	4	0	0	0	1	2
盛岡市	3	5	6	8	6	4
一関市	0	0	0	0	1	0
宮古市	0	0	0	0	0	1
秋田市	2	3	1	3	0	1
大仙市	0	0	0	1	0	0
山形市	1	1	2	2	5	2
米沢市	1	0	1	0	2	2
鶴岡市	1	1	1	0	0	0
天童市	0	1	1	1	0	0
南陽市	0	0	0	1	0	0
仙台市	80	221	115	120	116	136
大崎市	1	0	0	0	0	0
多賀城市	0	0	1	1	0	0
東松島市	1	0	0	0	0	0
名取市	0	1	0	0	0	0
角田市	0	0	0	0	1	0
蔵王町	2	1	3	2	0	1
松島町	3	2	2	1	0	1
南三陸町	0	1	0	0	0	0
柴田町	0	0	0	0	0	1
会津若松市	2	2	1	1	2	0
郡山市	3	3	2	3	7	0
いわき市	0	2	2	0	4	2
福島市	1	7	7	2	4	4
伊達市	0	2	0	0	0	0
広野町	0	1	1	0	0	0
檜葉町	0	0	0	0	1	2
三春町	0	0	0	0	0	2
富岡町	0	0	0	0	0	1
北塩原村	1	2	1	1	1	1
合計	107	258	147	148	151	164
全国	2,605	2,884	3,129	3,329	3,441	3,662

(注)

1. 【国際会議の選定基準】

(対象とするもの)

国際機関・国際団体(各国支部を含む)又は国家機関・国内団体(各々の定義が明確ではないため民間企業以外は全て)が主催する会議で、参加者総数が50名以上、参加国が日本を含む3居住国・地域以上、開催期間が1日以上である会議。

(対象としないもの)

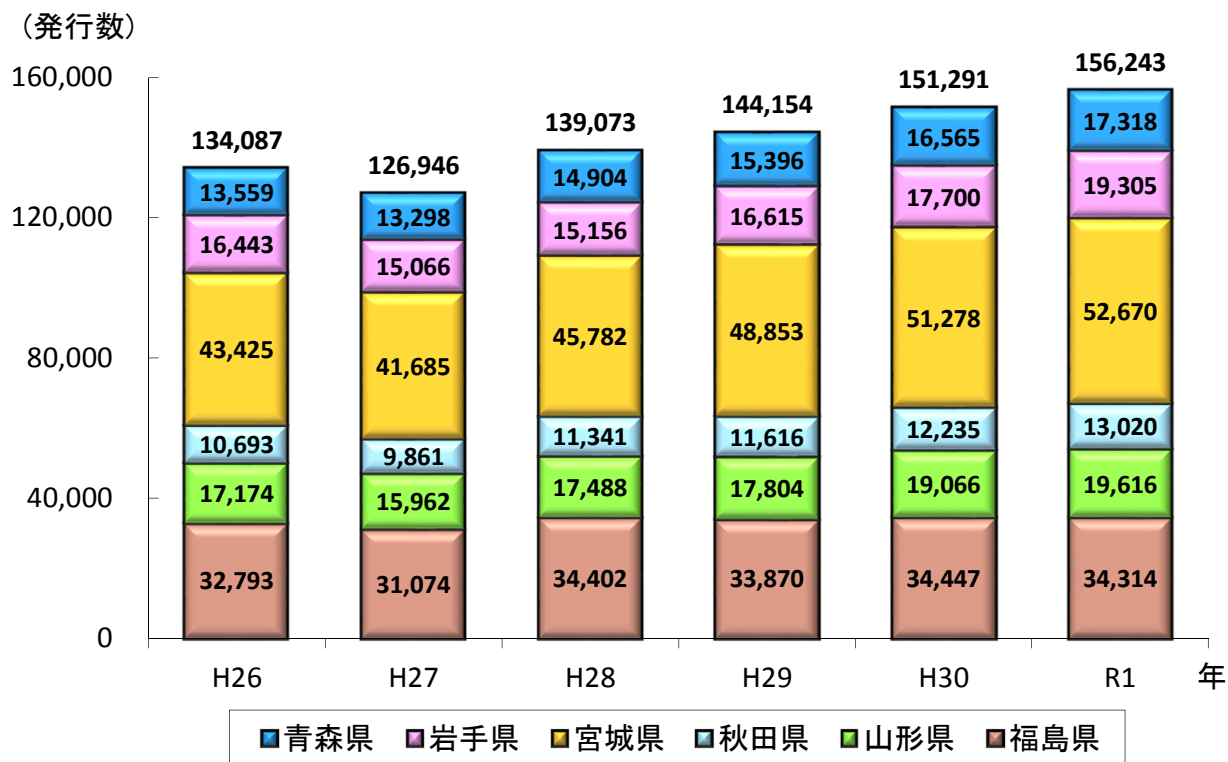
私企業による企業内会議、大学などの研究機関が行う講義、投資の勧誘を目的とした投資セミナー、観光客誘致を目的とした観光セミナー、学習を目的とする研修会。

2. 1つの会議が複数の都市にまたがって開催された場合、それぞれの都市に1件として計上しているため、都市別の開催件数の合計は実際の会議開催件数の総数よりも多くなっている。

資料: 日本政府観光局(JNTO)国際会議統計 資料編1

(2) パスポート取得率の推移

その他国際交流



資料: 外務省旅券統計



国土交通省

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism



令和3年3月発行
交通政策部 消費者行政・情報課
TEL: 022-791-7513 FAX: 022-791-7539
Email: tht-tohoku-soudan@gxb.mlit.go.jp